

研究業績：理事長

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	年頭挨拶 理事長 山下静也	山下静也	RINKU SMILE 2024年新春号	Vol.93:2, 2024
2	座右の銘 常識は非常識	山下静也	RINKU SMILE 2024年新春号	Vol.93:2, 2024
3	理事長 山下 静也 よりご挨拶	山下静也	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター	http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/about/greeting/greeting01/
4	世界を見据えたりんくう総合医療センターの更なる飛躍を目指して	山下静也	一般社団法人 泉佐野泉南医師会活動報告書2022年▶2023年	28-29, 2024
5	序	山下静也	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 病院年報(令和5年度(2023年)第33号)	令和5年度(2023年), 第33号:1, 2024
6	地域健診から感染症まで、多様な医療ニーズに応える りんくう総合医療センター	山下静也	メディカルノート	https://medicalnote.jp/contents/240625-001-TM
7	ご挨拶	山下静也	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 病院案内2024	1, 2024
8	支部学術集会開催報告 第16回大阪支部学術集会 学術集会会長:地方独立行政法人りんくう総合医療センター 理事長 山下静也	山下静也	日本医療マネジメント学会News Letter 第96号(2024年9月1日発行)	2, 2024
9	年頭挨拶	山下静也	RINKU SMILE 2025年新春号	Vol.97:2, 2025
10	My Hero(マイヒーロー)	山下静也	RINKU SMILE 2025年新春号	Vol.97:2, 2025
11	理事長 山下 静也 よりご挨拶	山下静也	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター	http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/about/greeting/greeting01/
12	新年のご挨拶	山下静也, 松岡哲也	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 地域医療だより	2025年1月1日発行, 2025
13	序	山下静也	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 病院年報(令和6年度(2024年)第34号)	in press
14	ご挨拶	山下静也	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 病院案内	in press

(2) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	りんくう総合医療センターへようこそ！～最近の医療事情～	山下静也	令和7年度新入職者集合研修	2024.4.1

(3) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	特別講演2 演者:自見はなこ 地方創生の取り組みと万博について	山下静也	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
2	ランチョンセミナーⅢ バイタル連携システムの様々な取組 演者① 池村真美 バイタルサイン連携機器HRジョイント使用率上昇への取組～モバイル端末でのHRジョイントの使用も試みて～ 演者② 橋口絹代 自施設における電子カルテ通信機能付きバイタルサイン測定機器の導入から10年の経緯	山下静也	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11

研究業績：病院長

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	What is the Optimal Treatment Protocol for Traumatic Popliteal Artery Injury? A Comparative Study between Two Institutions	Sadaki Mitsuzawa, Tetsuya Matsuoka, et al.	2024 Journal of Emergencies, Trauma, and Shock	2024

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	COVID-19 罹患後早期に発症したBickerstaff型脳幹脳炎の2症例	森大樹,山田貴大,福岡博,中尾彰太,松岡哲也	日救急医学会誌	35:959-964,2024
2	患者背景が把握できずに早期診断に苦慮したメホルミン関連乳酸アシドーシスの1例	大谷翔一,福島大,山尾幸平,福岡博,成田麻衣子,中尾彰太,松岡哲也	日臨救急医学会誌	27:782-786,2024
3	縦隔型気管支動脈瘤破裂に対してdamage control surgeryを行い救命した1例	新田亜由美,福岡博,中尾彰太,船津俊宏,松岡哲也,他	日救急医学会誌	36:110-114,2025

(3) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	外傷におけるメディカルコントロールと搬送と受け入れの実施基準	松岡哲也	第38回日本外傷学会総会・学術集会	教育講演	2024.4.26

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
2	学校教育における消防職員が実施するBLS教育の有用性の検討	月木良和,中尾彰太,松岡哲也,他	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	一般演題	2024.7.19
3	PPMECコース受講後の知識・技術の定着度調査からみえた小児救急に対する教育体制の現状と課題	萬田将太郎,中尾彰太,松岡哲也,他	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2024.7.19
4	当地域における医療機関・消防・保健所の三者一体型「医療・ケアに関する情報共有シート」の取組みについて	向井秀之,松岡哲也,他	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2024.7.20
5	心肺機能停止傷病者の静脈路確保実施率向上に向けた取り組みについて	河合正人,中尾彰太,松岡哲也,他	第33回全国救急隊員シンポジウム 秋田	一般発表	2024.11.22

(4) 研究会・講演会

整理番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	大阪府泉州地域メディカルコントロール(MC)協議会における活動—これまでとこれから—	松岡哲也	泉州MC協議会消防部会講演	2024.5.17
2	大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム(ORION)について	松岡哲也	第41回救急医療・災害医療シンポジウム	2025.3.1

(5) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	特別講演:毛利衛「宇宙から見た地球生命の未来圏」	松岡哲也	第38回日本外傷学会総会・学術集会	2024.4.25
2	病院救命士に期待される役割—その教育と活用	松岡哲也	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
3	病院経営の課題について	松岡哲也	地域医療を考える会	2025.1.29

研究業績：救命救急センター 救命診療科

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	What is the Optimal Treatment Protocol for Traumatic Popliteal Artery Injury? A Comparative Study between Two Institutions	Sadaki Mitsuzawa, Tetsuya Matsuoka, et al.	2024 Journal of Emergencies, Trauma, and Shock	2024

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	54日間戦いつづけたが救命できなかった、一生忘れられない骨盤開放骨折の症例	中尾彰太	救急医学	48:783-785,2024
2	非高リスク受傷機転で発生し、手術加療を行った乳児頭蓋骨ping-pong骨折の1例	大橋聡,福岡博,中尾彰太	日外傷会誌	38(3):478-481,2024
3	COVID-19 罹患後早期に発症したBickerstaff型脳幹脳炎の2症例	森大樹,山田貴大,福岡博,中尾彰太,松岡哲也	日救急医会誌	35:959-964,2024
4	患者背景が把握できずに早期診断に苦慮したメトホルミン関連乳酸アシドーシスの1例	大谷翔一,福島大,山尾幸平,福岡博,成田麻衣子,中尾彰太,松岡哲也	日臨救急医会誌	27:782-786,2024
5	縦隔型気管支動脈瘤破裂に対してdamage control surgeryを行い救命した1例	新田亜由美,福岡博,中尾彰太,舩津俊宏,松岡哲也	日救急医会誌	36:110-114,2025

(3) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Open Abdominal Managementにおける筋膜退縮予防の工夫	諸戸紗依	第124回日本外科学会定期学術集会	ワークショップ	2024.4.20
2	当院における重症外傷患者受入れ時の円滑な人員参集にむけた取り組み	中尾彰太	第38回日本外傷学会総会・学術集会	シンポジウム	2024.4.25
3	重症骨盤骨折に対して血管内治療を優先とする止血戦略	臼井亮介	第38回日本外傷学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2025.4.25
4	胸椎骨折端により胸部下行大動脈に遅発性仮性瘤を形成した1例	森大樹	第38回日本外傷学会総会・学術集会	一般演題	2024.4.25
5	外傷におけるメディカルコントロールと搬送と受け入れの実施基準	松岡哲也	第38回日本外傷学会総会・学術集会	教育講演	2024.4.26
6	学校教育における消防職員が実施するBLS教育の有用性の検討	月木良和,中尾彰太,松岡哲也,他	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	一般演題	2024.7.19
7	PPMECコース受講後の知識・技術の定着度調査からみえた小児救急に対する教育体制の現状と課題	萬田将太郎,中尾彰太,松岡哲也,他	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2024.7.19
8	第1回事態対処救護試行コース開催の報告	成田麻衣子	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2024.7.19

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
9	当地域における医療機関・消防・保健所の三者一体型「医療・ケアに関する情報共有シート」の取り組みについて	向井秀之,松岡哲也,他	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2024.7.20
10	歯ブラシの誤食による十二指腸穿孔に対して不完全離断型胃空腸吻合を行った1例	尾崎裕介	第16回日本Acute Care Surgery学会学術集会	ポスター	2024.9.27
11	脊髄損傷患者の手術時期は治療経過に影響を与えるか	森大樹	第52回日本救急医学会総会・学術集会	口演	2024.10.13
12	医療機関や行政にも改善を促し得る事後検証体制構築の有用性	福島大	第52回日本救急医学会総会・学術集会	ポスター	2024.10.14
13	気腫を伴わない複雑性腎盂腎炎に対して腎摘除術を行った1例	森口弘太郎	第52回日本救急医学会総会・学術集会	ポスター	2024.10.14
14	救急医のワーク・ライフ・バランス改善に向けて～十分な休日確保のための改革～	中尾彰太	第52回日本救急医学会総会・学術集会	ポスター	2024.10.15
15	救急医のマネジメントスキルを活かした危機管理室長としてのキャリア	成田麻衣子	第52回日本救急医学会総会・学術集会	ポスター	2024.10.15
16	専攻医に魅力的な施設づくりを目指した取り組み	福間博	第52回日本救急医学会総会・学術集会	ポスター	2024.10.15
17	自己完結型救命救急センターにおける地域の高齢者救急医療の現状	山田貴大	第52回日本救急医学会総会・学術集会	口演	2024.10.15
18	「大麻クッキー」摂取が関与した高カリウム血症と多臓器不全により死亡した1例	小野沢英里	第52回日本救急医学会総会・学術集会	ポスター	2024.10.15
19	海上保安庁のヘリコプター実機を用いた洋上救急訓練の取り組み	山尾幸平	第31回日本航空医療学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2024.11.15
20	心肺機能停止傷病者の静脈路確保実施率向上に向けた取り組みについて	河合正人,中尾彰太,松岡哲也,他	第33回全国救急隊員シンポジウム 秋田	一般発表	2024.11.22
21	MCLS大量殺傷型テロ対応病院コースの紹介	成田麻衣子	第30回日本災害医学会総会・学術集会	特別企画	2025.3.7
22	多職種連携で挑む産科危機的出血に対する止血戦略	臼井亮介	第52回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2025.3.15
23	重症呼吸不全を併発した有癭性膿胸に対しVV-ECMO管理下に胸腔開窓術及び気管支充填術を行い救命しえた1例	大橋聡	第52回日本集中治療医学会学術集会	一般演題	2025.3.15
24	全自動遺伝子解析装置で診断した高齢者のRSウイルス感染症の例	根来孝義	第52回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2025.3.16
25	集中治療室におけるRounding Checklistの効果	佐々木香奈	第52回日本集中治療医学会学術集会	一般演題	2025.3.16
26	非閉塞性腸間膜虚血症の初回手術時における腸管壊死部位が治療経過に及ぼす影響	松村彰太	第61回日本腹部救急医学会総会	一般演題	2025.3.20

(4) 研究会・講演会

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	大阪府泉州地域メディカルコントロール(MC)協議会における活動ーこれまでとこれからー	松岡哲也	泉州MC協議会消防部会講演	2024.5.17
2	大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム(ORION)について	松岡哲也	第41回救急医療・災害医療シンポジウム	2025.3.1

(5) 座長

整理 番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	特別講演:毛利衛「宇宙から見た地球生命の未来圏」	松岡哲也	第38回日本外傷学会総会・学術集会	2024.4.25
2	一般演題4「外傷初期診療・外傷教育」	中尾彰太	第38回日本外傷学会総会・学術集会	2024.4.25
3	一般演題3「感染・外傷疫学」	山田貴大	第38回日本外傷学会総会・学術集会	2024.4.25
4	病院救命士に期待される役割ーその教育と活用	松岡哲也	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
5	マンパワー減少時代の安全なモニタリングについて考える	中尾彰太	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
6	ポスター1 胸部	中尾彰太	第16回日本Acute Care Surgery学会学術集会	2024.9.27
7	ポスター38 小児の救急・集中治療と外傷2	中尾彰太	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10.13
8	WINKセッション5 こころ(心)	山田貴大	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10.13
9	セッション4 外傷	臼井亮介	第34回日本救急放射線研究会 第34回日本救急放射線研究会ERセミナー	2024.10.19
10	病院経営の課題について	松岡哲也	地域医療を考える会	2025.1.29

研究業績：感染症センター

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	Efficacy and Safety of Ensitrelvir for Asymptomatic or Mild COVID-19: An Exploratory Analysis of a Multicenter, Randomized, Phase 2b/3 Clinical Trial	Norio Ohmagari, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Influenza and Other Respiratory Viruses	e13338,2024.June
2	Prevention of Post COVID-19 Condition by Early Treatment with Ensitrelvir in the Phase 3 SCORPIO-SR Trial	Hiroshi Yotsuyanagi, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Antiviral Research	Available online 105958, 6 July 2024
3	Travel-associated sexually transmitted infections in Japan: An observational study using imported infectious disease registry data	Keiji Konishi, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Glob Health Med (National Center for Global Health and Medicine.)	6(4):264-267, 2024 Aug 31
4	Tocilizumab in combination with standard of care in patients with severe COVID-19 pneumonia: efficacy and safety from a phase 3 clinical trial in Japan	Nobuyoshi Mori, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Journal of Infection and Chemotherapy	31(1):102524, 2024 Sep 24
5	New multilocus sequence typing scheme for Enterococcus faecium reveals sequential outbreaks of vancomycin-resistant E. faecium ST1162 and ST610 in a Japanese tertiary medical center	Masaki Karino, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Microbiology Spectrum	13(1):e0213124, 2025 Jan 7
6	Effect of Studying Abroad on Catch-Up Vaccination in Young Adults: A Study Using the Japan Pretravel Consultation Registry	Nobumasa Okumura, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Journal of Infection and Chemotherapy	31(2):102547, 2025 Feb
7	Hospital Preparedness for Conducting Clinical Research During a Pandemic: A Nationwide Survey Among Designated Medical Institutions for Infectious Diseases in Japan	Kazuaki Jindai, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Health Security	23(2):82-93, 2025 Mar-Apr

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	めざせ健康長寿りんくう総合医療センター 肺炎球菌ワクチン接種	倭正也	長生会だより	151, 2024
2	COVID-19診療の現状～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	東入間医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)(抄録)	2024.5.10
3	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き	倭正也	MSD株式会社 解説資料作成にあたっての指導・助言	2024.7月
4	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)診療の手引き 2024年版	倭正也	令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	2024年8月2日発行
5	国内多施設レジストリにおける狂犬病暴露前予防の実施状況	山元佳, 倭正也,他	日本渡航医学会誌	18(1),2024
6	COVID19の薬物療法up-to-date:何をどう使うか	倭正也	科学評論社 月刊呼吸器内科 特集/ポストコロナにおける感染症をとりまく話題	47(3):2025.3
7	COVID19up-to-date	倭正也	大阪透析研究会会誌	42(1),2025.3
8	自宅療養又は宿泊療養した日本のCOVID-19患者における急性期及び療養解除後の症状:ウェブによるアンケート調査	倭正也,他	日本環境感染学会誌	39(6)

(3) 国際学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Analysis of the ensitrelvir treatment-emergent amino acid substitutions observed in the SCORPIO-SR phase 3 trial.	Yuko Tsuge1, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	OPTIONS XII TEAASs draft_0912	口頭	2024.9.29 -10.2
2	P-2044: Analysis of Post COVID-19 Condition After Ensitrelvir Treatment in Asymptomatic or Mild-Symptoms Only Patients in the SCORPIO Phase 2b/3 Study	Takumi Imamura, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	ID week2024	ポスター	2024.10.16-19
3	Development of machine learning models to diagnose influenza among international travelers based on symptoms and epidemiological information	Yusuke Asai, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	33rd International Congress of Antimicrobial Chemotherapy	ポスター	2024.11.3-6

(4) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	次なる新興感染症危機にいかに対応するか～平時の医療との両立を目指す医療マネジメント～	倭正也	第16回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
2	エビデンスに基づくラゲプリオ®の適正使用～COVID-19診療の手引きも踏まえて～	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会合同学会	口演	2024.6.27

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
3	最新情報から読み解くCOVID-19の入院対象 患者像-患者視点から軽症・中等症 I および難 治例(腎障害/肝障害/免疫不全)の治療を考 える-	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/ 第72回日本化学療法学会合同学会	口演	2024.6.28
4	SARS-CoV-2 従来株とアルファ株のスバイクタ ンパク質における多様性解析	関雅之,倭正也,他	第98回日本感染症学会学術講演会/ 第72回日本化学療法学会総会合同学 会	口演	2024.6.28
5	The Effect of C ID-19 on Progression of Labour:Baed on Our Three Years'Experience	Kiichiro Furuya, Masaya Yamato, et al.	第98回日本感染症学会学術講演会/ 第72回日本化学療法学会総会合同学 会	口演	2024.6.28
6	Management of Urgent Cesarean Section in COVID-19-A Case Report	Michael Shannon Hara, Masaya Yamato, et al.	第98回日本感染症学会学術講演会/ 第72回日本化学療法学会総会合同学 会	口演	2024.6.28
7	渡航感染症hot topics	倭正也	第28回日本渡航医学会学術集会	口演	2024.7.27
8	海外渡航発熱疾患の疫学と病原体未確定例に 対するメタゲノム解析	山元佳,倭正也,他	第36回日本臨床微生物学会総会・学 術集会	口演	2025.1.26
9	Significance of acute blood purification therapy using AN69ST membrane in critical cases of emerging infectious diseases such as SFTS	倭正也	タイJoint Scientific Congress 「Emerging critical tropical infection “SFTS”」 (第52回日本集中治療医学会学術集 会第5日目)	口演	2025.3.15

(5) 研究会・講演会

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	COVID-19治療薬の投薬意義～実臨床下での経験を踏ま えて～	倭正也	これからのCOVID-19診療を考える会 in Shibuya	2024.4.12
2	COVID-19治療薬の投薬意義～最近の環境変化を踏ま えて～	倭正也	病院におけるCOVID-19診療を考える会in広 島(ハイブリッド方式開催)	2024.4.17
3	COVID-19・インフルエンザ治療薬の投薬意義～最新のエ ビデンスを踏まえて～	倭正也	第177回摂丹支部生涯学習研修会(ハイブリッ ド方式開催)	2024.4.18
4	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	感染症Forum in Saitama(Web開催)	2024.4.23
5	診療の手引きに基づいたCOVID-19診療の実際-入院患者 への早期治療の重要性	倭正也	G-STATION Plus Gilead One Web Seminar	2024.4.25
6	COVID-19に関する最新情報サマリー:感染状況・変異株・ 医療負担および国内外のガイドライン	倭正也	MegaWeb講演会「スッキリ解決！COVID-19治 療の注意点-軽症/中等症 I から難治例(肝障 害・腎障害・免疫不全など)の治療管理まで-	2024.5.9
7	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験～	倭正也	COVID-19 luncheon seminar(Web開催)	2024.5.9
8	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験～	倭正也	東入間医師会学術講演会(ハイブリッド方式開 催)	2024.5.10
9	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	COVID-19 luncheon seminar(Web開催)	2024.5.10
10	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	愛知県COVID-19 セミナー(Web開催)	2024.5.13
11	感染症専門医からみた高齢者におけるRSV予防の重要性	倭正也	アレックスビー 発売記念講演会 in 南大阪 (Web開催)	2024.5.14
12	COVID-19診療のUpdate～病棟で遭遇するコロナ陽性患 者に対するゾコーバ錠の評価とは～	倭正也	入院患者におけるCOVID-19診療を考える会 (Web開催)	2024.5.16
13	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	愛知県感染症セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.5.18
14	ウィズコロナ時代、抗ウイルス薬で治療すべき患者とは－最 新の厚生労働省COVID-19診療の手引きを踏まえて－	倭正也	パキロビッドインターネットシンポジウム(インタ ーネット配信)	2024.5.21
15	COVID-19治療薬の投薬意義～後遺症や重症化に関する 話題を踏まえて～	倭正也	明石市医師会学術講演会(ハイブリッド方式開 催)	2024.5.23
16	COVID-19治療薬の投薬意義－病院診療で遭遇するコロ ナ陽性患者に対するエンシトレルビルの評価とは－	倭正也	京都感染症 Export Seminar(Web開催)	2024.5.28
17	COVID-19診療のUpdate～コロナ陽性患者に対するゾコー バ錠の評価とは～	倭正也	Infection Seminar in 浜北－診療の手引き編 集委員に学ぶ！これからのCOVID-19診療－ (Web開催)	2024.5.29
18	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	血液疾患における感染症Forum(Web開催)	2024.5.30
19	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	東京 昼ランチョン講演会	2024.5.31

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
20	COVID-19診療の現状－重症化リスクの高い患者における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	透析患者のCOVID-19診療を考える会～りんくうに学ぶ～(Web開催)	2024.5.31
21	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar in Nagoya (ハイブリッド方式開催)	2024.6.3
22	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	尾張北部感染症Forum (Web開催)	2024.6.4
23	COVID-19治療薬の投薬意義－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	横浜COVID-19診療フォーラム in 2024 (ハイブリッド方式開催)	2024.6.6
24	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	東京 昼ランチョン講演会	2024.6.7
25	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三重県病院薬剤師会令和6年度第1回感染制御部会研修会 (Web開催)	2024.6.7
26	COVID-19診療の現状～重症化リスクの高い患者に対する治療経験～	倭正也	有床病院でのコロナ治療を考える会in 三河 (Web開催)	2024.6.10
27	4月以降のCOVID-19 治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	沖縄県南部医療圏におけるCOVID-19 抗ウイルス薬セミナー	2024.6.11
28	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	尾西COVID-19 Forum (ハイブリッド方式開催)	2024.6.12
29	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者施設におけるCOVID-19クラスター対策講演会 (Web開催)	2024.6.14
30	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者施設のCOVID-19クラスター対策講演会 (Web開催)	2024.6.15
31	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19ミーティング～ハイリスク患者の治療を再考する～(ハイブリッド方式開催)	2024.6.20
32	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	多摩COVID-19 Web カンファレンス (Web開催)	2024.6.21
33	COVID-19診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	京都府薬剤師会 第1回学術講演会 (Web開催)	2024.6.25
34	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19セミナー～ハイリスク患者に対する診療を考える～(ハイブリッド方式開催)	2024.6.26
35	COVID-19診療のUpdate ～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験をふまえて～	倭正也	血液内科医のためのCOVID-19セミナー –病棟で遭遇するコロナ陽性患者への対応を再考する–	2024.7.5
36	COVID-19診療の現状－重症化リスクの高い患者における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	枚方・交野感染症セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.7.6
37	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar (ハイブリッド方式開催)	2024.7.6
38	COVID-19第11波に備えて～外来・入院で遭遇するコロナ陽性患者に対するゾコバ錠の評価とは～	倭正也	石川県COVID-19ランチョンwebセミナー (Web開催)	2024.7.9
39	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	ぐんま感染症フォーラム (Web開催)	2024.7.10
40	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	免疫不全状態のCOVID-19診療を学ぶ会 (Web開催)	2024.7.11
41	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三重県病院薬剤師会令和6年度第1回感染制御部会研修会 (Web開催)	2024.7.12
42	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	山科医師会学術講演会 (ハイブリッド方式開催)	2024.7.13
43	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	病院でのCOVID-19診療を考える会 in 播磨	2024.7.16
44	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	病院・老健施設におけるCOVID-19診療を考える会 (Web開催)	2024.7.17
45	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	いわき感染症フォーラム (Web開催)	2024.7.18
46	COVID-19治療薬の投薬意義－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Update セミナー in 富山 (ハイブリッド方式開催)	2024.7.19
47	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	透析患者のCOVID-19診療を考える会 (Web開催)	2024.7.22
48	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	救急医のためのCOVID-19セミナーin 浜松 (ハイブリッド方式開催)	2024.7.23
49	COVID-19診療の現状・これから～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	COVID-19病院感染対策地域連携セミナー	2024.7.24
50	COVID-19治療の最前線～抗ウイルス薬の選択基準を考える～	倭正也	COVID-19 Conference in はびきの (ハイブリッド方式開催)	2024.7.25
51	エビデンスに基づくラゲブリオの適正使用～COVID-19診療の手引き10.1版も踏まえて～	倭正也	病院連携研修会	2024.7.25

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
52	COVID-19診療について再考する～実臨床から見えた3CL pro inhibitorの真価とは～	倭正也	静岡県東部 COVID-19 Seminar (ハイブリッド 方式開催)	2024.7.26
53	COVID-19診療の現状－入院患者における抗ウイルス薬の 使用経験－	倭正也	これからのCOVID-19診療を考える会～入院 症例を中心に～ (ハイブリッド方式開催)	2024.7.30
54	COVID-19診療の現状	倭正也	七尾市医師会COVID-19学術講演会 (ハイブ リッド方式開催)	2024.7.31
55	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19診療 up to date -診療の手引き編 集委員に学ぶ！これからのCOVID-19診療－ (ハイブリッド方式開催)	2024.8.1
56	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	埼玉県東部エリア 病院におけるこれからの COVID-19診療を考える会 (Web開催)	2024.8.2
57	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Conference in 堺・泉州	2024.8.3
58	エビデンスに基づくゲラブリオの適正使用～COVID-19診 療の手引き第10.1版も踏まえて～	倭正也	岡山薬剤師感染症セミナーISOP	2024.8.5
59	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	病院におけるCOVID-19診療を考える会 (Web 開催)	2024.8.6
60	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	感染症対策セミナー-COVID-19の対策を考え る-(Web開催)	2024.8.6
61	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	秦野市感染症セミナー～COVID-19診療を考え える～ (ハイブリッド方式開催)	2024.8.9
62	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	COVID-19 Forum in Hanshin	2024.8.10
63	新型コロナウイルス感染症の最新の知見とワクチン接種の 有用性について	倭正也	アルフレッサ堺第二支店MSクロスワイズセミナ ー (Web開催)	2024.8.20
64	COVID-19診療の現状－入院における抗ウイルス薬の使用 経験－	倭正也	入院患者でのCOVID-19治療を考える会 (Web 開催)	2024.8.21
65	COVID-19診療の手引き編集委員から学ぶ高齢者におけ る治療戦略	倭正也	羽島メディカルカンファレンス (ハイブリッド方式 開催)	2024.8.22
66	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	岩手感染症フォーラム (Web開催)	2024.8.23
67	COVID-19診療の現状－耳鼻科領域における抗ウイルス薬 治療を考える－	倭正也	愛知県耳鼻咽喉科医会名古屋地区研修会 第46回名耳会臨床医のつどい (ハイブリッド方 式開催)	2024.8.24
68	COVID-19治療薬の投薬意義－腎機能障害患者での抗ウ イルス薬の使用経験を含めて－	倭正也	腎臓を診る医療者のためのCOVID-19セミナ ー (ハイブリッド方式開催)	2024.8.27
69	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	感染症治療 Up To Date 県南Webセミナー (Web開催)	2024.8.28
70	COVID-19治療薬の投薬意義－外来・入院における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19診療セミナー～病院における診療 を中心に～ (ハイブリッド方式開催)	2024.8.30
71	COVID-19治療薬の投薬意義－罹患後症状抑制の可能性 －	倭正也	宝塚市医師会定例学術講演会 (Web開催)	2024.8.31
72	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	旭川感染症Webセミナー (Web開催)	2024.9.2
73	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar in 北摂	2024.9.5
74	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	香取市郡医師会学術講演会 (ハイブリッド方式開催)	2024.9.6
75	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	三河感染症 Forum in 豊田 (Web開催)	2024.9.9
76	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイ ルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19治療を考える会 in 福島 (Web開 催)	2024.9.10
77	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	第8回山口県病院薬剤師会学術講演会 (Web 開催)	2024.9.11
78	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	COVID-19 web カンファレンス in MITO (ハイ ブリッド方式開催)	2024.9.12
79	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	第101回大阪透析研究会 企業共催セミナー	2024.9.15
80	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬 の使用経験－	倭正也	垂水区学術講演会 (Web開催)	2024.9.19
81	ウィズコロナ時代～新型コロナウイルス対処法	倭正也	大阪府保険医協会9月度内科研究会/医療安 全管理対策講習会	2024.9.21
82	人生100年時代、高齢者におけるCOVID-19診療のポイント	倭正也	これからの高齢者医療を考える会	2024.9.25

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
83	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	備北地区医師会学術講演会～COVID-19～ハイブリッド方式開催(Web開催)	2024.9.26
84	COVID-19診療up-to-date～次期パンデミックに備えて～	倭正也	COVID-19セミナー in 仙台～次期パンデミックに備えて～	2024.10.3
85	外来でのCOVID-19治療薬の使用意義	倭正也	ゾコーバ全国講演会 in FUKUOKA	2024.10.5
86	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	第475回倉敷医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.8
87	COVID-19治療薬の投薬意義～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	西那須野塩原地区医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.10
88	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	泉佐野薬剤師会第263回研修会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.17
89	ハイリスク患者におけるエンシトレルビルの意義について～外来・入院での使用経験より～	倭正也	ハイリスク患者のCOVID-19診療を考える会(Web講演)	2024.10.18
90	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三島医療圏透析患者のCOVID-19診療を考える会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.19
91	5類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	第2回但馬薬剤師会生涯教育研修会・第64回兵庫県病院薬剤師会但馬支部研修会(Web開催)	2024.10.23
92	5類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	COVID-19診療セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.10.24
93	COVID-19 診療の現状－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	桜井地区医師会学術講演会(Web開催)	2024.10.26
94	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	茨城県央・県北感染症セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.10.30
95	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者地域での感染症対策 連携の会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.31
96	かかりつけ医におけるCOVID-19治療薬の投薬意義～後遺症・重症化の疫学を踏まえて～	倭正也	大阪府内科医会第34回医学会(ハイブリッド方式開催)	2024.11.9
97	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオ®の有用性～	倭正也	プライマリーケア医のためのCOVID-19全国シンポジウム	2024.11.10
98	COVID-19の治療と施設内感染防止策－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	栃木地域感染制御コンソーシアム 共催講演会新型コロナウイルス感染症への対応～病院と老健施設における感染防止策を考える～(Web開催)	2024.11.13
99	COVID-19診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	神奈川県感染症セミナー～”コロナ”の未来(これから)を考える～(Web開催)	2024.11.14
100	COVID-19治療の最前線～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	大阪狭山市医師会学術講演会(Web開催)	2024.11.15
101	COVID-19治療の最前線～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	第7回堺近陵医会 学術講演会	2024.11.16
102	泉州エリアの健康を守る～ワクチンの重要性和最新情報～	倭正也	泉州感染症Webセミナー(Web開催)	2024.11.19
103	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	Consider the COVID-19 in Tokyo(Web開催)	2024.11.26
104	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19セミナー～新型コロナウイルスを改めて考える～(ハイブリッド方式開催)	2024.11.27
105	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	かかりつけ医のためのCOVID-19講演会(Web開催)	2024.11.28
106	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	明石市耳鼻科医会講演会(Web開催)	2024.11.30
107	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Expert Seminar in 福岡	2024.12.5
108	コロナワクチンについて	倭正也	Afterコロナにおける予防戦略Up To Date in南大阪(ハイブリッド方式開催)	2024.12.11
109	外来でのCOVID-19治療薬の使用意義	倭正也	一般社団法人大阪府耳鼻科医会学術講演会	2024.12.21
110	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオ®の有用性～	倭正也	COVID-19オンラインセミナー(12/25)(Web開催)	2024.12.25
111	最新情報から読み解くCOVID-19の入院対象患者像－患者視点から軽症・中等症 I および難治例(腎障害/肝障害/免疫不全)の治療を考える－	倭正也	北海道新型コロナウイルス感染症WEBセミナー～”今”求められるCOVID-19マネジメント～	2024.12.26
112	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオの有用性～	倭正也	第33回地域医療研修会学術講演会	2025.1.18
113	COVID-19診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	沖縄透析医会学術講演会(Web開催)	2025.2.4
114	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	北河内学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2025.2.8

整理番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
115	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	Covid-19 WEBセミナー 2025(Web開催)	2025.2.20
116	Implications For Using Covid-19 Treatment Drugs	倭正也	Covid-19 Forum ～New Choice For Treatment Covid-19～(Web開催)	2025.2.23
117	5類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	府中市医師会学術講演会(Web開催)	2025.2.26
118	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	これからのCOVID-19対応を考える会(ハイブリッド方式開催)	2025.3.1
119	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	第658回岡崎薬剤師会研修会講演会(ハイブリッド方式開催)	2025.3.12
120	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	江東区COVID-19Seminar (ハイブリッド方式開催)	2025.3.18
121	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	大阪府COVID-19感染症セミナー(Web開催)	2025.3.19
122	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるモルヌピラビルの有用性～	倭正也	南大阪感染症セミナー(ハイブリッド方式開催)	2025.3.27
123	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	血液内科医のための感染症診療アップデートセミナー(ハイブリッド方式開催)	2025.3.31

(6) 学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	当院感染症センターにおける新興感染症対応について	倭正也	大阪医科薬科大学 公衆衛生学 実習	2024.6.17
2	医療関連感染予防・管理概論 新興・再興感染症、輸入感染症の理解	倭正也	公益社団法人日本看護協会神戸研修センター 2024年度感染管理認定看護師教育課程 医療関連感染予防・管理概論講義	2024.8.9
3	ウィズコロナ時代～新型コロナウイルス対処法	倭正也	大阪府保険医協会 9月度内科研究会 医療安全管理対策講習会	2024.9.21
4	当院感染症センターにおける新興感染症対応について	倭正也	奈良県立医科大学公衆衛生学講義 実習	2024.10.1
5	麻しんの診断、治療及び医療機関における感染拡大防止対策について	倭正也	令和6年度感染症対策従事者研修会 (大津市医師会例会時学術講演会)	2024.11.28
6	感染症とアンチエイジング(コロナ、インフルエンザ、ワクチンなど)	倭正也	脳心血管抗加齢研究会第20回学術大会	2024.12.14
7	新興感染症1・2	倭正也	大阪医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室 講義	2025.2.3

(7) 院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	当センターの特徴 感染症センター	倭正也	新規採用者研修	2024.4.1
2	抗菌薬の使い方	山本雄大	クリニカルレベルアップセミナー(第233回臨床集談会)	2024.5.23
3	海外から帰国後に発熱を認め、抗菌薬、解熱剤内服後に発疹を認めた一例	倭正也	第237回りんぐうカンファレンス	2025.1.16
4	次なる新興感染症のパンデミックは何か ～大阪・関西万博開催の大阪における備え～	倭正也	第237回りんぐうカンファレンス	2025.1.16
5	輸入感染症を、いかに見逃さないか！	倭正也	クリニカルレベルアップセミナー(第235回臨床集談会)	2025.1.23

(8) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	栄養・感染症	倭正也	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
2	トラベルワクチン総論	倭正也	第22回日本旅行医学会大会(Web開催)	2024.5.18
3	抗酸菌症1	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会(ハイブリッド方式開催)	2024.6.28
4	蚊媒介感染症	倭正也	第28回日本渡航医学会学術集会	2024.7.27

研究業績：診療局 内科

《総合内科・感染症内科》

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	Efficacy and Safety of Ensitrelvir for Asymptomatic or Mild COVID-19: An Exploratory Analysis of a Multicenter, Randomized, Phase 2b/3 Clinical Trial	Norio Ohmagari, Masaya Yamato, et al.	Influenza and Other Respiratory Viruses	e13338,2024.June
2	Prevention of Post COVID-19 Condition by Early Treatment with Ensitrelvir in the Phase 3 SCORPIO-SR Trial	Hiroshi Yotsuyanagi, Masaya Yamato, et al.	Antiviral Research	Available online, 105958, 6 July 2024

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
3	Travel-associated sexually transmitted infections in Japan: An observational study using imported infectious disease registry data	Keiji Konishi, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Glob Health Med (National Center for Global Health and Medicine.)	6(4):264-267, 2024 Aug 31
4	Tocilizumab in combination with standard of care in patients with severe COVID-19 pneumonia: efficacy and safety from a phase 3 clinical trial in Japan	Nobuyoshi Mori, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Journal of Infection and Chemotherapy	31(1):102524, 2024 Sep 24
5	New multilocus sequence typing scheme for Enterococcus faecium reveals sequential outbreaks of vancomycin-resistant E. faecium ST1162 and ST610 in a Japanese tertiary medical center	Masaki Karino, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Microbiology Spectrum	13(1):e0213124, 2025 Jan 7
6	Effect of Studying Abroad on Catch-Up Vaccination in Young Adults: A Study Using the Japan Pretravel Consultation Registry	Nobumasa Okumura, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Journal of Infection and Chemotherapy	31(2):102547, 2025 Feb
7	Hospital Preparedness for Conducting Clinical Research During a Pandemic: A Nationwide Survey Among Designated Medical Institutions for Infectious Diseases in Japan	Kazuaki Jindai, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	Health Security	23(2):82-93, 2025 Mar-Apr

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	めがせ健康長寿りんくう総合医療センター肺炎球菌ワクチン接種	倭正也	長生会だより	151,2024
2	COVID-19診療の現状～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	東入間医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)(抄録)	2024.5.10
3	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き	倭正也	MSD株式会社 解説資料作成にあたっての指導・助言	2024.7月
4	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)診療の手引き2024年版	倭正也	令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	2024年8月2日発行
5	国内多施設レジストリにおける狂犬病暴露前予防の実施状況	山元佳, 倭正也, 他	日本渡航医学会誌	18(1),2024
6	COVID19の薬物療法up-to-date:何をどう使うか	倭正也	科学評論社 月刊呼吸器内科 特集/ポストコロナにおける感染症をとりまく話題	47(3):2025.3
7	COVID19up-to-date	倭正也	大阪透析研究会会誌	42(1),2025.3
8	自宅療養又は宿泊療養した日本のCOVID-19患者における急性期及び療養解除後の症状:ウェブによるアンケート調査	倭正也, 他	日本環境感染学会誌	39(6)

(3) 国際学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Analysis of the ensitrelvir treatment-emergent amino acid substitutions observed in the SCORPIO-SR phase 3 trial.	Yuko Tsuge1, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	OPTIONS XII TEAASs draft_0912	口頭	2024.9.29 -10.2
2	P-2044: Analysis of Post COVID-19 Condition After Ensitrelvir Treatment in Asymptomatic or Mild-Symptoms Only Patients in the SCORPIO Phase 2b/3 Study	Takumi Imamura, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	ID week2024	ポスター	2024.10.16-19
3	Development of machine learning models to diagnose influenza among international travelers based on symptoms and epidemiological information	Yusuke Asai, <u>Masaya Yamato</u> , et al.	33rd International Congress of Antimicrobial Chemotherapy	ポスター	2024.11.3-6

(4) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	次なる新興感染症危機にいかに対応するか～平時の医療との両立を目指す医療マネジメント～	倭正也	第16回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
2	エビデンスに基づくラゲブリオ®の適正使用～COVID-19診療の手引きも踏まえて～	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会合同学会	口演	2024.6.27
3	最新情報から読み解くCOVID-19の入院対象患者像-患者視点から軽症・中等症 I および難治例(腎障害/肝障害/免疫不全)の治療を考える-	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会合同学会	口演	2024.6.28
4	SARS-CoV-2 従来株とアルファ株のスパイクタンパク質における多様性解析	関雅之, 倭正也, 他	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会	口演	2024.6.28
5	The Effect of COVID-19 on Progression of Labour: Based on Our Three Years' Experience	Kiichiro Furuya, Masaya Yamato, et al.	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会	口演	2024.6.28

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
6	Management of Urgent Cesarean Section in COVID-19-A Case Report	Michael Shannon Hara, Masaya Yamato, et al.	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会	口演	2024.6.28
7	渡航感染症hot topics	倭正也	第28回日本渡航医学会学術集会	口演	2024.7.27
8	海外渡航発熱疾患の疫学と病原体未確定例に対するメタゲノム解析	山元佳,倭正也,他	第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会	口演	2025.1.26
9	Significance of acute blood purification therapy using AN69ST membrane in critical cases of emerging infectious diseases such as SFTS	倭正也	タイJoint Scientific Congress 「Emerging critical tropical infection “SFTS”」 (第52回日本集中治療医学会学術集会第5日目)	口演	2025.3.15

(5) 研究会・講演会

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	COVID-19治療薬の投薬意義～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	これからのCOVID-19診療を考える会 in Shibuya	2024.4.12
2	COVID-19治療薬の投薬意義～最近の環境変化を踏まえて～	倭正也	病院におけるCOVID-19診療を考える会in広島(ハイブリッド方式開催)	2024.4.17
3	COVID-19・インフルエンザ治療薬の投薬意義～最新のエビデンスを踏まえて～	倭正也	第177回摂丹支部生涯学習研修会 (ハイブリッド方式開催)	2024.4.18
4	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	感染症Forum in Saitama(Web開催)	2024.4.23
5	診療の手引きに基づいたCOVID-19治療の実際－入院患者への早期治療の重要性	倭正也	G-STATION Plus Gilead One Web Seminar	2024.4.25
6	COVID-19に関する最新情報サマリー:感染状況・変異株・医療負担および国内外のガイドライン	倭正也	MegaWeb講演会「スッキリ解決！COVID-19治療の注意点-軽症/中等症 I から難治例(肝障害・腎障害・免疫不全など)の治療管理まで-	2024.5.9
7	COVID-19診療の現状～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	COVID-19 luncheon seminar(Web開催)	2024.5.9
8	COVID-19診療の現状～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	東入間医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.5.10
9	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 luncheon seminar (Web開催)	2024.5.10
10	COVID-20診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	愛知県COVID-19 セミナー(Web開催))	2024.5.13
11	感染症専門医からみた高齢者におけるRSV予防の重要性	倭正也	アレックスビー発売記念講演会 in 南大阪(Web開催)	2024.5.14
12	COVID-19診療のUpdate～病棟で遭遇するコロナ陽性患者に対するゾコーバ錠の評価とは～	倭正也	入院患者におけるCOVID-19 診療を考える会(Web開催)	2024.5.16
13	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	愛知県感染症セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.5.18
14	ウィズコロナ時代、抗ウイルス薬で治療すべき患者とは－最新の厚生労働省COVID-19診療の手引きを踏まえて－	倭正也	パキロビッドインターネットシンポジウム(インターネット配信)	2024.5.21
15	COVID-19 治療薬の投薬意義～後遺症や重症化に関する話題を踏まえて～	倭正也	明石市医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.5.23
16	COVID-19 治療薬の投薬意義－病院診療で遭遇するコロナ陽性患者に対するエンシトレルビル錠の評価とは－	倭正也	京都感染症 Export Seminar(Web開催)	2024.5.28
17	COVID-19診療のUpdate～コロナ陽性患者に対するゾコーバ錠の評価とは～	倭正也	Infection Seminar in 浜北－診療の手引き編集委員に学ぶ！これからのCOVID-19診療－(Web開催)	2024.5.29
18	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	血液疾患における感染症Forum(Web開催)	2024.5.30
19	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	東京 昼ランチョン講演会	2024.5.31
20	COVID-19診療の現状－重症化リスクの高い患者における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	透析患者のCOVID-19診療を考える会～りんくうに学ぶ～(Web開催)	2024.5.31
21	COVID-18診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar in Nagoya(ハイブリッド方式開催)	2024.6.3
22	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	尾張北部感染症Forum(Web開催)	2024.6.4
23	COVID-19治療薬の投薬意義－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	横浜COVID-19診療フォーラム in 2024(ハイブリッド方式開催)	2024.6.6
24	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	東京 昼ランチョン講演会	2024.6.7

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
25	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三重県病院薬剤師会 令和6年度第1回感染制御部会研修会(Web開催)	2024.6.7
26	COVID-19診療の現状～重症化リスクの高い患者に対する治療経験～	倭正也	有床病院でのコロナ治療を考える会in 三河(Web開催)	2024.6.10
27	4月以降のCOVID-19 治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	沖縄県南部医療圏におけるCOVID-19 抗ウイルス薬セミナー	2024.6.11
28	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	尾西COVID-19 Forum (ハイブリッド方式開催)	2024.6.12
29	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者施設におけるCOVID-19クラスター対策講演会(Web開催)	2024.6.14
30	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者施設のCOVID-19クラスター対策講演会(Web開催)	2024.6.15
31	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 ミーティング ～ハイリスク患者の治療を再考する～(ハイブリッド方式開催)	2024.6.20
32	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	多摩COVID-19 Web カンファレンス(Web開催)	2024.6.21
33	COVID-19診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	京都府薬剤師会第1回学術講演会(Web開催)	2024.6.25
34	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 セミナー～ハイリスク患者に対する診療を考える～(ハイブリッド方式開催)	2024.6.26
35	COVID-19診療のUpdate～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験をふまえて～	倭正也	血液内科医のためのCOVID-19セミナー-病棟で遭遇するコロナ陽性患者への対応を再考する-	2024.7.5
36	COVID-19診療の現状－重症化リスクの高い患者における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	枚方・交野 感染症セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.7.6
37	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar(ハイブリッド方式開催)	2024.7.6
38	COVID-19第11波に備えて～外来・入院で遭遇するコロナ陽性患者に対するゾコバ錠の評価とは～	倭正也	石川県COVID-19ランチョンwebセミナー(Web開催)	2024.7.9
39	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	ぐんま感染症フォーラム(Web開催)	2024.7.10
40	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	免疫不全状態のCOVID-19診療を学ぶ会(Web開催)	2024.7.11
41	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三重県病院薬剤師会 令和6年度第1回感染制御部会研修会(Web開催)	2024.7.12
42	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	山科医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.7.13
43	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	病院でのCOVID-19治療を考える会in播磨	2024.7.16
44	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	病院・老健施設におけるCOVID-19診療を考える会 (Web開催)	2024.7.17
45	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	いわき感染症フォーラム(Web開催)	2024.7.18
46	COVID-19治療薬の投薬意義－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Update セミナー in 富山(ハイブリッド方式開催)	2024.7.19
47	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	透析患者のCOVID-19診療を考える会(Web開催)	2024.7.22
48	COVID-20診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	救急医のためのCOVID-19セミナーin 浜松(ハイブリッド方式開催)	2024.7.23
49	COVID-19 診療の現状・これから～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	COVID-19 病院感染対策地域連携セミナー	2024.7.24
50	COVID-19 治療の最前線～抗ウイルス薬の選択基準を考える～	倭正也	COVID-19 Conference in はびきの (ハイブリッド方式開催)	2024.7.25
51	エビデンスに基づくラゲプリオの適正使用～COVID-19診療の手引き10.1版も踏まえて～	倭正也	病院連携研修会	2024.7.25
52	COVID-19診療について再考する～実臨床から見えた3CL pro inhibitorの真価とは～	倭正也	静岡県東部 COVID-19 Seminar(ハイブリッド方式開催)	2024.7.26
53	COVID-19診療の現状－入院患者における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	これからのCOVID-19診療を考える会～入院症例を中心に～(ハイブリッド方式開催)	2024.7.30
54	COVID-20診療の現状	倭正也	七尾市医師会COVID-19学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.7.31
55	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19診療 up to date -診療の手引き編集委員に学ぶ！これからのCOVID-19診療-(ハイブリッド方式開催)	2024.8.1

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
56	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	埼玉県東部エリア 病院におけるこれからのCOVID-19診療を考える会(Web開催)	2024.8.2
57	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Conference in 堺・泉州	2024.8.3
58	エビデンスに基づくゲラブリオの適正使用～COVID-19診療の手引き第10.1版も踏まえて～	倭正也	岡山薬剤師感染症セミナー-ISOP	2024.8.5
59	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	病院におけるCOVID-19診療を考える会(Web開催)	2024.8.6
60	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	感染症対策セミナー－COVID-19の対策を考える-(Web開催)	2024.8.6
61	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	秦野市感染症セミナー～COVID-19診療を考える～(ハイブリッド方式開催)	2024.8.9
62	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Forum in Hanshin	2024.8.10
63	新型コロナウイルス感染症の最新の知見とワクチン接種の有用性について	倭正也	アルフレッサ堺第二支店MSクロスワイズセミナー(Web開催)	2024.8.20
64	COVID-19診療の現状－入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	入院患者でのCOVID-19治療を考える会(Web開催)	2024.8.21
65	COVID-19診療の手引き編集委員から学ぶ高齢者における治療戦略	倭正也	羽島メディカルカンファレンス(ハイブリッド方式開催)	2024.8.22
66	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	岩手感染症フォーラム(Web開催)	2024.8.23
67	COVID-19診療の現状～耳鼻科領域における抗ウイルス薬治療を考える～	倭正也	愛知県耳鼻咽喉科医会名古屋地区研修会第46回名耳会臨床医のつどい(ハイブリッド方式開催)	2024.8.24
68	COVID-19治療薬の投薬意義～腎機能障害患者での抗ウイルス薬の使用経験を含めて～	倭正也	腎臓を診る医療者のためのCOVID-19セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.8.27
69	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	感染症治療 Up To Date 県南Webセミナー(Web開催)	2024.8.28
70	COVID-19治療薬の投薬意義～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	COVID-19診療セミナー～病院における診療を中心に～(ハイブリッド方式開催)	2024.8.30
71	COVID-19治療薬の投薬意義－罹患後症状抑制の可能性－	倭正也	宝塚市医師会定例学術講演会(Web開催)	2024.8.31
72	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	旭川感染症Webセミナー(Web開催)	2024.9.2
73	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar in 北摂	2024.9.5
74	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	香取市郡医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.9.6
75	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三河感染症 Forum in 豊田 (Web開催)	2024.9.9
76	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19治療を考える会 in 福島 (Web開催)	2024.9.10
77	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	第8回山口県病院薬剤師会学術講演会(Web開催)	2024.9.11
78	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 web カンファレンス in MITO (ハイブリッド方式開催)	2024.9.12
79	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	第101回大阪透析研究会企業共催セミナー	2024.9.15
80	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	垂水区学術講演会(Web開催)	2024.9.19
81	ウィズコロナ時代～新型コロナウイルス対処法	倭正也	大阪府保険医協会9月度内科研究会/医療安全管理対策講習会	2024.9.21
82	人生100年時代、高齢者におけるCOVID-19診療のポイント	倭正也	これからの高齢者医療を考える会	2024.9.25
83	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	備北地区医師会学術講演会～COVID-19～ハイブリッド方式開催(Web開催)	2024.9.26
84	COVID-19診療 up-to-date～次期パンデミックに備えて～	倭正也	COVID-19 セミナー in 仙台～次期パンデミックに備えて～	2024.10.3
85	外来でのCOVID-19治療薬の使用意義	倭正也	ゾコーバ全国講演会 in FUKUOKA	2024.10.5
86	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	第475回倉敷医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.8
87	COVID-19治療薬の投薬意義～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	西那須野塩原地区医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.10

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
88	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	泉佐野薬剤師会 第263回研修会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.17
89	ハイリスク患者におけるエンシトレルビルの意義について～外来・入院での使用経験より～	倭正也	ハイリスク患者のCOVID-19診療を考える会(Web講演)	2024.10.18
90	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三島医療圏 透析患者のCOVID-19診療を考える会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.19
91	五類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	第2回但馬薬剤師会生涯教育研修会・第64回兵庫県病院薬剤師会但馬支部研修会(Web開催)	2024.10.23
92	五類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	COVID-19診療セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.10.24
93	COVID-19 診療の現状－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	桜井地区医師会学術講演会(Web開催)	2024.10.26
94	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	茨城県央・県北感染症セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.10.30
95	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者地域での感染症対策連携の会(ハイブリッド方式開催)	2024.10.31
96	かかりつけ医におけるCOVID-19治療薬の投薬意義～後遺症・重症化の疫学を踏まえて～	倭正也	大阪府内科医会 第34回医学会(ハイブリッド方式開催)	2024.11.9
97	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオ®の有用性～	倭正也	プライマリケア医のための COVID-19全国シンポジウム	2024.11.10
98	COVID-19 の治療と施設内感染防止策－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	栃木地域感染制御コンソーシアム 共催講演会新型コロナウイルス感染症への対応～病院と老健施設における感染防止策を考える～(Web開催)	2024.11.13
99	COVID-19 診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	神奈川県感染症セミナー ～”コロナ”の未来(これから)を考える～(Web開催)	2024.11.14
100	COVID-19治療の最前線～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	大阪狭山市医師会学術講演会(Web開催)	2024.11.15
101	COVID-19治療の最前線～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	第7回 堺近陵医会 学術講演会	2024.11.16
102	泉州エリアの健康を守る～ワクチンの重要性和最新情報～	倭正也	泉州感染症Webセミナー(Web開催)	2024.11.19
103	COVID-19 診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	Consider the COVID-19 in Tokyo(Web開催)	2024.11.26
104	COVID-19 診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19セミナー～新型コロナウイルスを改めて考える～(ハイブリッド方式開催)	2024.11.27
105	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	かかりつけ医のためのCOVID-19講演会(Web開催)	2024.11.28
106	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	明石市耳鼻科医会講演会(Web開催)	2024.11.30
107	COVID-19 診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Expert Seminar in 福岡	2024.12.5
108	コロナワクチンについて	倭正也	Afterコロナにおける予防戦略Up To Date in南大阪 (ハイブリッド方式開催)	2024.12.11
109	外来でのCOVID-19治療薬の使用意義	倭正也	一般社団法人大阪府耳鼻科医会学術講演会	2024.12.21
110	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオ®の有用性～	倭正也	COVID-19 オンラインセミナー(12/25)(Web開催)	2024.12.25
111	最新情報から読み解くCOVID-19の入院対象患者像－患者視点から軽症・中等症 I および難治例(腎障害/肝障害/免疫不全)の治療を考える－	倭正也	北海道新型コロナウイルス感染症WEBセミナー～”今”求められるCOVID-19マネジメント～	2024.12.26
112	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオの有用性～	倭正也	第33回地域医療研修会学術講演会	2025.1.18
113	COVID-19 診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	沖縄透析医会学術講演会(Web開催)	2025.2.4
114	COVID-19 診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	北河内学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2025.2.8
115	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	Covid-19 WEBセミナー 2025(Web開催)	2025.2.20
116	Implications For Using Covid-19 Treatment Drugs	倭正也	Covid-19 Forum ～New Choice For Treatment Covid-19～ (Web開催)	2025.2.23
117	五類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	府中市医師会学術講演会(Web開催)	2025.2.26
118	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	これからのCOVID-19対応を考える会(ハイブリッド方式開催)	2025.3.1

整理番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
119	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	第658回岡崎薬剤師会研修会講演会（ハイブリッド方式開催）	2025.3.12
120	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	江東区COVID-19 Seminar（ハイブリッド方式開催）	2025.3.18
121	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	大阪府COVID-19感染症セミナー（Web開催）	2025.3.19
122	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるモルヌピラビルの有用性～	倭正也	南大阪感染症セミナー（ハイブリッド方式開催）	2025.3.27
123	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	血液内科医のための感染症診療アップデートセミナー（ハイブリッド方式開催）	2025.3.31

（6）学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	当院感染症センターにおける新興感染症対応について	倭正也	大阪医科薬科大学 公衆衛生学 実習	2024.6.17
2	医療関連感染予防・管理概論 新興・再興感染症、輸入感染症の理解	倭正也	公益社団法人日本看護協会神戸研修センター 2024年度感染管理認定看護師教育課程 医療関連感染予防・管理概論講義	2024.8.9
3	ウィズコロナ時代～新型コロナウイルス対処法	倭正也	大阪府保険医協会 9月度内科研究会 医療安全管理対策講習会	2024.9.21
4	当院感染症センターにおける新興感染症対応について	倭正也	奈良県立医科大学公衆衛生学講義 実習	2024.10.1
5	麻しんの診断、治療及び医療機関における感染拡大防止対策について	倭正也	令和6年度感染症対策従事者研修会（大津市医師会例会時学術講演会）	2024.11.28
6	感染症とアンチエイジング（コロナ、インフルエンザ、ワクチンなど）	倭正也	脳心血管抗加齢研究会第20回学術大会	2024.12.14
7	新興感染症1・2	倭正也	大阪医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室 講義	2025.2.3

（7）院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	当センターの特徴 感染症センター	倭正也	新規採用者研修	2024.4.1
2	抗菌薬の使い方	山本雄大	クリニカルレベルアップセミナー（第233回臨床集談会）	2024.5.23
3	海外から帰国後に発熱を認め、抗菌薬、解熱剤内服後に発疹を認めた一例	倭正也	第237回りんくうカンファレンス	2025.1.16
4	次なる新興感染症のパンデミックは何か～大阪・関西万博開催の大阪における備え～	倭正也	第237回りんくうカンファレンス	2025.1.16
5	輸入感染症を、いかに見逃さないか！	倭正也	クリニカルレベルアップセミナー（第235回臨床集談会）	2025.1.23

（8）座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	栄養・感染症	倭正也	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
2	トラベルワクチン総論	倭正也	第22回 日本旅行医学会大会（Web開催）	2024.5.18
3	抗酸菌症1	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会（ハイブリッド方式開催）	2024.6.28
4	蚊媒介感染症	倭正也	第28回日本渡航医学会学術集会	2024.7.27

《糖尿病・内分泌代謝内科》

（1）英文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Overdiagnosis of thyroid cancer in Fukushima.	S Midorikawa, T Takano, et al.	Akebishobo	2024
2	New multilocus sequence typing scheme for Enterococcus faecium reveals sequential outbreaks of vancomycin-resistant E.faecium ST1162 and ST610 in a Japanese tertiary medical center.	Masaki Karino, Megumi Sugo, Mizuki Karino, Hiroyuki Hanada, Toru Takano, Masaya Yamato, et al.	Microbiol Spectr	13:e0213124, 2025
3	Ethical issues in collecting data used in epidemiological studies.	S Midorikawa, T Takano, et al.	eClinical Medicine	80:103058, 2025
4	Effect of the Xanthine Oxidase Inhibitor Febuxostat on the Cardio-Ankle Vascular Index in Asymptomatic Patients with Hyperuricemia and Liver Dysfunction: A Sub-Analysis of the PRIZE Study.	Y Kawachi, et al.	J Atheroscler Thromb	32(4):474-490, 2025.

（2）和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	いちからわかる芽細胞発がん	高野徹	Lab Clin Pract	42: 62-8, 2024

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
2	高野徹さんと考える福島の甲状腺検査	関口裕士	北海道新聞	2024年9月15日 朝刊
3	「昼寝うさぎ」が引き起こした福島甲状腺検査の過剰診断問題。専門家が語る「甲状腺がんの自然史」 甲状腺専門医・高野徹さんのインタビュー記事(上)	相本啓太	ハフポスト日本語版	2024年12月25日
4	「白い巨塔」を地で行くような困難が待ち受けていた。福島甲状腺検、「アリバイ作り」のようだった有識者会議 甲状腺専門医・高野徹さんのインタビュー記事(下)	相本啓太	ハフポスト日本語版	2024年12月26日

(3) 国際学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Overdiagnosis of juvenile thyroid cancer in Japan.	Toru Takano	International Conference in Public Health	Oral	2024.6.27

(4) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	肝機能異常合併高尿酸血症患者の動脈硬化指標に対するXOR阻害薬の影響	川知祐介,他	第97回日本内分泌学会学術総会	口演	2024.6.8
2	特別講演 芽細胞発がん説:甲状腺癌のエビデンスが示すがんと病気の真の姿	高野徹	日本臨床検査専門医会第3回年次大会	口演	2024.6.29
3	周産期の甲状腺ホルモンコントロールに難渋したバセドウ病合併妊娠の1例	大槻朋子,山西雅之,小椋紫芳,川知祐介,高野徹	第67回日本甲状腺学会学術集会	ポスター	2024.10.5
4	頭痛と動眼神経麻痺で発症し術後早期に神経症状の改善がみられた下垂体卒中の一例	杉森智之,大槻朋子,出原誠,山西雅之,小椋紫芳,川知祐介,高野徹	第246回日本内科学会近畿地方会	口演	2024.12.14
5	肝機能障害合併・高尿酸血症患者の動脈硬化指標に対する XOR 阻害薬の影響	川知祐介,他	第58回日本痛風・尿酸核酸学会総会	口演	2025.2.20

(5) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	最近の糖尿病治療と各薬剤の適正使用について	大槻朋子	第256回泉佐野薬剤師会研修会	2024.11.14
2	内分泌検査一般、脳幹・下垂体疾患	大槻朋子	泉佐野泉南医師会看護専門学校講義	2025.1.10
3	甲状腺疾患(低下・亢進症)、副甲状腺疾患、副腎皮質・髄質疾患	大槻朋子	泉佐野泉南医師会看護専門学校講義	2025.1.31
4	甲状腺中毒症	高野徹	大阪大学医学部講義	2025.2.7
5	甲状腺腫瘍	高野徹	大阪大学医学部講義	2025.2.7
6	腫瘍(下垂体腫瘍・甲状腺がん)、糖尿病、脂質異常症、痛風、ビタミン欠損症	大槻朋子	泉佐野泉南医師会看護専門学校講義	2025.2.14

(6) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	糖尿病について	大槻朋子	生活習慣病予防教室	2025.3.13

(7) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	Incretin revisited～今改めて考える GLP-1 受容体作動薬の意義～	高野徹	第9回内分泌代謝疾患塾	2024.10.5
2	ミクロとマクロの視点から展開する副腎疾患の臨床研究～1細胞解析から大規模コホート解析まで～	高野徹	第9回内分泌代謝疾患塾	2024.10.5
3	一般演題 内分泌・代謝2	村上正巳,高野徹	第71回日本臨床検査医学会学術集会	2024.11.30

《腎臓内科》

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	透析患者の便秘に克つ！腸の重要性	重松隆	透析ケア	10(4):978-983,2024
2	10cmを超える狭窄病変に二期的にステントグラフトを了知した症例	笠屋拓也,和田龍也,他	大阪透析研究会会誌	41:89-90,2024
3	緊急透析療法導入の実際	大道竜也,岡本幸大,和田龍也,村津淳,重松隆	透析フロンティア	35(2):8-12,2025

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	透析患者の便秘に克つ！腸の大事さ	重松隆	第69回日本透析医学会学術集会 LS39	口演	2024.6.9
2	慢性腎臓病管理	村津淳	2024年度第2回泉南薬剤師会学術講演会	口演	2024.7.25
3	CKD-MBD治療におけるリンと鉄の接点	重松隆	第54回日本腎臓学会西部学術大会LS8	口演	2024.10.6
4	PTHとリン・Caを基礎からもう一度考えてみよう	重松隆	第26回日本骨粗鬆症学会 LS	口演	2024.10.12
5	便秘に克つ:腸の大事さ	重松隆	第27回日本腎不全看護学会学術集会・総会 特別講演	口演	2024.11.9

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
6	CKD-MBD ガイドライン改定の方向性と血液透析療法の貢献	重松隆	第26回日本在宅血液透析学会 LS	口演	2024.11.10
7	腎臓内科から診たCKDの予防と診療	村津淳	Osaka IMAGINE Project 泉州連携講演会	口演	2024.11.30
8	CKD-MBDの変遷から最新診療ガイドラインへ	重松隆	第49回奈良透析学術総会	口演	2025.2.2
9	腋窩領域のPTAはPCBがいい？	土田健司, 和田龍也, 他	第30回透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会学術集会・総会	口演	2025.3.1
10	世界腎臓デーに降圧治療を考える	村津淳	世界腎臓デー2024年度講演会	口演	2025.3.12

(3) 研究会・講演会

整理番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	高血圧・心不全・腎臓病診療と便秘を考える	重松隆	腎臓疾患×慢性便秘症セミナー	2024.5.23
2	リンとPTHを基礎からもう一度考えてみよう	重松隆	HANSHIN KIDNEY FORUM IN 2024	2024.7.4
3	CKD-MBD治療におけるリンと鉄の接点〜クエン酸第二鉄の立ち位置	重松隆	第101回大阪透析研究会	2024.9.15
4	高K血症治療の変遷と将来	重松隆	LOKELMA Autumn Seminar	2024.10.17
5	CKD-MBDの過去から未来へ:ガイドライン改定の方	重松隆	札幌東地区CKD-MBD講演会	2024.11.14
6	CKD-MBDは血液浄化法の進歩と深く関係している	重松隆	第63回 SK腎セミナー	2024.11.20
7	CKD症例における貧血治療と鉄を考える	重松隆	第7回CKD医療連携ネットワークWEBセミナー	2024.11.28
8	CKD-MBDの過去・現在・未来:PTHからリンへ	重松隆	紀南エリア腎疾患SEMINAR	2024.12.6
9	CKD-MBDの変遷から最新診療ガイドラインへ	重松隆	南総CKD-MBDセミナー	2024.12.18

(4) 学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	慢性腎臓病 (CKD:Chronic Kidney Disease)	重松隆	和歌山県立医科大学医学部講義	2024.5.31
2	腸内細菌の話をし	重松隆	NST専門療養指導士講座	2024.6.14
3	水・電解質を制する者は臨床医学を制する	重松隆	NST専門療養指導士講座	2024.6.14
4	水・電解質を制する者は臨床医学を制する	重松隆	NST専門療養指導士講座	2024.11.7

(5) 院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	慢性腎臓病管理-最新のトピックスを含めて-	村津淳	クリニカルレベルアップセミナー(第234回臨床集談会)	2024.7.25
2	ポリファーマシーに克つ	重松隆	りんくう総合医療センター多職種カンファレンス	2024.10.10

(6) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	シンポジウムCKD-MBD治療の課題と展望	重松隆	第8回日本CKD-MBD学会	2024.4.17
2	ES2 CKD に対するプロバイオティクスの臨床効果と腸内細菌叢	重松隆	第67回日本腎臓学会	2024.6.28
3	糖尿病関連腎臓病に対するGLP-1製剤への期待	重松隆	GLP-1 Update Web Seminar	2024.9.19
4	CKD診療とカリウム	重松隆	JCKDIとコラボ講演会IMAGINE project	2024.11.30
5	シンポジウム座長 アフェレーシス療法の最新情報	重松隆, 他	第43回日本アフェレーシス学会関西地方会	2025.2.15
6	LS CKDにおける血管石灰化と心循環系合併症	重松隆	第15回日本腎臓リハビリテーション学会	2025.3.16

《血液内科》

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Reduced-intensity conditioning with fludarabine/busulfan versus fludarabine/low-dose melphalan in patients with non-Hodgkin lymphoma undergoing allogeneic haematopoietic stem cell transplantation	Kimimori Kamijo, et al.	Br J Haematol.	205(8):1097-1107, 2024

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	減量全トランス型レチノイン酸により寛解が得られたCOVID-19合併急性前骨髄球性白血病	藤本凜太郎, 釜江剛, 上條公守, 烏野隆博, 他	臨床血液	65(6):498-501, 2024

(3) 国際学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation for Patients with Relapsed or Refractory Diffuse Large B Cell Lymphoma with Stable or Progressive Disease	Kimimori Kamijo, et al.	66 th American society of hematology (ASH) annual meeting	Poster	2024.12.7

(4) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	キザルチニブにイサブコナゾールを併用することでQT延長症候群を回避できたFLT3-ITD陽性急性骨髄性白血病の一例	有吉和範, 上條公守, 釜江剛, 烏野隆博, 他	第120回近畿血液学地方会	口演	2024.6.8

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
2	両側硬膜下血腫を合併し治療に難渋した原発不明癌に伴う線溶亢進型DIC	井上早紀, 釜江剛, 國井蘭子, 島野隆博, 他	第46回日本血栓止血学会学術集会	ポスター	2024.6.15
3	臨床でベネトクラス減量の実情とその治療成績について	白石貫馬, 上條公守, 釜江剛, 島野隆博, 他	第86回日本血液学会学術集会	口演	2024.10.12
4	精巣原発DLBCLの経過観察中に腹水で発症し、診断に難渋した結核性腹膜炎の一例	立石真結美, 馬越陽大, 上條公守, 町田朋久, 釜江剛, 島野隆博	第121回近畿血液学地方会	口演	2024.11.16
5	AZA+VEN-induced bone marrow aplasia successfully treated with PTCy-Haplo SCT in AML	馬越陽大, 上條公守, 町田朋久, 釜江剛	第47回日本造血・免疫細胞療法学会総会	ポスター	2025.2.28

(5) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	ベツサイドからTTPを考える～病態と診断について～	釜江剛	Osaka iTTP Clinical Forum	2024.9.5
2	VEN+AZAの適切な患者像	釜江剛, 他	AbbVie AML Symposium for Clinician in Osaka	2024.9.14
3	難治性ITP症例に対しフィファートが奏功した一例	馬越陽大, 釜江剛	ITP Clinical Conference 2025	2025.1.30

(6) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	りんくう総合医療センターでの免疫細胞療法(Car-T療法)におけるチーム医療	釜江剛, 伊藤健二, 栗山泰典, 山川紗希	第8回泉州骨髓移植セミナー	2024.11.5
2	造血幹細胞移植の最近の取り組み	釜江剛	第8回泉州骨髓移植セミナー	2024.11.5

(7) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	血液疾患について～リハビリを行うに当たって知っておきたい治療経過～	釜江剛	院内勉強会	2024.6.27
2	血液悪性腫瘍が疑われ当科紹介となったビタミンB12欠乏性貧血	釜江剛	第236回りんくうカンファレンス	2024.11.21
3	古くて新しいビタミンB12欠乏性貧血～大球性貧血をきたす疾患について～	釜江剛	第236回りんくうカンファレンス	2024.11.21

(8) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	再発・難治B細胞リンパ腫治療の新時代～多様化する治療と合併症のマネジメント～	釜江剛	DLBCL Up To Date ～免疫療法を考える会～	2024.6.7
2	FLの初回薬物治療	釜江剛	南大阪悪性リンパ腫セミナー	2024.8.23
3	ビーリンサイト使用経験から考えるALL治療	釜江剛	BLINCYTO Hematology Seminar	2024.10.24
4	高リスクAMLの治療について考える～CPX-351という選択肢	釜江剛	高リスクAML Update conference	2024.11.1
5	止血障害	釜江剛	第121回 近畿血液学地方会	2024.11.16
6	MCL治療の実例 症例提示	釜江剛	MCL Update conference	2025.2.4
7	再発・難治性濾胞性リンパ腫に対する新たな治療戦略	釜江剛	南大阪悪性リンパ腫セミナー	2025.3.18
8	CLL診療の現状と展望	釜江剛	Rare Disease Hematology Seminar form Minami Osaka	2025.3.28

研究業績：診療局 循環器内科

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Association between adequate serum 25(OH)D levels and atherogenic dyslipidemia in young adults	Ching-Way Chen, Shizuya Yamashita, et al.	J Atheroscler Thromb	31(5):524-539, 2024
2	Efficacy, safety, and pharmacokinetics of inclisiran in Japanese patients: Results from ORION-15	Shizuya Yamashita, et al.	J Atheroscler Thromb	31(6):876-903, 2024
3	Familial hypercholesterolaemia in children and adolescents from 48 countries: a cross-sectional study	European Atherosclerosis Society Familial Hypercholesterolaemia Studies Collaboration (Kausik K. Ray, Shizuya Yamashita, et al.)	The Lancet	403(10421):55-66, 2024
4	Japan Atherosclerosis Society (JAS) Guidelines for Prevention of Atherosclerotic Cardiovascular Diseases 2022	Tomonori Okamura, Daisaku Masuda, et al. (Advisors Shizuya Yamashita, et al.)	J Atheroscler Thromb	31(6):641-853, 2024

整理 番号	題 名	著 者	著 書・誌 名	巻(号):ページ, 年
5	Association of body-mass index, lipid-lowering medication, and age with prevalence of diabetes in adults with heterozygous familial hypercholesterolaemia: a worldwide cross-sectional study by the EAS FHSC	Alexander R.M. Lyons, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.; on behalf of the EAS Familial Hypercholesterolaemia Studies Collaboration (FHSC)	Lancet Diabetes Endocrinol	12(11):811-823, 2024
6	Relationship of interleukin-16 with different phenogroups in acute heart failure with preserved ejection fraction	Shunsuke Tamaki, <u>Yoshiyuki Nagai</u> , <u>Ryu Shutta</u> , <u>Daisaku Masuda</u> , <u>Nobuhiko Makino</u> , <u>Shizuya Yamashita</u> , et al. on behalf of the OCVC-Heart Failure Investigators	ESC Heart Failure	11(4):2354-2365, 2024
7	Efficacy and safety of pemafibrate extended-release tablet: a phase 3, multicenter, randomized, double-blind, active-controlled, parallel-group comparison trial	Hidenori Arai, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	J Atheroscler Thromb	31(11):1517-1538, 2024
8	Ipragliflozin and sitagliptin differentially affect lipid and apolipoprotein profiles in type 2 diabetes: the SUCRE study	Mototsugu Nagao, et al. and on behalf of the <u>SUCRE Study Investigators</u> (<u>Shizuya Yamashita</u>)	Cardiovascular Diabetology	23(1):56, 2024
9	Comment: Lessons from PROMINENT and prospects for pemafibrate	Jean-Charles Fruchart, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	Cardiovascular Diabetology	23(1):279, 2024
10	Serum lipoprotein (a) levels and their association with atherosclerotic cardiovascular disease in Japan	Emi Fujii, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	J Atheroscler Thromb	32(4):421-438, 2024
11	Managing hypertriglyceridaemia for preventing cardiovascular disease — Lessons from the PROMINENT Trial -	Shizuya Yamashita, et al.	Eur J Clin Invest	54(9):e14227, 2024
12	Current diagnosis and management of familial hypobetalipoproteinemia 1	Tetsuji Wakabayashi, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al. on behalf of the Committee on Primary Dyslipidemia under the Research Program on Rare and Intractable Disease of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan	J Atheroscler Thromb	31(7):1005-1023, 2024
13	Editorial The role of lipid metabolism in dyslipidemias and atherosclerosis	Miodrag Janic, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	Metabolites	14(11):596, 2024
14	IL-6/gp130 signaling in CD4+ T cells drives the pathogenesis of pulmonary hypertension	Tomohiko Ishibashi, <u>Takeshi Masaki</u> , et al.	Proc Natl Acad Sci U S A	121(6):e2315123121, 2024
15	JCS 2023 Guideline on the Primary Prevention of Coronary Artery Disease	Akira Fujiyoshi, <u>Daisaku Masuda</u> , et al.; Japanese Circulation Society Joint Working Group	Circ J	88(5):763-842, 2024
16	β -blockers may be detrimental in frail patients with heart failure with preserved ejection fraction	Shungo Hikoso, <u>Daisaku Masuda</u> , <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators	Clin Res Cardiol	113(6):842-855, 2024
17	Relationship of interleukin-16 with different phenogroups in acute heart failure with preserved ejection fraction	Shunsuke Tamaki, <u>Yoshiyuki Nagai</u> , <u>Ryu Shutta</u> , <u>Daisaku Masuda</u> , <u>Nobuhiko Makino</u> , <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators	ESC Heart Fail	11(4):2354-2365, 2024

整理 番号	題 名	著 者	著 書・誌 名	巻(号):ページ, 年
18	Association of BMI, lipid-lowering medication, and age with prevalence of type 2 diabetes in adults with heterozygous familial hypercholesterolaemia: a worldwide cross-sectional study	European Atherosclerosis Society Familial Hypercholesterolaemia Studies Collaboration (EAS FHSC) (<u>Daisaku Masuda</u> , <u>Shizuya Yamashita</u>)	Lancet Diabetes Endocrinol	12(11):811-823, 2024
19	Novel anticoagulation therapy using apple watch after catheter ablation for atrial fibrillation—Up to AF trial: Design and rationale	Akihiro Sunaga, <u>Nobuhiko Makino</u> , et al.	J Arrhythm	41(1):e13194, 2024
20	Post-discharge changes in nutritional status predict prognosis in patients with acute decompensated HFpEF from the PURSUIT-HFpEF Registry.	Takashi Kitao, <u>Daisaku Masuda</u> , <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators	Heart Vessels	Online ahead of print. 2024
21	Effects of pemafibrate on low-density lipoprotein metabolism in patients with metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease: a sub-analysis of the PEMA-FL Study	Ryohei Tanigawa, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	J Atheroscler Thromb	2024 Dec 18. doi: 10.5551/jat.65395. Online ahead of print
22	Implementation recommendations for improving the care of familial hypercholesterolaemia from the International Atherosclerosis Society	Mitchell N. Sarkies, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	Am J Prev Cardiol	22:100993, 2025
23	Proteomic analysis of human chylomicron remnants isolated by apolipoprotein B-48 immunoprecipitation	Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita, et al.	J Atheroscler Thromb	32(2):226-238, 2025
24	Pharmacokinetics and safety of pemafibrate in patients with both dyslipidemia and severe renal dysfunction: a phase 4 study	Shun Ishibashi, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	J Atheroscler Thromb	32(2):210-225, 2025
25	Clinical pharmacology of pemafibrate extended-release formulation in patients with hypertriglyceridemia—A phase 2, multicenter, active-controlled, randomized, single-blind, crossover study	Shizuya Yamashita, et al.	J Atheroscler Thromb	32(3):367-384, 2025
26	Cost-effectiveness analysis for the combination of universal screening at age 9–10 years and reverse cascade screening of relatives for familial hypercholesterolaemia in Japan	Keiji Matsunaga, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	J Atheroscler Thromb	32(2):210-225, 2025
27	Overweight, obesity, and cardiovascular disease in heterozygous familial hypercholesterolaemia: the EAS FH Studies Collaboration registry	Amany Elshorbagy, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.; on behalf of the EAS Familial Hypercholesterolaemia Studies Collaboration (FHSC)	European Heart Journal	46(12):1127-1140, 2025
28	Plozasiran for managing persistent chylomicronemia and pancreatitis risk	Gerald F Watts, <u>Daisaku Masuda</u> , et al.; PALISADE Study Group	N Engl J Med	392(2):127-137, 2025
29	Role and prognostic value of growth differentiation factor 15 in patient of heart failure with preserved ejection fraction: insights from the PURSUIT-HFpEF registry	Daisuke Sakamoto, <u>Daisaku Masuda</u> , <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators	Open Heart	12(1):e003008, 2025
30	Long-term effects of extended-release pemafibrate tablets on dyslipidemia and safety in hypertriglyceridemic patients: a phase 3, multicenter, randomized, open-label, parallel-group study	Hidenori Arai, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	J Atheroscler Thromb	2025 Feb 7. doi: 10.5551/jat.65350. Online ahead of print
31	Efficacy and safety of bempedoic acid for hypercholesterolemia: a Phase 2 multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group, dose-finding trial	Shizuya Yamashita, et al.	J Atheroscler Thromb	2025 Mar 1. doi: 10.5551/jat.65336. Online ahead of print
32	Temporal effects of plozasiran on lipids and lipoproteins in persistent chylomicronemia	Gerald F Watts, <u>Daisaku Masuda</u> , et al.; PALISADE Study Group	Circulation	151(10):733-736, 2025
33	Efficacy and safety of bempedoic acid in Japanese patients with hypercholesterolemia: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 3 study (the CLEAR-J trial)	Shizuya Yamashita, et al.	Circ J	2025 Mar 28. doi: 10.1253/circj.CJ-25-0089. Online ahead of print

整理 番号	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
34	Low HDL and high HDL syndromes	Shizuya Yamashita, et al.	Encyclopedia of Endocrine Diseases (Editor-in-Chief: Luciano Martini), Third Edition (Elsevier)	in press
35	A catalog of the pathogenic mutations and clinical features of ABCG5 and ABCG8 gene in sitosterolemia in the world	Takeshi Okada, <u>Shizuya Yamashita</u> , et al.	J Atheroscler Thromb	in press
36	Impact of probucol on xanthoma reduction and its role in cardiovascular event prevention in familial hypercholesterolemia patients	Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda	Rare Dis Orph Drugs J	in press
37	Effects of pemafibrate on cholesterol synthesis and absorption: a post-hoc subgroup analysis of a phase 2 clinical trial	Shizuya Yamashita, et al.	J Atheroscler Thromb	in press

(2) 和文原著、総説、著書

整理 番号	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	日々の生活こそが健康管理のカギ 01. 動脈硬化のリスク要因「食後高脂血症」を防ぐ生活習慣のヒント	山下静也	賢者の休日	2023 2024 Winter:1-4, 2024
2	脂質異常症	山下静也	編集・発行 臨床研究適正評価 教育機構(J-CLEAR):脳・心・ 腎・血管疾患 クリニカル・トライ アル Annual Overview 2024	15-18, 2024
3	ただ下げればいいわけじゃない! コレステロールを正しく知 ろう「コレステロールの正体を知る」	山下静也(監修)	ヘルスアップ	21(No.474 2024.4 月):43-45, 2024
4	ただ下げればいいわけじゃない! コレステロールを正しく知 ろう「コレステロール値を改善する生活習慣」	山下静也(監修)	ヘルスアップ	21(No.474 2024.4 月):46-47, 2024
5	ただ下げればいいわけじゃない! コレステロールを正しく知 ろう「脂質異常症の治療薬」	山下静也(監修)	ヘルスアップ	21(No.474 2024.4 月):48-49, 2024
6	3) 高LDLコレステロール血症に対するsiRNA治療薬インク リシラン	山下静也	日本内科学会雑誌	113(臨時増刊 号):98, 2024
7	短期集中連載 第①回 コレステロール・中性脂肪 放って おくと、何が怖い?	山下静也,他(監 修)	きょうの健康	2024年5月号: 86-87, 2024
8	第121回日本内科学会講演会(2024年4月12日 東京国際フ ォーラム) シンポジウム1. 核酸医薬治療の最前線 3) 高LDLコレステロール血症に対するsiRNA治療薬インク リシラン	山下静也	日本内科学会雑誌	113(9):1572-1580, 2024
9	注目の新薬 パルモディア®XR錠(ペマフィブラート)	山下静也	診断と治療	112(6):781-787, 2024
10	話題のくすり インクリシランナトリウム注射剤	山下静也	日本病院薬剤師会雑誌	60(10):1101-1108, 2024
11	脂質異常症治療におけるインクリシラン	山下静也	Pharma Medica	41(3):29-37, 2024
12	日本内科学会シンポジウム1 高LDL-C血症にsiRNA薬イ ンクリシランが有望	山下静也	Medical Tribune Web	https://medical- tribune.co.jp/ne ws/2024/052356 2934/
13	non-HDLコレステロール(non-HDL-C),トリグリセライド (TG), HDL-Cを鑑みた動脈硬化性疾患の予防戦略—脂質 異常症治療薬の使い分け	増田大作	medicina	61(8), 2024.7
14	あなたの疑問に専門家が回答! 健康Q&A 「卵1日3個は多すぎ?」「HDLコレステロールが高ければ安 心?」名医が回答!	山下静也	日経Gooday	https://gooday. nikkei.co.jp/atcl /column/18/020 200005/0811002 14/ (2024/8/26 公開)
15	あなたの疑問に専門家が回答! 健康Q&A 「中性脂肪が下がらない」「女性はLDLコレステロールが高く てもいい?」名医が回答!	山下静也	日経Gooday	https://gooday. nikkei.co.jp/atcl /column/18/020 200005/0812002 15/ (2024/8/28 公開)
16	はじめに 健康診断の結果を軽視していませんか?	山下静也,他(監 修)	別冊NHKきょうの健康 コレステロール・中性脂肪 放っ ておくと「突然死」!? 脂質異常症 を改善するために	8, 2024

整理 番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
17	第1章 脂質異常症治療のウソ・ホント	山下静也,他(監修)	別冊NHKきょうの健康 コレステロール・中性脂肪 放っておくと「突然死」!? 脂質異常症を改善するために	9-40, 2024
18	第2章 食事の悩みQ&A相談室	山下静也,他(監修)	別冊NHKきょうの健康 コレステロール・中性脂肪 放っておくと「突然死」!? 脂質異常症を改善するために	41-60, 2024
19	第3章 らくらく運動を上手にくみ合わせよう	山下静也,他(監修)	別冊NHKきょうの健康 コレステロール・中性脂肪 放っておくと「突然死」!? 脂質異常症を改善するために	61-80, 2024
20	第4章 脂質異常症のしくみと薬物療法	山下静也,他(監修)	別冊NHKきょうの健康 コレステロール・中性脂肪 放っておくと「突然死」!? 脂質異常症を改善するために	81-95, 2024
21	2. 代謝・内分泌検査/B.脂質代謝 総コレステロール	山下静也	臨床検査ガイド2025年改訂版 これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた(大西宏明、Medical Practice編集委員会:矢崎義雄、小池和彦、小室一成、須永眞司、山内敏正)(文光堂)	285-289, 2024
22	二内におけるPatient-oriented Researchの伝統を受け継いで	山下静也	二内の心 百年 大阪大学医学部第二内科創設百周年記念誌	79-80, 2024
23	石橋 俊先生との思い出	山下静也	石橋 俊教授退任記念誌 自治医科大学内分泌代謝部門業績集	106, 2024
24	悪玉コレステロール狙う新薬 年2回投与で負担減	岩田洋,山下静也	日本経済新聞	2024年8月3日, 電子版
25	ヘスベリジンの血清脂質低下作用	山下静也	ヘスベリジン研究会Web	https://sshes.org/activity/page04.html
26	脂質異常(高コレステロール・高中性脂肪)を特定健診で見つけて脳心血管疾患を予防しよう!	増田大作	広報いずみさの	2024.11.1発行
27	脂質異常症—高LDL-C血症	増田大作	今日の治療指針	2025年1月
28	なんでも健康相談 循環器内科 食事に気をつけてもコレステロール値が高い	山下静也	きょうの健康	2025年3月号: 105, 2025
29	I. 症候編 脂質異常症	山下静也(執筆協力者:花田浩之)	今日の診断指針第9版 症候編(医学書院)	123-128, 2025
30	コレステロール高いのがいいとか低いのがいいとか、どっち!? コレステロールの大正解	山下静也(取材協力)	Tarzan No.898(3/27 2025) 血圧・血糖値 コレステロールの大正解	59-69, 2025
31	薬は語る 新連載 第1回 スタチンとある日本人の物語①	山下静也	きょうの健康2025年4月号	80, 2025
32	薬は語る 新連載 第2回 スタチンとある日本人の物語②	山下静也	きょうの健康2025年5月号	80, 2025
33	コレステロールの大誤解 コレステロールは高めがいい? 低すぎは危険? 専門医が解説 コレステロール値、結局何が正しい? 低すぎ危険? 専門医が解説	山下静也	日経Gooday 2025.5.1公開	https://gooday.nikkei.co.jp/atcl/report/24/041100047/041100001/
34	コレステロールの大誤解 卵は1日何個食べてもコレステロールに影響しない? 第2回 コレステロールと食事に関する疑問を解消	山下静也	日経Gooday 2025.5.8公開	https://gooday.nikkei.co.jp/atcl/report/24/041100047/041500002/
35	コレステロールの大誤解 コレステロール対策 悪玉LDLを減らし善玉HDLを増やすには 第3回 LDLコレステロール増えすぎの人は薬による治療も	山下静也	日経Gooday 2025.5.12公開	https://gooday.nikkei.co.jp/atcl/report/24/041100047/041800003

整理 番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
36	日本人の脂質異常症患者におけるベムペド酸の有効性と安全性: CLEAR-J試験	山下静也	TCROSS NEWS, 20025.3.29	https://www.tcross.co.jp/meeting/jcs/7635
37	日本人へのbempedoic acid、LDL-C20%超の低下を認める (CLEAR-J) / 日本循環器学会	山下静也	CARE NET 公開日: 2025.4.3 (Circulation Journal誌2025年3月28日号同時掲載)	https://www.carenet.com/news/general/carenet/60439
38	NEWS 学会トピック◎第89回日本循環器学会学術集会 (JCS2025) ベムペド酸で日本人患者のLDL-Cが25%低下患者背景によらず一貫した効果 J-CLEAR試験	山下静也	日経メディカル 公開日2025.4.4	https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/hotnews/int/202504/588148.html
39	平田健一教授との思い出	山下静也	平田健一教授退官記念業績集	in press
40	小児家族性高コレステロール血症診療ガイドラインフォーカスアップデート2025	斯波真理子, 山下静也, 他 (日本小児科学会・日本動脈硬化学会合同小児家族性高コレステロール血症診療ガイドライン作成ワーキンググループ)	小児FH診療ガイドライン (日本小児科学会・日本動脈硬化学会編)	1-26, 2025

(3) 国際学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Evaluation of remnant lipoprotein accumulation by measuring non-HDL-cholesterol minus direct LDL cholesterol level (Non-HDL-C-DLDL-C) instead of measuring remnant cholesterol levels	Daisaku Masuda, Hiroyuki Hanada, Shizuya Yamashita	92 nd Congress of the European Atherosclerosis Society (EAS)	Poster	2024.5.26-29
2	Selective PPAR α modulator	Shizuya Yamashita	Lipid Association of India (LAI)-Asian-Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Diseases (APSAVD) Congress 2024	Oral	2024.9.6
3	Screening type III hyperlipidemia using Non-HDL-C, direct LDL-C and apolipoproteinB-48/TG	Daisaku Masuda, Hiroyuki Hanada, Shizuya Yamashita	20 th International Symposium on Atherosclerosis 2024	Poster	2024.12.4-6
4	Treatment of hypertriglyceridemia for cardiovascular disease prevention: Lessons from the PROMINENT Trial	Shizuya Yamashita	20 th International Symposium on Atherosclerosis 2024	Oral	2024.12.5
5	Sponsored Symposium by Medical Affairs, Kowa Company, Ltd. "Unravelling the potential of SPPARM α with appraisal of cumulative evidence" Lecture 2 Lessons from the PROMINENT Trial and future perspectives	Shizuya Yamashita	20 th International Symposium on Atherosclerosis 2024	Oral	2024.12.5

(4) 国内学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	シンポジウム 核酸医薬治療の最前線 3) 高LDL コレステロール血症に対するsiRNA治療薬インクリシラン	山下静也	第121回日本内科学会講演会	口演	2024.4.12
2	日本人における魚の摂取量と動脈硬化の関係医療関係者こそ魚を食べよう!	増田大作	スイーツセミナー2 第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
3	組織的な医師事務作業補助業務の確立を目指した医師直轄のドクターサポートセンターの設立	増田大作, 三浦薫, 高山昌代	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
4	医師事務作業補助者の業務内容の合理化と時間外労働の撲滅	増田大作, 三浦薫, 高山昌代	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
5	医師事務作業補助業務のマニュアル作成と複数科対応可能な達成	三浦薫, 高山昌代, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
6	COVID-19禍における突然のマンパワー減少に対する医師事務作業補助者の迅速対応	三浦薫, 高山昌代, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
7	ドクターサポートセンターの主体的介入による診断書作成依頼内容の明瞭化とトラブルシューティング	延野夏希, 三浦薫, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
8	パンフレットを活用した家族へのせん妄の周知と教育	松藤香織	第16回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
9	当院におけるタスクシフト業務の導入 ～人間ドックでの静脈路確保～	藤本ひかる,今濱麻美,前田亮祐,松谷梨央,田川次郎,鎌谷真紗子,花田浩之,増田大作,南谷かおり,高野徹	第73回日本医学検査学会(金沢)	口演	2024.5.11-12
10	日本人高コレステロール血症患者を対象としたベムペド酸の有効性・安全性・用量反応性の検証: 第Ⅱ相試験(プラセボ対照無作為化多施設共同二重盲検並行群間比較試験)	山下静也,他	第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会	口演	2024.7.6
11	狭心症発作を繰り返す高TG血症の一例～動脈硬化を始めとする各専門職とともに歩んだ治療経過～	増田大作	メディカルスタッフカンファレンス、 第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会(神戸国際会議場)	口演	2024.7.7
12	多職種で考える症例検討会:メディカルスタッフカンファレンス(MSC) 「狭心症発作を繰り返す高TG血症の一例 ～動脈硬化を始めとする各専門医とともに歩んだ治療経過～」	森健太,増田大作, 花田浩之,他	第56回日本動脈硬化学会	パネリスト	2024.7.7-8
13	Testing rate and distribution of serum Lp(a) (Lp(a)) levels in the Japanese population at high risk of atherosclerotic cardiovascular disease	Emi Fujii, Shizuya Yamashita, et al.	第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	口演	2024.7.26
14	術前にImpellaを留置して冠動脈バイパス術を施行したうっ血性心不全の1例	阿部誠,習田龍,山下静也,永井義幸,増田大作,牧野信彦,正木豪,義間昌平,北山詩奈子,迫恒志	第28回日本心不全学会学術集会	ポスター	2024.10.5
15	ランチョンセミナー8 トリグリセリド管理の重要性とSPPARM α への期待	山下静也	第46回日本臨床栄養学会総会・ 第45回日本臨床栄養協会総会 第22回大連合大会	口演	2024.10.6
16	The Japan Dietの家族性高コレステロール血症(FH)を含めた脂質異常症に対する有効性の検討	増田大作,遠藤隆之, 内原真理,山下静也	第46回日本臨床栄養学会総会・ 第45回日本臨床栄養協会総会 第22回大連合大会	口演	2024.10.5
17	りんくう総合医療センター栄養管理室における業務改善の取り組みについて	遠藤隆之,花田浩之,増田大作,山下静也	第46回日本臨床栄養学会総会・ 第45回日本臨床栄養協会総会 第22回大連合大会	口演	2024.10.6
18	野菜・果物の健康に関する最近のエビデンス	増田大作	日本動脈硬化学会共催企画The Japan Diet、第46回日本臨床栄養学会総会連合大会(東京)	口演	2024.10.6
19	モンテブラーゼを使用したカテーテル的血栓溶解療法が有効であったMay-Thurner症候群の一例	鳥居南見,義間昌平	第43回CVIT近畿地方会	口演	2024.10.19
20	医師事務作業補助部門の組織化と業務内容のマニュアル化による業務の適正化と労働環境の改善	三浦薫,高山昌代, 増田大作	日本医師事務作業補助者協会 第13回全国学術集会(東京)	口演	2024.10.20
21	学術委員会企画シンポジウム5 残存心血管リスクを軽減するための潜在ターゲット 残存リスクとしての高トリグリセリド血症、高レムナント血症	山下静也	第65回日本脈管学会学術総会	口演	2024.10.25
22	病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき 医師の立場から	増田大作	「シンポジウム5」病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき、第31回日本未病学会学術総会(金沢)	口演	2024.11.3
23	当院における止血デバイスの効果	迫恒志	第4回日本不整脈心電学会近畿地方会	口演	2024.11.16
24	医師事務作業補助者における組織化と効率化による、業務適正化とコンプライアンスの向上	三浦薫,高山昌代, 増田大作,他	シンポジウム「再考！タスクシフトと医療安全」第19回医療の質・安全学会(東京)	口演	2024.11.30
25	多忙極める医師の事務作業の軽減に配置された医師事務作業補助者の医療安全への寄与はどうか	三浦薫,高山昌代, 増田大作	第19回医療の質・安全学会学術集会	口演	2024.11.30
26	急性心筋梗塞後に心損傷後症候群による心嚢液貯留と心筋浮腫をきたした一例	緒林秀和	第138回日本循環器学会近畿地方会	口演	2024.12.7
27	May-Thurner症候群に対してモンテブラーゼによるカテーテル血栓溶解療法を施行した一例	鳥居南見,義間昌平	第138回日本循環器学会近畿地方会	口演	2024.12.7
28	間質性肺炎と難治性下痢を合併した劇症型心筋炎の1例	立石真結美,義間昌平	第246回日本内科学会近畿地方会	口演	2024.12.14

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
29	Non-HDL-コレステロール値から直接法LDLコレステロール値を引いたnon-HDL-C-dLDL-C値によるレムナントコレステロールの推定	張岩,安澤智美,増田大作,馬場谷美知子,南谷かおり	日本総合健診医学会第53回大会(千葉)	口演	2025.1.31
30	動脈硬化性疾患一次予防の専門医から見た食事摂取と健康診断・リスク評価治療の未来予想図	増田大作	『日本人の食事摂取基準』を健診・予防医療現場に活かす！！日本総合健診医学会第53回大会(千葉)	口演	2025.1.31
31	動脈硬化性疾患一次予防の専門医から見た食事摂取と健康診断・リスク評価治療の未来予想図	増田大作	家族性高コレステロール血症を人間ドック健診で見つける！！日本総合健診医学会第53回大会(千葉)	口演	2025.2.1
32	トリグリセライドが高いとき、なにを考え、なにを話すか？	増田大作	ランチョンセミナー、日本動脈硬化学会第25回動脈硬化教育フォーラム(仙台)	口演	2025.2.9
33	【症例:40歳男性】	増田大作	管理栄養士セミナー、日本動脈硬化学会第25回動脈硬化教育フォーラム(仙台)	口演	2025.2.9
34	生活習慣病管理における適切な療養指導	増田大作	教育講演6、日本動脈硬化学会第25回動脈硬化教育フォーラム(仙台)	口演	2025.2.9
35	Late Breaking Clinical Trials 2/Atherosclerosis and Risk Factors Efficacy and safety of bempedoic acid compared with placebo for Japanese patients with hypercholesterolemia: CLEAR-J	Shizuya Yamashita, et al.	第89回日本循環器学会学術集会	口演 (英語)	2025.3.28
36	ランチョンセミナー35 循環器疾患予防の未来予想図:肝臓と脂質代謝異常から再考する 講演2 トリグリセライド管理の重要性とSPPARM α への期待	山下静也	第89回日本循環器学会学術集会	口演	2025.3.29
37	Consistent LDL-C reduction with evolocumab among Japanese patient subgroups in PROFICIO: A pooled analysis of 1,040 patients	Nobuhiro Osada, Shizuya Yamashita, et al.	第89回日本循環器学会学術集会	ポスター (英語)	2025.3.29
38	Endovascular therapy was effective in a case of abdominal aortic stenosis presenting with refractory hypertension	Shinako Kitayama, Shizuya Yamashita, Yoshiyuki Nagai, Ryu Shutta, Daisaku Masuda, Nobuhiko Makino, Takeshi Masaki, Syohei Yoshima, Makoto Abe, Koji Sako, Hidekazu Obayashi, Nami Torii	第89回日本循環器学会学術集会	口演 (英語)	2025.3.30
39	A case of a young woman with Loeys-Dietz syndrome who developed pregnancy-related acute aortic dissection during the postpartum period	Makoto Abe, Shizuya Yamashita, Yoshiyuki Nagai, Ryu Shutta, Daisaku Masuda, Nobuhiko Makino, Takeshi Masaki, Syohei Yoshima, Shinako Kitayama, Koji Sako, Hidekazu Obayashi, Nami Torii	第89回日本循環器学会学術集会	口演 (英語)	2025.3.30

(5) 研究会・講演会

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	『地域でみつける・みまもる・管理するACS一次・二次予防』	増田大作	ACS/CCSのリスク管理を考える会	2024.6.1
2	トリグリセライドが高いとき、なにを考え、なにを話す？	増田大作	Kowa Web Conference(web)	2024.6.18
3	当院での不整脈診療について	牧野信彦	地域で見守る不整脈	2024.6.27
4	トリグリセライドが高いとき、なにを考え、なにを話す？	増田大作	Kowa Web Conference(web)	2024.7.29

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
5	糖尿病・脂質異常を含めた包括的リスク評価と治療戦略	増田大作	糖尿病治療のRoadmap2024	2024.9.13
6	ST上昇型心筋梗塞後に急性心膜炎を合併した一例	緒林秀和, 迫恒志, 鳥居南見, 福田忠浩, 北山詩奈子, 阿部誠, 義間昌平, 正木豪, 牧野信彦, 増田大作, 習田龍, 永井義幸, 山下静也	第30回中之島循環器・代謝フォーラム	2024.9.14
7	脂質異常症を見たときは	増田大作	ドクターズプライム(web公開)	2024.10.1
8	トリグリセリド管理の重要性とSPPARM α (XR錠)への期待	山下静也	湖北地区パルモディアWeb Conference	2024.10.17
9	脂質異常症治療の最近の話題	山下静也	2024年度第6回泉南薬剤師会学術講演会	2024.10.26
10	トリグリセリド管理の重要性とSPPARM α (XR錠)への期待	山下静也	川崎循環器カンファレンス	2024.11.1
11	感染による増悪を繰り返した 重症心不全の一例	正木豪	泉州心不全多職種地域連携プロジェクト	2024.11.9
12	心血管イベントリスクを考慮した中性脂肪の管理 ①スタチンの残存リスクとしての中性脂肪	山下静也	日経メディカル Eディテールコンテンツ	https://medical.nikkeibp.co.jp/reach/edetail/movie?pcd=eprm041
13	心血管イベントリスクを考慮した中性脂肪の管理 ②SPPARM α への期待	山下静也	日経メディカル Eディテールコンテンツ	https://medical.nikkeibp.co.jp/reach/edetail/movie?pcd=eprm042
14	トリグリセリド管理の重要性とSPPARM α (XR錠)への期待	山下静也	パルモディアWeb Conference in 山口	2024.11.19
15	ACSと実臨床におけるFH診療の課題	増田大作	ACSにおけるFH治療Up to Date	2024.11.20
16	トリグリセリド管理の重要性とSPPARM α (XR錠)への期待	山下静也	パルモディアXR錠発売1周年記念講演会 in 和歌山	2024.11.28
17	家族性高コレステロール血症(FH)妊娠患者へのスタチンの使用	斯波真理子, 山下静也, 他	家族性高コレステロール血症(FH)妊娠患者へのスタチンの使用に関する検討会議	2025.1.17
18	動脈硬化予防の観点から見た脂質異常症治療の最新知見	山下静也	堺市医師会女医会 学術講演会	2025.2.1
19	肥満＝メタボリックシンドローム？ 体重を落とすことだけが目標じゃない	増田大作	鳳工業株式会社講演会	2025.2.4
20	トリグリセリド管理の重要性とSPPARM α (XR錠)への期待	山下静也	パルモディアXR錠0.2mg/0.4mg発売1周年記念講演会 in 奈良	2025.3.13
21	働く人世代の動脈硬化予防 高齢化しても健康快適に過ごすために	増田大作	日本予防医学協会セミナー	2025.3.21

(6) 学術講演・講義

整理 番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	Closing Remarks	山下静也	ACS/CCSのリスク管理を考える会	2024.6.1
2	ディスカッション 地域でみつける・みまもる・管理するACS一次・二次予防	山下静也	ACS/CCSのリスク管理を考える会	2024.6.1
3	脂質異常を見た際の適切な診断と治療	増田大作	ファルメディコ社内勉強会(web)	2024.6.22
4	Atherosclerotic Cardiovascular Disease in Japan, Epidemiology, Prevention and Treatment	Daisaku Masuda	フィリピン人医師団へのレクチャー(りんくう)	2024.6.26
5	閉会挨拶	山下静也	Atherosclerosis/Thrombosis and Biolipid Update Seminar (ABUS) 2024	2024.8.3
6	社会・家族機能と生活基盤の変化	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.9.6
7	社会の中の集団・社会保障制度と社会保険制度の基本	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.9.6
8	閉会の辞	山下静也	第30回中之島循環器・代謝フォーラム	2024.9.14
9	社会保険制度の基本2・社会福祉の基本	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.1

整理 番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
10	社会福祉の基本(児童福祉・高齢者福祉)・健康と公衆衛生	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.1
11	健康指標と感染症・生活環境	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.7
12	保健活動の基礎と制度	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.7
13	生活者の健康増進・健康を支える職種等に関する法や施策	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.17
14	開会の辞	山下静也	第15回ヘスベリジン研究会学術集会	2024.10.29
15	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2024.11.5
16	閉会の挨拶	山下静也	泉州心不全多職種地域連携プロジェクト	2024.11.9
17	面接技術(ロールプレイング)	増田大作	日本動脈硬化学会主催循環器病予防療養指導士単位認定セミナー	2024.11.9
18	健康診断を受けっぱなしにしない！心臓病・脳卒中に関わる病気の評価と予防	増田大作	大阪府診療放射線技師会第34回学術大会府民公開講座(大阪)	2024.11.10
19	脂質異常は本当に生活習慣のせいなの！？～保健指導・リスク管理のために必要なことは～	増田大作	関西産研産業保健看護職セミナー(web)	2024.11.28
20	脂質異常症(高脂血症)をいわれたら～ガイドライン作成者が語る理想と現実～	増田大作	第12回医療講演会(関西愛光医歯会)(大阪)	2024.12.7
21	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2024.12.14
22	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2025.2.4
23	日本人なら高血圧とうまくつきあおう	増田大作	忠岡町講演会	2025.2.16
24	特定健康診断・特定保健指導における高トリグリセライド血症の考え方と介入	増田大作	令和6年度特定健康診査・特定保健指導研修会及び講演会(堺)	2025.2.20
25	脂質異常症-生活習慣病療養計画書の記載に関連して-	増田大作	地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会(web)	2025.2.28以降

(7) 院内研究活動

整理 番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	7山病棟 ACLS研修・勉強会	阿部誠	病棟看護師へのACLS講師	2024.5.8, 2024.7.29 2024.8.23, 2024.9.19
2	糖尿病と動脈硬化～あなたの血管を守ろう～	山下静也	第8回世界糖尿病デー りんくう健康フェスタ	2024.11.16

(8) 座長

整理 番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	特別講演 演者: 辻田賢一 ACS後の積極的脂質低下療法の意義	山下静也	ACS/CCSのリスク管理を考える会	2024.6.1
2	一般演題「大阪泉州における地域連携を活かした家族性高コレステロール血症の発見」 演者: 迫恒志(りんくう総合医療センター循環器内科)	習田龍	ACS/CCSのリスク管理を考える会	2024.6.1
3	一般演題(ポスター1) P9: 脂質・リポ蛋白 2	増田大作	第 56 回日本動脈硬化学会総会・学術集会(神戸国際会議場)	2024.7.6
4	会長講演 演者: 平田健一 動脈硬化の成因解明と克服への挑戦	山下静也	第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2024.7.7
5	Invited Lecture 3 Speaker: Albert Wiegman How genetic variants in children with familial hypercholesterolemia not only guide detection, but also treatment	山下静也	第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2024.7.7
6	APSAVD-IAS-JAS Joint Symposium Cardiovascular risk management in patients with diabetes (English) <u>Speaker 1</u> : Nuntakorn Thongtang Diabetic dyslipidemia and precision medicine in diabetes <u>Speaker 2</u> : Peng Daoquan Disease burden and management strategies of type 2 diabetes mellitus with HTG in China <u>Speaker 3</u> : Yusaku Mori Comparison of pemafibrate add-on and statin-doubling therapy on small dense LDL-cholesterol levels in statin-treated patients with type 2 diabetes and hypertriglyceridemia <u>Speaker 4</u> : Brendan M. Everett Effect of pemafibrate on diabetic foot ulceration and gangrene: an exploratory analysis from PROMINENT	Shizuya Yamashita, et al.	第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2024.7.7

整理 番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
7	脂質異常症診療ガイド2023を読み解く	増田大作	メディカルスタッフ・若手育成部会 若手 医師向け企画、第56回日本動脈硬化 学会総会・学術集会(神戸)	2024.7.7
8	特別講演 演者:多田隼人 FH診断治療2024～早期の診 断治療/個別化医療を目指して～	山下静也	第8回難治性FH Web Seminar～難治性 FH症例におけるLDL-C管理と治療の 実際～	2024.7.20
9	演者1:正木 豪 当院での肺高血圧診療の現状と最近の 肺高血圧症の話題 演者2:瀬尾昌裕 漢方でサポートす る循環器診療～心不全の食欲不振に対する六君子湯を中 心に～	山下静也	りんくう循環器漢方セミナー	2024.7.20
10	Session①「心不全診療におけるSGLT2阻害剤への期待」 演者:関庚徳(兵庫医科大学病院循環器・腎透析内科学 講師)	習田龍	HF Management Seminar	2024.8.22
11	特別講演 演者:西野雅巳 ガイドラインを踏まえた心房細 動治療とSHD治療の現状	山下静也	Rinku Cardiovascular Academy (RCA)	2024.9.12
12	一般口演14 EVT⑤:合併症	習田龍	CVIT近畿地方会	2024.10.19
13	FHの心血管疾患二次予防について	増田大作	FH Awareness Day(大阪)	2024.10.19
14	「脂質管理に原稿と課題について」	習田龍,迫恒志	LEQVIO発売1周年記念WEB ～improving Lipid Management Quality ～	2024.10.31
15	連携で進める「未病」への気づき	増田大作	第31回日本未病学会学術総会(金沢)	2024.11.2
16	ショートレクチャー1 演者:岩田 洋 循環器内科の立場か ら ショートレクチャー2 演者:野本博司 糖尿病内科の立 場から ショートレクチャー3 演者:消化器内科の立場から ディスカッション 高中性脂肪血症治療の軌跡と展望	山下静也	パルモディアWebカンファレンス 高中 性脂肪血症治療の軌跡と展望	2024.11.8
17	閉会の辞	習田龍	泉州Cardiology Conference かかりつけ医のための降圧管理を考え る	2024.11.14
18	講演II 演者:斯波真理子 家族性高コレステロール血症 のUp to Date～Find FH, Save a Life～	山下静也	ACSにおけるFH診療Up to Date～身近 になったFH遺伝子検査の現状とこれか ら～	2024.11.20
19	「AIが拓く医療の新時代-HFpEFへの新たなアプローチ-」 演者:外海洋平(大阪大学循環器内科学助教)	習田龍	心不全Network Meeting in 泉州	2024.11.27
20	肺	正木豪,他	第138回日本循環器学会近畿地方会	2024.12.7
21	一般口演07「内分泌代謝」	増田大作	日本総合健診医学会第53回大会(千 葉)	2025.1.31
22	PCI Video Live Operator:河合 努(大阪急性期・総合医療センター 心臓 内科)	習田龍	Integrated Imaging Center LIVE 2025	2025.2.8
23	特別講演セッション 演者:多田隼人 b)併用療法時代の 家族性高コレステロール血症治療について	山下静也	第9回難治性FH Web Seminar～難治性 FH症例におけるLDL-C管理と治療の 実際～	2025.2.15

研究業績：診療局 消化器外科

(1) 英文原著、総説、著書

整理 番号	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Minimally invasive liver resection for cholangiolocellular carcinoma: A single-institution experience	Y Kihara, <u>Y Ohmura</u> , et al.	Asian Journal of Endoscopic Surgery	17(1):e13272, 2024 Jan
2	Clinical Study Group of Osaka University, Hepato-Biliary-Pancreatic Group. Influence of Percutaneous Transhepatic Gallbladder Aspiration and Drainage for Severe Acute Cholecystitis on the Surgical Outcomes of Subsequent Laparoscopic Cholecystectomy: Post Hoc Analysis of the CSGO-HBP-017 (CSGO-HBP-017C).	K Toya, <u>M Tanemura</u> , <u>M Kashiwazaki</u> , et al.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech.	34(1):62-68, 2024 Feb
3	Clinical impact of high-quality testing for peritoneal lavage cytology in pancreatic cancer.	M Tanemura, et al.	Sci Rep.	14(1):10199, 2024 May
4	Removal of gemcitabine-induced senescent cancer cells by targeting glutaminase1 improves the therapeutic effect in pancreatic ductal adenocarcinoma.	Oyama K, <u>M Tanemura</u> , et al.	Int J Cancer.	154(5):912-925, 2024 May

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
5	Randomized, controlled, multi-center phase II study of postoperative enoxaparin treatment for venous thromboembolism prophylaxis in patients undergoing surgery for hepatobiliary-pancreatic malignancies	G Shinke, <u>Y Ohmura</u> , <u>M Tanemura</u> , et al.	Annals of Gastroenterological Surgery	8(5):868-876, 2024 Mar
6	Safety and feasibility of minimally invasive distal pancreatectomy for pancreatic cancer in elderly patients: A retrospective study	S Aoyama, <u>Y Ohmura</u> , et al.	Asian Journal Endoscopic Surgery	17(3):e13331, 2024 Jul
7	Robotic purse-string suture technique for intracorporeal anastomosis using double-stapling technique in robotic resection of rectal and sigmoid colon cancer: a propensity score-matched analysis	M Hiraki, <u>Y Ohmura</u> , et al.	BMC Surgery	24(1):249, 2024 Sep

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Ascending Colon Cancer with Radical Resection after Stent Reimplantation Due to Colonic Stent Obstruction for Palliation-A Case Report.	K Hanaoka, <u>Y Ichikawa</u> , <u>M Miyake</u> , T Sakurai, T Inoue, K Matsumoto, <u>H Furukawa</u> , <u>S Higashi</u> , <u>H Morishima</u> , <u>M Kashiwazaki</u> , <u>M Tanemura</u>	Gan To Kagaku Ryoho.	51(2):208-210, 2024 2
2	ロボット支援下膝頭十二指腸切除術後にロボット支援下脾温存脾尾部切除術を施行し得た1例(原著論文)	大村仁昭,他	癌と化学療法	51(3):323-325, 2024 3
3	下大静脈浸潤を伴う後腹膜平滑筋肉腫に対して下大静脈左腎静脈合併切除再建を施行した1例	大村仁昭, 柏崎正樹, 種村匡弘, 他	癌と化学療法	51(13):1592-1594, 2024 12

(3) 国際学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	The short-term outcome of robotic and laparoscopic liver resection. A single institutional experience	Y Ohmura, et al.	Wakayama Medical University International Symposium for Treatment of Pancreatic Cancer	Free oral presentation 1	2024.3.14-15
2	Laposcopic liver resection for hepatocellular carcinoma: short term outcomes	Y Ohmura, et al.	AHPBA 2024 Annual Meetings	Mini Oral	2024.4.4-7
3	Laparoscopic liver resection for liver metastasis of colorectal cancer	M Muneta, <u>Y Ohmura</u> , et al.	AHPBA		2024.4.4-8
4	Clinical impact of high-quality liquid biopsy for peritoneal lavage cytology in resectable pancreatic cancer	M Tanemura, et al.	AACR ANNUAL MEETING 2024	Poster	2024.4.5-10
5	Robotic purse-string sutire technique to conduct intracorporeal anastomosis for distal totally robotic resection of rectal and sigmoid cancer	M Hiraki, <u>Y Ohmura</u> , et al.	SAGES		2024.4.17-20
6	Examination of Clinicopathological Characteristics of Early-onset Colorectal Cancer (EOCRC) Cases	K Yanagisawa, <u>Y Ohmura</u> , et al.	ASCRS ANNUAL SCIENTIFIC MEETING		2024.6.1-4
7	eP595 - Surgical Outcomes After Transanal Decompression for Left sided Obstructive Colorectal Cancer	K Miyazaki, <u>Y Ohmura</u> , et al.	ASCRS ANNUAL SCIENTIFIC MEETING		2024.6.1-4
8	CRAFT, optimal reconstruction method for proximal gastrectomy	T Masuzawa, <u>Y Ohmura</u> , et al.	EAES		2024.7.11-15
9	Utility of Intracorporeal Triangular Anastomotic Technique in Laparoscopic Distal Gastrectomy Cases	J Fujii, <u>Y Ohmura</u> , et al.	EAES		2024.7.11-15

(4) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	胃癌術後の体重・体組成変化についての検討	古川陽菜, 林美幸, 西井拓人, 若林里絵, 北庄司敦久, 中川貴弘, 問屋壮美, 石井陽祐, 市川善章, 内原真理, 廣瀬芽衣, 宇野妙子	第39回日本臨床栄養代謝学会	口演	2024.2.15-16
2	Trastuzumab Deruxtecan療法が有効であった再発食道胃接合部胃癌の1例	東重慶, 古川陽菜, 柳尚吾, 大賀瑤子, 丸川大輝, 市川善章, 三宅正和, 森島宏隆, 柏崎正樹, 種村匡弘	第96回日本胃癌学会総会	口演	2024.2.28-3.1

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
3	リンパ節腫大を伴った胃神経鞘腫の1例	古川陽菜,東重慶,柳尚吾,大賀瑤子,丸川大輝,市川善章,三宅正和,森島宏隆,柏崎正樹,種村匡弘	第96回日本胃癌学会総会	口演	2024.2.28-3.1
4	The short-term outcome of robotic and laparoscopic liver resection. A single institutional experience	Y Ohmura, et al.	Wakayama Medical University International Symposium for Treatment of Pancreatic Cancer	Free oral presentation	2024.3.14-15
5	感染性心内膜炎による感染性梗塞から脾膿瘍となった症例に対して脾臓摘出術を施行した2例	東重慶,古川陽菜,柳尚吾,大賀瑤子,丸川大輝,市川善章,三宅正和,柏崎正樹,種村匡弘	第60回日本腹部救急医学会総会	口演	2024.3.21-22
6	茎捻転をきたし破裂した胃GISTの1例	柳尚吾,古川陽菜,東重慶,大賀瑤子,丸川大輝,市川善章,三宅正和,森島宏隆,柏崎正樹,種村匡弘	第60回日本腹部救急医学会総会	口演	2024.3.21-22
7	Cell viabilityを加味した高精度腹腔洗浄細胞診からみた膵癌外科的治療の可能性	種村匡弘,柏崎正樹,他	第124回日本外科学会定期学術集会	サージカルフォーラム	2024.4.18-20
8	腹腔鏡下肝切除術におけるリカバリーショット	大村仁昭,他	第124回日本外科学会定期学術集会 ([PS-151]ポスターセッション (151)肝臓-合併症-2PS-151-6)	ポスターセッション	2024.4.18-20
9	当院における緊急手術に至った鼠径部ヘルニア嵌頓症例の治療成績	東重慶,古川陽菜,柳尚吾,大賀瑤子,市川善章,三宅正和,森島宏隆,柏崎正樹,種村匡弘,他	第124回日本外科学会定期学術集会	ポスター	2024.4.18-20
10	当院におけるCY1胃癌切除症例の治療成績	古川陽菜,東重慶,柳尚吾,大賀瑤子,市川善章,三宅正和,森島宏隆,柏崎正樹,種村匡弘,他	第124回日本外科学会定期学術集会	ポスター	2024.4.18-20
11	大腸癌におけるCCSの発現意義とそのメカニズムの解明	瀧口暢生,他	第124回日本外科学会定期学術集会	ポスター	2024.4.18-20
12	膀胱浸潤を伴うS状結腸癌に対して術前化学療法を行い,膀胱温存が可能であった一例	飯田翔子,市川善章,三宅正和,柳尚吾,大賀瑤子,古川陽菜,東重慶,森島宏隆,柏崎正樹,種村匡弘,他	第124回日本外科学会定期学術集会	ポスター (研修医セッション)	2024.4.18-20
13	下大静脈浸潤を伴う後腹膜平滑筋肉腫に下大静脈左腎静脈合併切除再建を施行した一例	大村仁昭,他	第46回日本癌局所療法研究会 (ポスター「胃・食道3」DP-81)	ポスター	2024.6.21
14	術前化学療法にて病理的完全奏功を得たが,術後4年に腋窩リンパ節再発した胃癌の1例	東重慶,古川陽菜,柳尚吾,大賀瑤子,瀧口暢生,市川善章,大村仁昭,三宅正和,柏崎正樹,種村匡弘	第46回日本癌局所療法研究会	一般演題	2024.6.21
15	Clinical impact of high-quality liquid biopsy for peritoneal lavage cytology in pancreatic cancer	種村匡弘,他	第36回日本肝胆膵外科学会学術集会	ワークショップ	2024.6.28-29
16	Laparoscopic repeat liver resection for recurrence of hepatocellular carcinoma	Y Ohmura, et al.	第36回日本肝胆膵外科学会学術集会 (Oral 5 Liver cancer 205-6)	Oral	2024.6.28-29
17	骨髄線維症が併存した食道癌に対して,放射線化学療法,内視鏡的治療を行った一例	東重慶,古川陽菜,柳尚吾,大賀瑤子,市川善章,三宅正和,柏崎正樹,種村匡弘,他	第78回日本食道学会学術集会	ポスター	2024.7.4-5
18	食道癌術後の胸腔内胃管脱出による通過障害に対して,胃管経路変更手術を施行した1例	古川陽菜,東重慶,柳尚吾,大賀瑤子,市川善章,三宅正和,柏崎正樹,種村匡弘,他	第78回日本食道学会学術集会	ポスター	2024.7.4-5

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
19	膵癌診療における細胞活性を加味した高精度腹腔内洗浄細胞診の開発	種村匡弘, 柏崎正樹, 他	第79回日本消化器外科学会総会	一般演題	2024.7.17-19
20	当院での脾わん曲結腸癌に対する手術アプローチと工夫	三宅正和, 柳尚吾, 大賀瑤子, 市川善章, 東重慶, 古川陽菜, 柏崎正樹, 種村匡弘, 他	第79回日本消化器外科学会総会	一般演題	2024.7.17-19
21	当院におけるHER2陽性切除不能進行・再発胃癌に対するTrastuzumabDeruxtecane療法の経験	東重慶, 古川陽菜, 柳尚吾, 大賀瑤子, 市川善章, 三宅正和, 柏崎正樹, 種村匡弘, 他	第79回日本消化器外科学会総会	一般演題	2024.7.17-19
22	当院における肝障害度B肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術の検討	大村仁昭, 他	第79回日本消化器外科学会総会 ([WS8]ワークショップ8 【肝胆膵】腹腔鏡下・ロボット支援下肝切除時代の肝機能から見た術式選択を再考する)	ワークショップ	2024.7.17-19
23	当院における高齢者胃癌に対する術後補助化学療法の治療成績	古川陽菜, 東重慶, 柳尚吾, 大賀瑤子, 市川善章, 三宅正和, 柏崎正樹, 種村匡弘, 他	第79回日本消化器外科学会総会	一般演題	2024.7.17-19
24	Investigation of dysuria after sacrectomy for locally recurrent rectal cancer.	瀧口暢生, 他	第79回日本消化器外科学会総会	ミニオーラル	2024.7.17-19
25	痔瘻癌と鑑別が困難であった脱分化型脂肪肉腫の1例	柳尚吾, 三宅正和, 種村匡弘	第79回日本消化器外科学会総会	専攻医セッション	2024.7.17-19
26	Nivolumab投与後に重症筋無力症を発症した切除不能進行胃癌の一例	大賀瑤子, 古川陽菜, 種村匡弘	第79回日本消化器外科学会総会	専攻医セッション	2024.7.17-19
27	胆嚢癌に対する腹腔鏡下手術の術式適応と治療成績	大村仁昭, 他	第60回日本胆道学会学術集会 (ワークショップ1「胆嚢病変の診断と至適術式の再考」WS1-9)	ワークショップ	2024.10.10-11
28	膵癌診療における癌細胞活性を加味した高精度腹腔内洗浄細胞診の開発	種村匡弘, 柏崎正樹, 他	第62回日本癌治療学会学術集会	シンポジウム	2024.10.24-26
29	鏡視下肝切除におけるシミュレーションとICG蛍光法による術中イメージングの有用性	大村仁昭, 他	第62回日本癌治療学会学術集会 (領域横断シンポジウム4ナビゲーション手術の最先端—診療分野別のknack & pitfallの共有とさらなるprecision surgeryを目指してCCSY4-5)	シンポジウム	2024.10.24-26
30	再発肝細胞癌に対する腹腔鏡下再肝切除術	大村仁昭, 他	JDDW2024(外科) (デジタルポスターセッション外040(消化器外科学会)肝臓(内視鏡下手術(悪性))外P-205)	デジタルポスター	2024.10.31 -11.3
31	癌細胞生物活性を加味した高精度腹腔洗浄細胞診からみた膵癌外科治療の治療選択	種村匡弘, 大村仁昭, 柏崎正樹, 他	第86回日本臨床外科学会学術集会	ワークショップ	2024.11.21-23
32	腹腔鏡下肝切除:技術認定を目指して	大村仁昭, 柏崎正樹, 種村匡弘, 他	第86回日本臨床外科学会学術集会 (デジタルポスター会場6肝臓1P31-5)	デジタルポスター	2024.11.21-23
33	治癒切除が可能であった膵腺房細胞癌の1例	天野将明, 大村仁昭, 柏崎正樹, 田邊大二朗, 柳尚吾, 大賀瑤子, 瀧口暢生, 市川善章, 東重慶, 古川陽菜, 今北正美, 種村匡弘	第86回日本臨床外科学会学術集会	研修医セッション	2024.11.21-23
34	遅発性に発症した外傷性横隔膜ヘルニアの一例	田邊大二朗, 大村仁昭, 柏崎正樹, 柳尚吾, 大賀瑤子, 瀧口暢生, 市川善章, 古川陽菜, 東重慶, 三宅正和, 種村匡弘	第86回日本臨床外科学会学術集会	研修医セッション	2024.11.21-23

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
35	切除後病理組織検査にて指摘された refluxassociated cholecystopathyから膵・胆管合流異常を発見し得た1例	柳尚吾, 柏崎正樹, 大村仁昭, 大賀瑤子, 瀧口暢生, 市川善章, 古川陽菜, 東重慶, 三宅正和, 種村匡弘, 他	第86回日本臨床外科学会学術集会	口演	2024.11.21-23
36	当院における他臓器浸潤を伴う局所進行結腸癌に対する術前補助化学療法の治療成績	三宅正和, 瀧口暢生, 市川善章, 東重慶, 古川陽菜, 大村仁昭, 柏崎正樹, 柳尚吾, 大賀瑤子, 種村匡弘	第79回日本大腸肛門病学会学術集会	一般演題	2024.11.29-30
37	直腸癌局所再発術前(仙骨合併切除)における集学的治療成績	瀧口暢生, 他	第79回日本大腸肛門病学会学術集会	ポスター	2024.11.29-30
38	S状結腸膀胱瘻に対する鏡視下手術の手技とその成績	三宅正和, 瀧口暢生, 市川善章, 大賀瑤子, 柳尚吾, 東重慶, 古川陽菜, 大村仁昭, 柏崎正樹, 種村匡弘	第37回日本内視鏡外科学会総会	一般演題	2024.12.5-7
39	大腸癌肝転移に対する腹腔鏡下肝切除術	大村仁昭, 柏崎正樹, 種村匡弘, 他	第37回日本内視鏡外科学会総会 (ミニオーラル123 肝臓治療成績1MO123-2)	オーラル	2024.12.5-7
40	胃上部管内発育型GISTに対する単孔式胃内手術の検討	東重慶, 古川陽菜, 柳尚吾, 大賀瑤子, 瀧口暢生, 市川善章, 大村仁昭, 三宅正和, 柏崎正樹, 種村匡弘	第37回日本内視鏡外科学会総会	一般演題	2024.12.5-7
41	噴門側胃切除術後の難治性吻合部潰瘍に対して腹腔鏡下幽門側胃切除が奏功した1例	古川陽菜, 東重慶, 柳尚吾, 大賀瑤子, 瀧口暢生, 市川善章, 大村仁昭, 三宅正和, 柏崎正樹, 種村匡弘	第37回日本内視鏡外科学会総会	一般演題	2024.12.5-7
42	当院における急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢全摘術の手術成績	柳尚吾, 柏崎正樹, 大村仁昭, 大賀瑤子, 瀧口暢生, 市川善章, 古川陽菜, 東重慶, 三宅正和, 種村匡弘	第37回日本内視鏡外科学会総会	ミニオーラル	2024.12.5-7
43	腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)における learningcurveの検討	大賀瑤子, 古川陽菜, 柳尚吾, 瀧口暢生, 市川善章, 東重慶, 大村仁昭, 三宅正和, 柏崎正樹, 種村匡弘	第37回日本内視鏡外科学会総会	ミニオーラル	2024.12.5-7

(5) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	「看護にいかす疾病論Ⅰ(急性期)」上部消化管	東重慶	関西医療大学 講義	2024.5.29
2	「看護にいかす疾病論Ⅰ(急性期)」下部消化管	市川善章	関西医療大学 講義	2024.6.12
3	「看護にいかす疾病論Ⅰ(急性期)」肝胆膵	柏崎正樹	関西医療大学 講義	2024.6.19
4	当科における 2023 年度の診療実績報告 地域からの紹介患者さんがゲノム医療を実践できているのか？	土井貴司	南大阪がん治療フォーラム 2024	2024.7.27
5	胃癌・食道癌の最新治療	古川陽菜	南部大阪医療振興会(旧南大阪の医療を考える会)	2024.12.8
6	大腸癌外科治療の最前線	三宅正和	南部大阪医療振興会(旧南大阪の医療を考える会)	2024.12.8

(6) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	大腸癌の化学療法について	市川善章	令和6年11月度クリニカルレベルアップセミナー(第236回臨床集談会)	2024.11.28

(7) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	Mini-Oral 57 Pancreas 24	種村匡弘	第36回日本肝胆膵外科学会学術集会	2024.6.28-29
2	一般演題235 胆道:悪性 3	種村匡弘	第79回日本消化器外科学会総会	2024.7.17-19
3	ここまで進んだゲノム医療	種村匡弘	南大阪がん治療フォーラム2024	2024.7.27
4	研修医セッション26「胃:腫瘍」	古川陽菜	第86回日本臨床外科学会学術集会	2024.11.21-23
5	「薬剤師外来」「大腸癌手術療法」	三宅正和	南大阪がんチームカンファレンス	2025.1.17

研究業績：診療局 乳腺・内分泌外科

(1) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	当院におけるBRCA遺伝学的検査の現状と課題	森島宏隆	第32回日本乳癌学会学術総会	ポスター	2024.7.11-13
2	集学的治療及び多職種連携・病病連携を行い離島での治療継続に繋げることができたステージIV進行乳癌の1例	下村恭子	第32回日本乳癌学会学術総会	ポスター	2024.7.11-13

(2) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	乳癌検診の現状と課題	森島宏隆	Abcカンファレンス・Echo研	2024.11.30

(3) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	乳腺疾患の基礎知識	森島宏隆	関西医療大学講義	2024.7.19
2	乳癌における初期治療一主に薬物療法についてー	森島宏隆	第一三共社内研修	2024.12.17
3	トラスツズマブデルクステカンにてCRが得られた転移再発乳癌の2例	森島宏隆	第238回りんくうカンファレンス	2025.3.27

(4) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	特別講演1	森島宏隆	Breast Cancer Web Seminar	2024.9.12
2	セッション2	森島宏隆	South Osaka Breast Cancer Web Seminar	2025.3.4

研究業績：診療局 形成外科

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	3D-CT から算出した体積に基づく乳房インプラント破損の評価	南都賢宣,服部亮	Oncoplastic Breast Surgery	9(1):9-15,2024

研究業績：診療局 呼吸器外科

(1) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	漏斗胸術後に両側同時性気胸を発症した1手術例	高橋朋宏,土井貴司	第86回日本臨床外科学会学術集会	口演	2024.11.22
2	血小板減少症を有する肺癌症例に対して肺部分切除術を施行した1例	土井貴司,高橋朋宏,伊東良太	第121回日本肺癌学会関西支部学術集会	口演	2025.3.1

(2) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	当科における2023年度診療実績報告～地域からの紹介患者さんにごんゲノム医療を実践できているか?～	土井貴司	南大阪がん治療フォーラム2024	2024.7.27

(3) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	気胸の診断と治療	土井貴司	第238回りんくうカンファレンス	2025.3.27

研究業績：診療局 泌尿器科

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Japanese survey of perioperative complications and ureteral stricture after ureteroscopy with laser lithotripsy for upper urinary tract stones in multicenter collaborative study	T Inoue, A Iba, et al	Int J Urol	31(7):795-801, 2024
2	Pharmacotherapy for patients with calcium oxalate stones and abnormal urine chemistry: A systematic review and meta-analysis for the Japanese Clinical Practice Guidelines for the Management of Urinary Stones, Third Edition	Y Kohjimoto, A Iba, et al	Int J Urol	32(1):16-28, 2025

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Analysis of cases of ECIRS in our hospital	樋口雅俊	第111回日本泌尿器科学会総会	ポスター	2024.4.25
2	当院での進行性腎癌の一次治療におけるIO-IO、IO-TKIの使用経験	樋口雅俊	第54回腎癌研究会	ポスター	2024.7.26
3	TURBT後急速な進行を認めたUC,sarcomatoid subtypeの1例	芝野秀哉	第57回紀の国フォーラム	口演	2024.10.19
4	当院における陰茎癌の臨床的検討	射場昭典	第74回日本泌尿器科中部総会	ポスター	2024.11.21

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
5	当科における陰茎癌の臨床経験	芝野秀哉	第26回WUC	口演	2024.12.21

(3) 研究会・講演会

整理番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	当院における泌尿器がん薬物療法の副作用マネジメント	射場昭典	南大阪泌尿器科学術講演会	2024.7.20
2	前立腺癌に対するロボット支援下手術	射場昭典	懇話会(熊取町)	2024.12.8
3	当院における進行性尿路上皮癌に対する取り組み	芝野秀哉	泌尿器がん診療フォーラムin泉州2025	2025.2.25
4	当院におけるレンパチニブ+ペンブロリズマブの使用経験からの考察	芝野秀哉	腎細胞癌治療up to date in 泉州	2025.3.18

研究業績：診療局 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(1) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	椎前間隙への経鼻胃管誤挿入事例	中原啓	第86回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会	ポスター	2024.6.28
2	書字障害を主訴に受診した小児の検討	中原啓	第19回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	口演	2024.7.11
3	救命し得た破裂仮性内頸動脈瘤の1例	中原啓	第63回日本鼻科学会総会・学術講演会	口演	2024.9.27
4	手術に至らなかった真珠腫性中耳炎の検討	碓田猛真	第34回日本耳科学会総会・学術講演会	口演	2024.10.4
5	書字言語の問題が目立った学習障害児の検討	中原啓	第69回日本音声言語医学会総会・学術講演会	口演	2024.10.17
6	デジタル補聴器の価格帯別聴取能変化	中原啓	第69回日本聴覚医学会総会・学術講演会	口演	2024.10.24
7	小児精神科への紹介に至った神経発達症児の検討	中原啓	第11回日本小児診療多職種学会	口演	2025.3.8

研究業績：診療局 口腔外科

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Ultrasound Combination to Improve the Efficacy of Current Boron Neutron Capture Therapy for Head and Neck Cancer	Yoshiaki Yura, Yusei Fujita, et al.	cancers	5;16(15):2770, 2024
2	Can ChatGPT be used as a scientific source of information on tooth extraction?	Shiori Yamamoto, Ayako Motoki, Yusei Fujita, et al.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol.	in press, 2025

(2) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	舌背部に生じた平滑筋肉腫の1例	藤田祐生, 大前政利, 元木彩子	第43回日本口腫瘍学会総会・学術大会	口演	2025.2.27

(3) 学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	成人看護(歯・口腔)	大前政利	泉佐野泉南医師会看護専門学校講義	2024.6.13
2	超マイナーだけど超重要な口腔外科から耳よりな話	大前政利	第48回T&N・DNオンラインカンファレンス	2024.6.27
3	薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)の今の考え方、治療、歯科医院での対応～ポジションペーパー2023をもとに～	藤田祐生	門真市歯科医師会 学術講演会	2024.11.9
4	開業医で行えそうな小外科疾患の基本知識とその外科的手技～レジデントが行う埋伏智歯の抜歯(ビデオ)～	藤田祐生	大阪府歯科保険医協会 泉州地区講習会	2024.11.16

(4) 院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	歯(虫歯)が原因でおこる上顎洞炎とは？～口腔外科で行う歯性上顎洞炎の治療を、その病態から考えてみる～	藤田祐生	りんくうカンファレンス	2024.9.19
2	舌癌術後の摂食嚥下障害と構音障害	竹村萌	7階海側病棟勉強会	2024.12.20
3	口腔ケアから始める健康づくり	奥芳江, 南口亜矢, 八木亜由子, 佐野加緒里, 石井陽祐	多職種カンファレンス	2025.3.13

研究業績：診療局 麻酔科

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	結核性脊椎炎による脊椎変形が基礎にありスポーツ外傷を契機として脳脊髄液漏出が生じた一症例	林文昭, 他	日本ペインクリニック学会誌 優秀論文賞	30(4):88-92, 2023 授与式2024.7.19
2	脊髄刺激療法を使用しながら周産期を経た一症例	米本紀子, 神移佳, 小林俊司, 林文昭, 林大貴	日本ペインクリニック学会誌	31(12):245-249, 2024

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
3	結節性多発動脈炎の神経障害性疼痛に対して脊髄刺激療法が有効であった一症例	林文昭,米本紀子,林大貴,神移佳,小林俊司	日本ペインクリニック学会誌	32(1):15-18,2025

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	気道緊急に対して外科的気道確保を要した43症例の検討	鈴木努,神移佳,小林俊司,	第71回日本麻酔科学会学術集会	ポスター	2024.6.6-8
2	気管挿管時のCormack-Lehane分類と外的喉頭操作に対する年齢の影響	西村俊輝,他	第71回日本麻酔科学会学術集会	ポスター	2024.6.6-8
3	結節性多発動脈炎の神経障害性疼痛に対して脊髄刺激療法が有効であった一症例	林文昭,米本紀子,林大貴,神移佳,小林俊司	日本ペインクリニック学会第58回学術集会	ポスター	2024.7.18-20
4	脊髄刺激療法を使用しながら周産期を経た一症例	米本紀子,神移佳,小林俊司,林文昭,林大貴	日本ペインクリニック学会第58回学術集会	ポスター	2024.7.18-20
5	よくある染色体異常・症候群と麻酔	西村俊輝	日本小児麻酔学会第29回学術集会	ポスター	2024.8.31-9.1
6	癒着胎盤用手剥離術後の産科危機的出血に対しフィブリノゲン製剤が奏功した1症例	鈴木努,神移佳,小林俊司	日本麻酔科学会東海・北陸支部第22回学術集会	ポスター	2024.9.7
7	高度な気管支痙攣によって分離肺換気が困難となった1症例	鈴木努,神移佳,小林俊司,他	日本麻酔科学会中国・四国支部第61回学術集会	ポスター	2024.9.14
8	開心術後心原性ショックのハイリスク患者において、人工心肺離脱前にpreemptiveにImpellaを挿入した5症例	鈴木努,久保直子,林文昭,熊野景太,水田大介	日本心臓血管麻酔学会第29回学術大会	ポスター	2024.9.20-22
9	産科領域での乾燥人フィブリノゲンの使用16症例の検討	神移佳,久保直子,他	第52回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2025.3.14-16

(3) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	看護にいかす疾病論 I	小林俊司	関西医療大学	2024.5.7

(4) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	りんくうペインクリニックでの痛みの治療戦略	米本紀子	第233回 りんくうカンファレンス	2024.5.16

研究業績：診療局 健康管理センター

(1) 英文原著・総説・著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	JCS 2023 Guideline on the Primary Prevention of Coronary Artery Disease.	A Fujiyoshi, <u>D Masuda</u> , et al.; Japanese Circulation Society Joint Working Group.	Circ J.	88(5):763-842. PMID: 38479862, 2024 Apr 25
2	Japan Atherosclerosis Society (JAS) Guidelines for Prevention of Atherosclerotic Cardiovascular Diseases 2022.	T Okamura, <u>D Masuda</u> , et al.	J Atheroscler Thromb.	31(6):641-853. PMID: 38123343, 2024 Jun 1
3	β -blockers may be detrimental in frail patients with heart failure with preserved ejection fraction.	S Hikoso, <u>D Masuda</u> , <u>S Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators.	Clin Res Cardiol.	113(6):842-855. PMID: 38019285, 2024 Jun
4	Relationship of interleukin-16 with different phenogroups in acute heart failure with preserved ejection fraction.	S Tamaki, <u>Y Nagai</u> , <u>R Shutta</u> , <u>D Masuda</u> , <u>N Makino</u> , <u>S Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators.	ESC Heart Fail.	11(4):2354-2365. PMID: 38686566, 2024 Aug
5	Association of BMI, lipid-lowering medication, and age with prevalence of type 2 diabetes in adults with heterozygous familial hypercholesterolaemia: a worldwide cross-sectional study.	European Atherosclerosis Society Familial Hypercholesterolaemia Studies Collaboration (EAS FHSC). (<u>D Masuda</u> , <u>S Yamashita</u>)	Lancet Diabetes Endocrinol.	12(11):811-823. PMID: 39374602, 2024 Nov
6	Post-discharge changes in nutritional status predict prognosis in patients with acute decompensated HFpEF from the PURSUIT-HFpEF Registry.	T Kitao, <u>D Masuda</u> , <u>S Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators.	Heart Vessels.	Online ahead of print. PMID: 39656282, 2024 Dec 10
7	Plozasiran for Managing Persistent Chylomicronemia and Pancreatitis Risk.	Watts GF, <u>D Masuda</u> , et al.; PALISADE Study Group.	N Engl J Med.	392(2):127-137. PMID: 39225259, 2025 Jan 9
8	Role and prognostic value of growth differentiation factor 15 in patient of heart failure with preserved ejection fraction: insights from the PURSUIT-HFpEF registry.	D Sakamoto, <u>D Masuda</u> , <u>S Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators.	Open Heart.	12(1):e003008. PMID: 39832941, 2025 Jan 19

整理 番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
9	Proteomic Analysis of Human Chylomicron Remnants Isolated by Apolipoprotein B-48 Immunoprecipitation.	D Masuda, S Yamashita, et al.	J Atheroscler Thromb.	32(2):226-238. PMID: 39085140, 2025 Feb 1
10	Temporal Effects of Plazasiran on Lipids and Lipoproteins in Persistent Chylomicronemia.	Watts GF, D Masuda, et al.; PALISADE Study Group.	Circulation.	151(10):733-736.PMID: 39549263, 2025 Mar 11

(2) 和文原著、総説、著書

整理 番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	日本の医療機関における外国人診療	南谷かおり	国際化と看護	118-122, 2024
2	外国人を診る日本の医療機関	南谷かおり	国際化と看護	123-126, 2024
3	医療通訳とは	南谷かおり	国際化と看護	127-130, 2024
4	経験者の言葉	南谷かおり	医療通訳者の仕事	111-112, 2024
5	non-HDLコレステロール (non-HDL-C), トリグリセリド (TG), HDL-Cを鑑みた動脈硬化性疾患の予防戦略—脂質異常症治療薬の使い分け	増田大作	medicina	61(8), 2024.7
6	脂質異常 (高コレステロール・高中性脂肪) を特定健診で見つけて脳心血管疾患を予防しよう！	増田大作	広報いずみさの	2024年11月1日 発行
7	多言語サービスの現状～医療通訳サービス～	南谷かおり	チャイルドヘルス	(925) 21-23, 2024.Dec
8	脂質異常症—高LDL-C血症	増田大作	今日の治療指針	2025.1月
9	日本で最期を迎えた外国人患者	南谷かおり	日本医事新報	5263,3, 2025. March

(3) 国際学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Poster presentation, evaluation of remnant lipoprotein accumulation by measuring non-HDL-cholesterol minus direct LDL cholesterol level (non-HDL-c-dLDL-c) instead of measuring remnant cholesterol levels.	D Masuda, H Hanada, S Yamashita	EAS(European Atherosclerosis Society) 92nd Congress (Lyon, France)	Poster	2024.5.26-29
2	Healthcare System in Japan	Kaori Minamitani	Kyoto University & Sao Paulo University Joint Symposium	Oral	2024.9.13
3	Poster presentation “Screening Type III Hyperlipidemia Using Non-HDL-C, Direct LDL-C and ApolipoproteinB-48/TG”,	D Masuda, H Hanada, S Yamashita	20th International Symposium on Atherosclerosis 2024 (ISA2024), (Muscat, Oman)	Poster	2024.12.3-6

(4) 国内学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	日本人における魚の摂取量と動脈硬化の関係医療関係者こそ魚を食べよう！	増田大作	スイーツセミナー2 第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
2	組織的な医師事務作業補助業務の確立を目指した医師直轄のドクターサポートセンターの設立	増田大作, 三浦薫, 高山昌代	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
3	医師事務作業補助者の業務内容の合理化と時間外労働の撲滅	増田大作, 三浦薫, 高山昌代	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
4	医師事務作業補助業務のマニュアル作成と複数科対応可能の達成	三浦薫, 高山昌代, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
5	COVID-19禍における突然のマンパワー減少に対する医師事務作業補助者の迅速対応	三浦薫, 高山昌代, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
6	ドクターサポートセンターの主体的介入による診断書作成依頼内容の明瞭化とトラブルシューティング	延野夏季, 三浦薫, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
7	パンフレットを活用した家族へのせん妄の周知と教育	松藤香織	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (大阪)	口演	2024.5.11
8	指定講演 りんくう総合医療センターにおける外国人医療の動向	南谷かおり	第42回びわこ国際医療フォーラム	口演	2024.7.6
9	狭心症発作を繰り返す高TG 血症の一例～動脈硬化を始めとする各専門職とともに歩んだ治療経過～	増田大作	メディカルスタッフカンファレンス、第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会 (神戸国際会議場)	口演	2024.7.7
10	大阪大学医療通訳養成コースについて	南谷かおり	第3回日本医療通訳学会学術集会	口演	2024.9.28
11	The Japan Dietの家族性高コレステロール血症 (FH)を含めた脂質異常症に対する有効性の検討	増田大作	第46回日本臨床栄養学会総会連合大会 (東京)	口演	2024.10.5
12	野菜・果物の健康に関する最近のエビデンス	増田大作	日本動脈硬化学会共催企画The Japan Diet、第46回日本臨床栄養学会総会連合大会 (東京)	口演	2024.10.6

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
13	医師事務作業補助部門の組織化と業務内容のマニュアル化による業務の適正化と労働環境の改善	三浦薫,高山昌代, 増田大作	日本医師事務作業補助者協会 第13回全国学術集会(東京)	口演	2024.10.20
14	病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき 医師の立場から	増田大作	「シンポジウム5」病院内の多職種 連携で進める「未病」への気づ き、第31回日本未病学会学術総 会(金沢)	口演	2024.11.3
15	医師事務作業補助者における組織化と効率化に よる、業務適正化とコンプライアンスの向上	三浦薫,高山昌代, 増田大作,他	シンポジウム「再考！タスクシフト と医療安全」第19回医療の質・安 全学会(東京)	口演	2024.11.30
16	多忙極める医師の事務作業の軽減に配置された 医師事務作業補助者の医療安全への寄与はどう あるべきか	三浦薫,高山昌代, 増田大作	第19回医療の質・安全学会学術 集会	口演	2024.11.30
17	Non-HDL-コレステロール値から直接法LDLコレ ステロール値を引いたnon-HDL-C-dLDL-C値に よるレムナントコレステロールの推定	張岩,安澤朋美,増 田勝作,馬場谷美知 子,南谷かおり	日本総合健診医学会第53回大 会(千葉)	口演	2025.1.31
18	動脈硬化性疾患一次予防の専門医から見た食 事摂取と健康診断・リスク評価治療の未来予想図	増田大作	『日本人の食事摂取基準』を健 診・予防医療現場に活かす！！ 日本総合健診医学会第53回大 会(千葉)	口演	2025.1.31
19	動脈硬化性疾患一次予防の専門医から見た食 事摂取と健康診断・リスク評価治療の未来予想図	増田大作	家族性高コレステロール血症を人 間ドック健診で見つける！！日本 総合健診医学会第53回大会(千 葉)	口演	2025.2.1
20	トリグリセライドが高いとき、なにを考え、なにを話 すか？	増田大作	ランチョンセミナー、日本動脈硬 化学会第25回動脈硬化教育フォー ラム(仙台)	口演	2025.2.9
21	【症例:40歳男性】	増田大作	管理栄養士セミナー、日本動脈 硬化学会第25回動脈硬化教育フォー ラム(仙台)	口演	2025.2.9
22	生活習慣病管理における適切な療養指導	増田大作	教育講演6、日本動脈硬化学会 第25回動脈硬化教育フォーラム (仙台)	口演	2025.2.9

(5) 研究会・講演会

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	『地域でみつける・みまもる・管理するACS一次・二次予防』	増田大作	ACS/CCSのリスク管理を考える会	2024.6.1
2	トリグリセライドが高いとき、なにを考え、なにを話す？	増田大作	Kowa Web Conference(web)	2024.6.18
3	トリグリセライドが高いとき、なにを考え、なにを話す？	増田大作	Kowa Web Conference(web)	2024.7.29
4	糖尿病・脂質異常を含めた包括的リスク評価と治療戦略	増田大作	糖尿病治療のRoadmap2024	2024.9.13
5	脂質異常症を見たときは	増田大作	ドクターズブライム(web公開)	2024.10.1
6	ACSと実臨床におけるFH診療の課題	増田大作	ACSにおけるFH治療Up to Date	2024.11.20
7	肥満＝メタボリックシンドローム？体重を落とすことだけが目標じゃない	増田大作	鳳工業株式会社講演会	2025.2.4
8	働く人世代の動脈硬化予防 高齢化しても健康快適にすごすために	増田大作	日本予防医学協会セミナー	2025.3.21

(6) 学術講演・講義

整理 番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	医療通訳者の役割、質の高い医療通訳とは	南谷かおり	順天堂大学大学院 医療通訳概論	2024.4.16
2	脂質異常を見た際の適切な診断と治療	増田大作	ファルメディコ社内勉強会(web)	2024.6.22
3	Atherosclerotic Cardiovascular Disease in Japan, Epidemiology, Prevention and Treatment	Daisaku Masuda	フィリピン人医師団へのレクチャー(りんくう)	2024.6.26
4	医療機関の国際化	南谷かおり	大阪大学全学共通教育「健康・医療の基礎」	2024.7.3
5	放射線科領域の基礎知識	南谷かおり	大阪大学医療通訳養成コース	2024.7.20
6	社会・家族機能と生活基盤の変化	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生 学講義	2024.9.6
7	社会の中の集団・社会保障制度と社会保険制度の基 本	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生 学講義	2024.9.6
8	社会保険制度の基本2・社会福祉の基本	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生 学講義	2024.10.1
9	社会福祉の基本(児童福祉・高齢者福祉)・健康と公 衆衛生	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生 学講義	2024.10.1
10	健康指標と感染症・生活環境	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生 学講義	2024.10.7
11	保健活動の基礎と制度	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生 学講義	2024.10.7

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
12	生活者の健康増進・健康を支える職種等に関する法や施策	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.17
13	りんくう総合医療センター国際診療科の役割	南谷かおり	泉南医師会看護学校	2024.10.23
14	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2024.11.5
15	面接技術(ロールプレイング)	増田大作	日本動脈硬化学会主催循環器病予防療養指導士単位認定セミナー	2024.11.9
16	健康診断を受けっぱなしにしない！心臓病・脳卒中に関わる病気の評価と予防	増田大作	大阪府診療放射線技師会第34回学術大会府民公開講座(大阪)	2024.11.10
17	医療通訳の質向上と外国人患者受入の取組み紹介	南谷かおり	MEJインバウンドセミナー	2024.11.22
18	脂質異常は本当に生活習慣のせいなの！？～保健指導・リスク管理のために必要なことは～	増田大作	関西産研産業保健看護職セミナー(web)	2024.11.28
19	脂質異常症(高脂血症)をいわれたら～ガイドライン作成者が語る理想と現実～	増田大作	第12回医療講演会(関西愛光医歯会)(大阪)	2024.12.7
20	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2024.12.14
21	日本における外国人患者の受入について	南谷かおり	京都外国語大学コミュニティー通訳特論	2024.12.16
22	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2025.2.4
23	日本人なら高血圧とうまくつきあおう	増田大作	忠岡町講演会	2025.2.16
24	院内における外国人対応への取り組み	南谷かおり	外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修	2025.2.18
25	訪日外国人患者	南谷かおり	外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修	2025.2.18
26	特定健康診断・特定保健指導における高トリグリセライド血症の考え方と介入	増田大作	令和6年度 特定健康診査・特定保健指導研修会及び講演会(堺)	2025.2.20
27	脂質異常症-生活習慣病療養計画書の記載に関連して-	増田大作	地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会(web)	2025.2.28以降

(7) 院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	りんくう総合医療センターの概要	南谷かおり	四川省成都市精神病院医師団向け講義	2024.11.1
2	Preparation of Rinku General Medical Center for EXPO2025	南谷かおり	シンガポール大使館職員向け講義	2024.11.22
3	りんくう総合医療センターの紹介	南谷かおり	フィリピン人医師団向け説明	2024.12.4
4	りんくう総合医療センターの紹介	南谷かおり	フィリピン人医師団向け説明	2024.12.9
5	りんくう総合医療センターの概要	南谷かおり	山東省威海市友好交流団体向け講義	2025.2.20

(8) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	一般演題(ポスター1)P9:脂質・リポ蛋白2	増田大作	第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会(神戸国際会議場)	2024.7.6
2	脂質異常症診療ガイド2023 を読み解く	増田大作	メディカルスタッフ・若手育成部会 若手医師向け企画、第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会(神戸)	2024.7.7
3	地域に移住したブラジル人への保健支援	南谷かおり	第28回日本渡航医学会学術集会	2024.7.27
4	FHの心血管疾患二次予防について	増田大作	FH Awareness Day(大阪)	2024.10.19
5	連携で進める「未病」への気づき	増田大作	第31回日本未病学会学術総会(金沢)	2024.11.2
6	大会長	南谷かおり	第9回国際臨床医学会学術集会	2024.11.23
7	一般口演07「内分泌代謝」	増田大作	日本総合健診医学会第53回大会(千葉)	2025.1.31

研究業績：診療局 国際診療科

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	日本の医療機関における外国人診療	南谷かおり	国際化と看護	118-122, 2024
2	外国人を診る日本の医療機関	南谷かおり	国際化と看護	123-126, 2024
3	医療通訳とは	南谷かおり	国際化と看護	127-130, 2024
4	経験者の言葉	南谷かおり	医療通訳者の仕事	111-112, 2024
5	多言語サービスの現状～医療通訳サービス～	南谷かおり	チャイルドヘルス	(925) 21-23, 2024. Dec
6	日本で最期を迎えた外国人患者	南谷かおり	日本医事新報	5263, 3, 2025. March

(2) 国際学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Healthcare System in Japan	Kaori Minamitani	Kyoto University & Sao Paulo University Joint Symposium	Oral	2024.9.13

(3) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	医療通訳者兼コーディネーターによる中国人患者の対応について	林紹成	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
2	外国人患者の未収金を発生させないための取り組み	前田佐和子	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
3	指定講演 りんくう総合医療センターにおける外国人医療の動向	南谷かおり	第42回びわこ国際医療フォーラム	口演	2024.7.6
4	大阪大学医療通訳養成コースについて	南谷かおり	第3回日本医療通訳学会学術集会	口演	2024.9.28
5	国際医療コーディネーターへのキャリアチェンジ	前田佐和子,他	「シンポジウム3」10年後の国際医療を考える 第9回国際臨床医学会学術集会	口演	2024.11.23
6	りんくう総合医療センターにおける国際医療コーディネーターの役割と必要な資質	木村ガーリー,他	「シンポジウム6」国際医療コーディネーターに求められる役割と資質 第9回国際臨床医学会学術集会	口演	2024.11.23

(4) 学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	医療通訳者の役割、質の高い医療通訳とは	南谷かおり	順天堂大学大学院 医療通訳概論	2024.4.16
2	医療機関の国際化	南谷かおり	大阪大学全学共通教育「健康・医療の基礎」	2024.7.3
3	放射線科領域の基礎知識	南谷かおり	大阪大学医療通訳養成コース	2024.7.20
4	りんくう総合医療センター国際診療科の役割	南谷かおり	泉南医師会看護学校	2024.10.23
5	医療通訳の質向上と外国人患者受入の取組み紹介	南谷かおり	MEJインバウンドセミナー	2024.11.22
6	日本における外国人患者の受入について	南谷かおり	京都外国語大学コミュニティ通訳特論	2024.12.16
7	院内における外国人対応への取り組み	南谷かおり	外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修	2025.2.18
8	訪日外国人患者	南谷かおり	外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修	2025.2.18

(5) 院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	りんくう総合医療センターの概要	南谷かおり	四川省成都市精神病院医師団向け講義	2024.11.1
2	Preparation of Rinku General Medical Center for EXPO2025	南谷かおり	シンガポール大使館職員向け講義	2024.11.22
3	りんくう総合医療センターの紹介	南谷かおり	フィリピン人医師団向け説明	2024.12.4
4	りんくう総合医療センターの紹介	南谷かおり	フィリピン人医師団向け説明	2024.12.9
5	りんくう総合医療センターの概要	南谷かおり	山東省威海市友好交流団体向け講義	2025.2.20

(6) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	地域に移住したブラジル人への保健支援	南谷かおり	第28回日本渡航医学会学術集会	2024.7.27
2	大会長	南谷かおり	第9回国際臨床医学会学術集会	2024.11.23

研究業績：臨床研修センター

(1) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	膀胱浸潤を伴うS状結腸癌に対して術前化学療法を行い、膀胱温存が可能であった一例	飯田翔子,市川善章,三宅正和,柳尚吾,大賀瑤子,古川陽菜,東重慶,森島宏隆,柏崎正樹,種村匡弘,他	第124回日本外科学会定期学術集会	口演	2024.4.19
2	精巣原発DLBCLの経過観察中、診断に難渋した結核性腹膜炎の一例	内田真結美,馬越陽大,上條公守,町田朋久,釜江剛,烏野隆博	第121回近畿血液学地方会	口演	2024.11.16
3	治癒切除が可能であった膵腺房細胞癌の一例	天野将明,大村仁昭,柏崎正樹,田邊大二朗,柳尚吾,大賀瑤子,瀧口暢生,市川善章,東重慶,古川陽菜,今北正美,種村匡弘	第86回日本臨床外科学会学術集会	口演	2024.11.22
4	遅発性に発症した外傷性横隔膜ヘルニアの一例	田邊大二朗,大村仁昭,柏崎正樹,柳尚吾,大賀瑤子,瀧口暢生,市川善章,古川陽菜,東重慶,三宅正和,種村匡弘	第86回日本臨床外科学会学術集会	口演	2024.11.23
5	間質性肺炎と難治性下痢を合併した劇症型心筋炎の一例	内田真結美,義間昌平,阿部誠,正木豪,牧野信彦,増田大作,習田龍,永井義幸,山下静也	第246回近畿地方会 第71回生涯教育講演会	口演	2024.12.14
6	頭痛と動眼神経麻痺で発症し、術後早期に神経症状の改善がみられた下垂体卒中の一例	杉森智之,大槻朋子,山西雅之,小椋紫芳,川知祐介,高野徹,出原誠	日本内科学会第246回日本内科学会近畿地方会	口演	2024.12.14

研究業績：診療支援局 薬剤部門

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	集中治療室における抗微生物薬を中心とした薬剤師主導のプロトコルの報告と導入後のアンケート調査	小林洋平,釜野健太郎,長谷川翔,河津敏明,中川直樹,深津祥央,烏野隆博	日本臨床救急医学会雑誌	27:529-536,2024

整理 番号	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
2	救急・集中治療領域における夜間・休日の薬剤師の必要性に関する検討	小林洋平,河津敏明,中川直樹,深津祥央,鳥野隆博	日本臨床救急医学会雑誌	27:470-475,2024
3	第1章薬剤業務の基礎 2-3.一般名処方と後発医薬品への変更 3-4.服薬方法の工夫と時間	深津祥央	薬剤業務補助者育成ハンドブック(薬事日報社)	2024年11月
4	第2章薬剤業務補助者に必要な知識と業務例 4-3.地方独立行政法人りんくう総合医療センター薬剤部門—注射調剤室における薬剤業務補助者の業務例—	西井拓人	薬剤業務補助者育成ハンドブック(薬事日報社)	2024年11月
5	第2章処方箋に基づく調剤Ⅱ 処方箋と疑義照会1-②処方鑑査(注射薬)	名徳倫明,北庄司敦久,他	薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト2025年版	75-78,2025
6	総説:免疫抑制薬 薬剤リスト:腎機能別薬剤投与データ	深津祥央	治療薬ハンドブック(じほう)	2025年1月

(2) 国内学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	救命救急センターにおける薬剤師主導のバンコマイシン投与管理プロトコルの作成と評価	釜野健太郎,小林洋平,河津敏明,中川貴弘,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
2	集中治療領域における薬剤師不在時間帯の薬物療法の実態に関する調査	小林洋平,釜野健太郎,河津敏明,中川貴弘,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
3	救命救急センターにおける薬剤師主導の抗微生物薬の用法用量に関するプロトコルの作成と評価	長谷川翔,小林洋平,釜野健太郎,河津敏明,中川貴弘,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
4	当院における薬学実務実習の評価と今後の課題:薬学実務実習生からのアンケート調査より	北庄司敦久,泉原里絵,上田祥子,西田愉可利,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
5	Covid-19流行下における薬剤部門の役割～4年前から現在までの対応の変遷～	泉原里絵,伊藤健二,丸尾睦,宮本紅喜,山道麻葉,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
6	当院における糖尿病教育入院患者へのシックデイに対する取り組み	伊藤健二,上田祥子,越山晶弘,間屋壮美,山道麻葉,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
7	周術期中止薬に対する当院での薬剤師の関わり	上田祥子,中川貴弘,西田愉可利,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
8	がん薬物治療におけるレジメン登録と医療安全	中川直樹,伊藤健二,西井拓人,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
9	当院における免疫関連有害事象(irAE)対策	西井拓人,伊藤健二,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
10	RPAによる医薬品集作製の自動化について	中川貴弘,上田祥子,西田愉可利,深津祥央,鳥野隆博	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
11	当院の抗がん薬による血管外漏出に対する取り組みについて	中川直樹,西井拓人,伊藤健二,小林洋平,泉原里絵,深津祥央,鳥野隆博	日本病院薬剤師東北ブロック第13回学術大会	ポスター	2024.6.23
12	教育講演 集中治療領域における抗微生物薬の投与量管理～自施設の取り組みも踏まえて～	小林洋平,深津祥央	日本集中治療医学会第8回関西支部学術集会	口演	2024.7.6
13	救急・集中治療領域における夜間・休日帯の薬剤師配置の必要性に関する医療経済効果からの検討	小林洋平,河津敏明,深津祥央	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	口演	2024.7.20
14	重症領域におけるバンコマイシンの早期腎毒性のリスク因子の検討	釜野健太郎,小林洋平,深津祥央,鳥野隆博	第34回日本医療薬学会年会	ポスター	2024.11.2
15	重症領域におけるバンコマイシンのAUC _{24-48hr} ≥ 600 μg h/mL とAUC _{24-48hr} < 600 μg h/mL 間の早期腎毒性の発現リスクの比較	小林洋平,釜野健太郎,河津敏明,深津祥央,鳥野隆博	第34回日本医療薬学会年会	ポスター	2024.11.3
16	災害時の病院薬剤部門における被害状況の収集:大阪府病院薬剤師会によるアンケート調査と情報収集訓練	吉田紗理,中川貴弘,他	第34回日本医療薬学会年会	口演	2024.11.3

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
17	院内製剤調製手順書の整備とアンケートによる評価	越山晶弘,小林洋平,若林里絵,宮本紅喜,河津敏明,松波美和,深津祥央	第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会	ポスター	2025.1.26

(3) 研究会・講演会

整理番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	りんくう総合医療センター薬剤部門における外国人対応について	深津祥央	一般社団法人 くすりの適正使用協議会 くすりのしおりコンコーダンス委員会 勉強会	2025.1.21

(4) 学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	がん薬物治療の基礎研究	西井拓人	泉佐野薬剤師会研修会	2024.9.12
2	CAR-T細胞療法におけるチーム医療 薬剤師の立場から	伊藤健二	第8回泉州骨髓セミナー	2024.11.5
3	救急・集中治療x感染～自施設の取り組み～	小林洋平	大阪府病院薬剤師会16支部研修会	2025.2.4
4	泉州地域における病診薬連携のこれからを考える	深津祥央	泉佐野薬剤師会研修会	2025.2.13
5	肥満症と薬剤	伊藤健二	第15回泉佐野・泉南糖尿病メディカルスタッフセミナー	2025.3.8

(5) 院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	VRE発生させないためのVCMの適正使用の推進	泉原里絵	2024年度第1回院内感染対策研修会・抗菌薬適正使用支援研修会(e-learning)	2024.5.22
2	糖尿病患者の療養支援② 薬物療法(インスリン療法を中心に)	伊藤健二	院内エキスパートコース 糖尿病ケアコース	2024.9.2
3	アセリオについて	伊藤健二	8山病棟勉強会	2024.9.13
4	ポリファーマシーについて	北庄司敦久	多職種カンファレンス	2024.10.10
5	なくそう！ポリファーマシー！薬剤師の視点と取り組み	釜野健太郎	多職種カンファレンス	2024.10.10
6	ビーフリード投与下でのBacillus cereus感染症について	泉原里絵	2024年度第2回院内感染対策研修会・抗菌薬適正使用支援研修会(e-learning)	2024.12.2
7	インスリン製剤に関するインシデント	中川直樹	医療安全研修	2024.12.18
8	健康食品の正しい利用法 サプリメントで起きた健康被害背景にある課題は？	高橋和代	生活習慣病予防教室	2025.1.9
9	褥瘡回診における他職種連携について・褥瘡で使用する外用薬	泉原里絵	多職種カンファレンス	2025.1.30
10	医療安全推進部会部署別活動報告	中川直樹	医療安全研修	2025.2.14

研究業績：診療支援局 検査・栄養部門

《病理検査》

(1) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	当院における呼吸器領域でのROSEの運用と有用性	宮内雅哉	第63回日臨技近畿支部医学検査学会	口演	2024.11.4

(2) 学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	大臨技病理ジュニア講習会	宮内雅哉	大臨技病理・細胞診部門	2024.6.30
2	大臨技定期講習会「泌尿器・体腔液」	宮内雅哉	大臨技病理・細胞診部門	2024.8.23
3	大臨技細胞検査士フォト模擬試験	宮内雅哉	大臨技病理・細胞診部門	2024.10.12
4	ひらめきときめきサイエンス	宮内雅哉	森ノ宮医療大学主催講義	2024.12.21

(3) 院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	乳腺カンファレンス	伊藤歌奈己	乳腺カンファレンス	毎週火曜

研究業績：診療支援局 放射線部門

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	第51回秋季学術大会「撮影部会シンポジウム」 X線単純撮影における再撮影を考える～その撮影、本当に必要ですか?～ はじめに	中前光弘	日本放射線技術学会雑誌	80(9):957, 2024年9月号
2	研究支援事業紹介—放射線技術学研究のための委員会・専門部会・ 地方支部における支援事業— 第2回「臨床業務を支える放射線技術学研究の情報を提供する撮影 部会の活動紹介」	中前光弘	日本放射線技術学会雑誌	80(10):1084-1085, 2024年10月号

整理 番号	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
3	我が国における外傷全身CTの実効線量	宮安孝行, 藤村一郎, 他	日本臨床救急医学会雑誌	28(1): 33-40, 2025年1月号
4	第1回日本放射線医療技術学会大会より(第40回日本診療放射線技師 学会大会・第52回日本放射線技術学会秋季学会大会)学術企画⑤ (JART STAT画像報告委員会, JSRT撮影部会・教育委員会・学術委員 会) [特集][後編]診療放射線技師によるSTAT画像報告 6. 一般撮影画像を支える放射線技術	中前光弘	日本診療放射線技師会誌	72(870): 249-253, 2025年3月号

(2) 国内学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Hybrid-ER における CT 装置のピットフォール	西池成章,藤村一郎	第38回日本外傷学会総会・学術 集会	口演	2024.4.25
2	CT画像を利用した新しい造影剤選定方法の試み (体重不明の場合)	藤村一郎	第16回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
3	ハイブリッドER運用による多職種連携の取り組み	近藤幹大	第16回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
4	MRI検査における急変時対応の取り組み	小東亮介	第16回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
5	外傷全身単純CT撮影における可変ヘリカルピッ チスキャンプロトコルの適正化(第2報)	藤村一郎,近藤幹 大,梅木拓哉,西池 成章,相良健司,中 前光弘	第27回日本臨床救急医学会総 会・学術集会	口演	2024.7.19
6	頸椎外傷に伴うretropharyngeal spaceの画像的 変化について	梅木拓哉,近藤幹 大,藤村一郎,西池 成章,相良健司,中 前光弘,中尾彰太	第27回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	口演	2024.7.19
7	学術企画⑤「診療放射線技師によるSTAT画像報 告」⑥一般撮影画像を支える放射線技術	中前光弘	第1回日本放射線医療技術学術 大会(第52回秋季学術大会)	口演	2024.11.1
8	学術研究班報告:医療安全管理の保証・向上に 資する放射線情報システムの標準データセットの 作成	谷川琢海,中前光弘	第1回日本放射線医療技術学術 大会(第52回秋季学術大会)	口演	2024.11.1
9	外傷全身CT撮影により検出された脳血管損傷の 1例	藤村一郎	日本放射線技術学会第68回近 畿支部学術大会	口演	2024.11.30
10	ハイブリッドER導入後の運用について	人西健太,近藤幹 大,梅木拓哉,西池 成章,藤村一郎,相 良健司	令和6年度近畿地域診療放射線 技師会学術大会	口演	2025.2.9

(3) 研究会・講演会

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	記念講演「単純X線撮影における再撮影を考えてみよう」	中前光弘	第80回 北河内画像勉強会	2024.6.1
2	撮像方法検証	常玄大輔,他	SignalUM	2024.6.20
3	テーマ3「デジタル一般撮影のあれやこれ」	中前光弘	関西地区CR研究会 超基礎講座	2024.9.8
4	撮像方法検証	常玄大輔,他	SignalUM	2024.9.26
5	Signal甲子園 実行委員	常玄大輔,他	Signal甲子園	2024.12.14

(4) 学術講演・講義

整理 番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	救命救急医学 救急撮影概論	近藤幹大	大阪物療大学講義	2024.4.12
2	救命救命対応検査学 救急医学と救急医療システム	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校 講義	2024.4.16
3	救命救急医学 一般撮影 救急医療概論	西池成章	大阪物療大学講義	2024.4.19
4	一般臨床医学(画像領域):放射線検査の概要	中平修司	大阪府立大阪南視覚支援学校 理学療法 科講義	2024.4.19
5	救命救命対応検査学 画像診断の適応と順序	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校 講義	2024.4.23
6	救命救急医学 CT撮影概論	藤村一郎	大阪物療大学講義	2024.4.26
7	救命救命対応検査学 各種画像診断の特性	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校 講義	2024.4.30
8	救命救命対応検査学 外傷各論(胸部・腹部)	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校 講義	2024.5.7
9	救命救急医学 一般撮影 胸部領域	西池成章	大阪物療大学講義	2024.5.10
10	救命救命対応検査学 外傷各論(骨盤・頭部)	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校 講義	2024.5.14
11	救命救急医学 一般撮影 腹部・骨盤領域	西池成章	大阪物療大学講義	2024.5.17
12	救命救命対応検査学 内因性疾患(頭部)	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校 講義	2024.5.21
13	救命救急医学 一般撮影 頭部・頸部領域	西池成章	大阪物療大学講義	2024.5.24
14	救命救命対応検査学 内因性疾患(胸部・腹部)	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校 講義	2024.5.28
15	救命救急医学 一般撮影 四肢領域	西池成章	大阪物療大学講義	2024.5.31

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
16	救命救急医学 CT検査 頭頸部領域	藤村一郎	大阪物療大学講義	2024.6.7
17	一般臨床医学(画像領域):疾患(脳卒中)/解剖	中平修司	大阪府立大阪南視覚支援学校 理学療法科講義	2024.6.7
18	救命救急医学 CT検査 胸部領域	藤村一郎	大阪物療大学講義	2024.6.14
19	救命救急医学 CT検査 腹部領域	藤村一郎	大阪物療大学講義	2024.6.21
20	診療放射線技師法改正に伴う告示研修 (ファシリテータ)	中平修司	厚生労働省告示第273号研修(告示研修)	2024.6.22
21	救命救急医学 救命救急医療における血管撮影検査の目的・意義について	相良健司	大阪物療大学 講義	2024.6.28
22	救命救急医学 血管撮影装置, 周辺機器やデバイスについて血管の解剖について	相良健司	大阪物療大学 講義	2024.7.5
23	救命救急医学 血管性病変について IVRについて	相良健司	大阪物療大学 講義	2024.7.12
24	救命救急医学 災害医療の原則とトリアージの概念について	相良健司	大阪物療大学 講義	2024.7.19
25	ハイブリッドERシステムにおける内因性疾患に対する当院の取り組み	近藤幹大	第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会 シンポジウム9 ハイブリッドERの内因性疾患への応用	2024.7.19
26	救命救急医学 CT検査 四肢その他	藤村一郎	大阪物療大学講義	2024.7.26
27	頭部救急疾患の病態とCT検査	西池成章	2024年度 日本放射線技術学会関東支部 第3回CTGUMセミナー&2024年度日本救急撮影技師認定機構講習会	2024.9.7
28	一般臨床医学(画像領域):疾患(呼吸器・循環器・認知症)/解剖	中平修司	大阪府立大阪南視覚支援学校 理学療法科講義	2024.9.13
29	診療放射線技師法改正に伴う告示研修 (ファシリテータ)	中平修司	厚生労働省告示第273号研修(告示研修)	2024.10.12
30	臨床実習ゼミナール「臨床実習施設担当者講義」りんくう総合医療センター	中前光弘	森ノ宮医療大学医療技術学部診療放射線学科3年後期 臨床実習ゼミナール	2024.10.17
31	一般臨床医学(画像領域):疾患(骨:脊椎、骨盤)/解剖	中平修司	大阪府立大阪南視覚支援学校 理学療法科講義	2024.10.25
32	放射線技術学実習Ⅱ	藤村一郎, 鎌田 洸哉, 伊東大佑	大阪物療大学講義	2024.11.16
33	放射線技術学実習Ⅱ	藤村一郎, 鎌田 洸哉, 伊東大佑	大阪物療大学講義	2024.12.7
34	放射線技術学実習Ⅱ	藤村一郎, 鎌田 洸哉, 伊東大佑	大阪物療大学講義	2024.12.14
35	初療における放射線技術学	西池成章	第19回九州放射線医療技術学術大会 シンポジウム 救急医療における放射線技術学	2024.12.20
36	放射線技術学実習Ⅱ	藤村一郎, 鎌田 洸哉, 伊東大佑	大阪物療大学講義	2024.12.21
37	講義1. 叢書(41)「単純X線撮影における品質管理マニュアル」発刊の目的・意義	中前光弘	公益社団法人 日本放射線技術学会 撮影部会主催 2024年度 第1回単純X線撮影における品質管理セミナー	2025.1.6-24 オンデマンド配信
38	一般臨床医学(画像領域):疾患(骨:上肢関節)/解剖	中平修司	大阪府立大阪南視覚支援学校 理学療法科講義	2025.1.10
39	診療放射線技師法改正に伴う告示研修 (ファシリテータ)	中平修司	厚生労働省告示第273号研修(告示研修)	2024.1.25
40	講義1. 叢書(41)「単純X線撮影における品質管理マニュアル」発刊の目的・意義 および質疑応答	中前光弘	公益社団法人 日本放射線技術学会 撮影部会主催 2024年度 第1回単純X線撮影における品質管理セミナー	2025.1.25 LIVE配信
41	一般臨床医学(画像領域):疾患(骨:下肢関節)/解剖	中平修司	大阪府立大阪南視覚支援学校 理学療法科講義	2025.2.21
42	診療放射線技師法改正に伴う告示研修 (ファシリテータ)	中平修司	厚生労働省告示第273号研修(告示研修)	2025.2.22

(5) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	診療支援局について	中前光弘	令和6年度4月 入職者オリエンテーション	2024.4.1
2	放射線部門について	西池成章	令和6年度4月 入職者オリエンテーション	2024.4.1
3	健康のススメ「29 診療支援局の活動」	中前光弘	泉佐野TV、さのテレ！	2025.1.17
4	健康のススメ「30 放射線検査のあれこれ」	西池成章	泉佐野TV、さのテレ！	2025.2.17
5	Kidney ureter bladder (KUB) 撮影における業務改善に対する考察	藤村一郎, 長谷川勝俊, 伊東大佑, 近藤幹大, 武部優華, 人西健太, 熊谷明修, 小東亮介, 中前光弘	TQM報告	2025.2.3-14

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
6	健康のススメ「31 切らずに治す放射線治療とは」	田原大世	泉佐野TV、さのテレ!	2025.3.17

(6) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	教育講演「三位一体のIVRが目指す先:診療放射線技師の支援に関するIVR医の本音」	中前光弘	公益社団法人 日本放射線技術学会 第80回総会学術大会	2023.4.12
2	シンポジウム「一般撮影におけるパラダイムシフト」	中前光弘,他	公益社団法人 日本放射線技術学会 第80回総会学術大会	2023.4.13
3	一般研究発表「X線撮影(撮影条件)」	中前光弘,他	公益社団法人 日本放射線技術学会 第80回総会学術大会	2023.4.13
4	一般研究発表「医療情報(2)」	中前光弘	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
5	救急領域におけるMRI検査	西池成章	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会 日本救急撮影技師認定機構 指定講習会	2024.7.19
6	ランチョンセミナー「昨日の敵は今日の味方～再撮影と向き合ってみる～」	中前光弘	関西地区CR研究会 超基礎講座	2024.9.8
7	学術企画③「X線撮影の標準化を考える」	中前光弘,他	第1回日本放射線医療技術学術大会 (第52回秋季学術大会)	2024.10.31
8	一般研究発表「X線(臨床技術1)」	中前光弘,他	第1回日本放射線医療技術学術大会 (第52回秋季学術大会)	2024.10.31
9	教育セミナー④一般撮影「一般撮影に関する撮影技術の変遷とシステムの進歩」	中前光弘	第1回日本放射線医療技術学術大会 (第52回秋季学術大会)	2024.11.2
10	特別講演1「三次元培養で医薬食を変革する!」大阪大学大学院 松崎典弥教授	中前光弘	公益社団法人 日本放射線技術学会 第68回近畿支部学術大会	2024.11.30
11	ワークショップ ストレッチャー撮影を克服しよう	西池成章	公益社団法人 日本放射線技術学会 第68回近畿支部学術大会	2024.11.30
12	特別講演2「Think Different, and Jump Over the Situation!」 森ノ宮医療大学 船橋 正夫教授	中前光弘	公益社団法人 日本放射線技術学会 第68回近畿支部学術大会	2024.12.1
13	研究倫理「そのスライド, 訴えられますよ! 知っておきたい著作権のはなし」	中前光弘	公益社団法人 日本放射線技術学会 第68回近畿支部学術大会 事後web LIVE配信	2024.12.21
14	医工連携講演「放射線技術学における医工連携の実践的取り組み ～半導体線量計作成キットへの第一歩～」, 「大阪商工会議所における医工連携マッチングと事業化支援の取り組み」	中前光弘	公益社団法人 日本放射線技術学会 第68回近畿支部学術大会 事後web LIVE配信	2024.12.21
15	特別講演延長戦!! 「Think Different, and Jump Over the Situation Beyond!」	中前光弘	公益社団法人 日本放射線技術学会 第68回近畿支部学術大会 事後web LIVE配信	2024.12.21

研究業績：診療支援局 臨床工学・技術部門

《臨床工学》

(1) 国内学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	遠隔モニタリングシステムを用いた植込み型ループ心電計(ILR)の患者管理	中谷暁洋	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	一般演題(口演)	2024.5.11
2	当院における輸液シリンジポンプ中央管理の変遷	中西潤	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	一般演題(口演)	2024.5.11
3	当院におけるカテーテルアブレーション業務の新規導入とスタッフ育成について	吉田光海	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	一般演題(口演)	2024.5.11
4	当院の臨床工学技士による睡眠時無呼吸症候群療法におけるタスクシフトシェアについて	島村和希	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	一般演題(口演)	2024.5.11
5	臨床工学技士による超音波診断装置を用いた血液浄化業務におけるタスク・シフト/シェアについて	川崎勇司	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	一般演題(口演)	2024.5.11
6	当院におけるロボット支援下手術の導入に関わる臨床工学技士業務の確立	水山智文	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	一般演題(口演)	2024.5.11
7	遠隔モニタリング、どれが使いやすい?～管理方法の工夫～	中谷暁洋	第70回日本不整脈心電学会	講演	2024.7.18
8	「AIアシスタント」を用いた心臓植込みデバイスデータの要約と将来的展望	中谷暁洋	第30回近畿臨床工学会	一般演題(口演)	2024.11.23
9	Veno-Arterial Veno(V-AV) ECMO症例におけるHCS-CFP(UNIMO)の有用性	水山智文	第30回近畿臨床工学会	一般演題(口演)	2024.11.23

(2) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	不整脈ワークショップ「デバイスレクチャー&クイズ」	中谷暁洋	KCJL2024	2024.4.12
2	理想と考えるRO装置について	荒川昌洋	ねりもんの会	2024.7.20
3	死後の心臓植込み型デバイスの取り扱い ～摘出・火葬時におけるRisk & Precaution～	中谷暁洋	Abbott・Web seminar	2024.9.3
4	臨床工学技士による超音波診断装置を用いた血液浄化業務におけるタスク・シフト/シェアについて	川崎勇司	第101回大阪透析研究会	2024.9.15
5	心臓植込みデバイスによる心不全モニタリングの活用	中谷暁洋	Boston・HeartLogicセミナー	2024.11.19
6	不整脈関連業務に対する生成AIの活用	中谷暁洋	第3回KCATSセミナー	2025.3.1
7	Medical Staffセッション「デバイスの電磁干渉」	中谷暁洋	KCJL2025	2025.3.14

(3) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	透析効率	荒川昌洋	大阪府臨床工学技士会血液浄化基礎セミナー	2024.8.25
2	心電図検定対策セミナー	中谷暁洋	大阪府臨床工学技士会・循環セミナー	2024.10.27
3	「ECMOの理解を深める」「生成AIの活用と医療分野における将来的展望」	中谷暁洋	住友病院循環器内科・院内講演会	2025.3.21

(4) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	EICU看護師対象勉強会	小谷哲也	ECMO装置 UNIMOに関する操作説明会	2024.5.10
2	EICU 1年目 呼吸器勉強会	中平大志	人工呼吸器について	2024.6.14
3	5M勉強会	金口優生	血液浄化について	2024.7.10
4	ICU Ns 対象勉強会	山本竜平	人工呼吸器について	2024.7.12
5	ICU Ns 対象勉強会	森田庸介	大動脈バルーンパンピング	2024.7.18
6	心カテ治療勉強会	中谷暁洋	Hybrid-ORで施行する可能性のあるPCIについての勉強会	2024.8.20
7	5S呼吸器勉強会	中平大志	人工呼吸器について	2024.9.6
8	多職種カンファレンス	水山智文	CEによるdaVinci業務	2024.9.12
9	5S呼吸器勉強会	中平大志	人工呼吸器について	2024.9.13
10	5M呼吸器勉強会	中平大志	人工呼吸器について	2024.9.19
11	ICU Ns 対象勉強会	三角定弘	透析療法について	2024.11.5
12	ICU Ns 対象勉強会	中谷暁洋	心カテ治療について	2024.12.20
13	医薬品・医療機器安全研修	岩本匡史	輸液ポンプの適正使用について	2024.12.26
14	医療機器安全研修	西山侑花	補助循環装置	2025.1.10
15	医療機器安全研修	町田麻実	AEDについて	2025.1.10
16	医療機器安全研修	中平大志	人工呼吸器について	2025.1.10
17	救外・6S呼吸器勉強会	中平大志	人工呼吸器について	2025.1.15
18	医療安全研修Ⅱ	岩本匡史	業務改善活動報告(5Sを活用した機器管理室のレイアウト改善プロジェクト)	2025.2.14

(5) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	補助循環(IABP・ECMO・IMPELLA)	中谷暁洋	KCJL2024	2024.4.13
2	モニタリング1	荒川昌洋	第50回日本血液浄化技術学会	2024.4.13
3	情報管理(AI・その他)	荒川昌洋	第69回日本透析医学会学術集会・総会	2024.6.9
4	ランチョンセミナー・デバイス管理における「働き方改革」	中谷暁洋	第70回日本不整脈心電学会	2024.7.19
5	講演2:透析液	荒川昌洋	大阪府臨床工学技士会血液浄化基礎セミナー	2024.8.25
6	デバイス業務の病院単独化への道のり	中谷暁洋	Medtronic Device Management Conference in Osaka	2024.9.13
7	臨床工学技士会セミナー「今さら聞けない患者の膜選択」	荒川昌洋	第101回大阪透析研究会	2024.9.15
8	How to leverage Heart Insight ～The first step～	中谷暁洋	BIOTRONIK・コメディカルセミナー	2024.12.24
9	講演3「下肢エコー」	荒川昌洋	大阪府臨床工学技士会第25回血液浄化セミナー	2025.1.26
10	講演4「HHD」	荒川昌洋	大阪府臨床工学技士会第25回血液浄化セミナー	2025.1.26
11	看護師部会セッション+メーカーセッション	中谷暁洋	第17回植込みデバイス関連冬季大会	2025.2.21

研究業績：診療支援局 リハビリテーション部門

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	第2章 2節 神経疾患 脳血管疾患(急性期)	田中涼	WEB動画で学ぶ 理学療法のプロセスと臨床推論	110-124,2024
2	第2章 3節 内部疾患 呼吸器疾患	住吉山健太	WEB動画で学ぶ 理学療法のプロセスと臨床推論	138-152,2024
3	第2章 3節 内部疾患 循環器疾患	峯諒介,宮本誠一郎	WEB動画で学ぶ 理学療法のプロセスと臨床推論	153-169,2024

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	臨床研究を推進するための研究支援チームの足元とその効果	田中涼	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
2	摂食嚥下支援チームの取り組み	高田晃宏	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
3	表面筋電バイオフィードバック機器の操作や訓練の実行と認知機能との関係	今西祐子	第25回日本言語聴覚士学会	ポスター	2024.6.21
4	災害支援現場へ理学療法士が参画する意義ーDMATとJRATの連携ー	住吉山健太	大阪府理学療法学会大会	口演	2024.7.28
5	先天性中枢性低換気症候群の新生児に対して人工呼吸器管理中に定額を目的として介入した一症例	辻井健太郎	第36回大阪府理学療法学会大会	口演	2024.7.28
6	TKA術後患者のStiff-knee gaitに対し体幹筋トレーニングが与える即時効果	佐々木竜輝	第12回日本運動器理学療法学会学術大会	口演	2024.9.14
7	帝王切開術後症例における術後早期理学療法介入と二次障害発生率の関連性の検討	藤原志帆	ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会	口演	2024.10.19
8	病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき	宮本誠一郎	第31回未病学会学術総会	シンポジウム	2024.11.2
9	1.5次避難所「一時待機ステーション」における転倒予防を目的とした多職種連携	住吉山健太	第30回日本災害医学会総会・学術大会	ポスター	2025.3.6
10	ICU-AW からの回復過程を筋電図で経時的に評価した1例	八木悠太	第52回日本集中治療医学会学術集会	ポスター	2025.3.14

(3) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	口からはじめるフレイル予防ー摂食嚥下の基礎・アセスメント・対応	高田晃宏	大阪府介護予防活動強化推進事業における研修会(阪南市)	2024.9.18
2	口からはじめるフレイル予防ー摂食嚥下の基礎・アセスメント・対応	栗山泰典	第8回泉州骨髄移植セミナー	2024.11.5
3	心臓にやさしい動作や管理方法を学ぼう	小西勇亮	大阪府南ブロック保健所学習会	2024.12.10
4	回復期でも生活期でも使える運動療法のリスク管理	宮本誠一郎	泉佐野市・田尻町理学療法士会講習会	2025.2.20
5	末梢神経障害の理学療法	栗山泰典	大阪府理学療法士会生涯学習センター	オンデマンド

(4) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	理学療法治療技術論	貴志悠矢	大阪公立大学理学療法学専攻	2024.5.23
2	嚥下障害Ⅰ(19コマ)	高田晃宏	大阪医療技術学園専門学校	2024.10.18

(5) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	移乗動作研修会	佐々木竜輝	よりよいケア実践①	2024.4.5
2	心臓リハビリテーション	峯諒介	ICU勉強会	2024.5.1
3	自分にあった運動さがし	小西茉衣	生活習慣予防教室	2024.7.11
4	EICU、5海合同呼吸理学療法勉強会	大久保裕介	EICU勉強会	2024.7.19
5	摂食機能療法	高田晃宏	6海病棟勉強会	2024.8.7
6	摂食機能療法	高田晃宏	5海病棟勉強会	2024.8.20
7	摂食機能療法	高田晃宏	5山病棟勉強会	2024.9.9
8	がんのリハビリテーション	栗山泰典	院内エキスパートナース	2024.9.18
9	脳卒中患者への安全な離床と体位調整	田中涼	院内エキスパートナース	2024.9.26
10	誤嚥予防の食事介助	永岡真奈	EICU勉強会	2024.10.15
11	失語症患者とのコミュニケーション	宮本早百合	院内エキスパートナース	2024.10.24
12	RARP症例に対する骨盤底筋群トレーニングと評価	栗山泰典	患者サポートセンター勉強会	2025.2.21

(6) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	第36回大阪府理学療法学会大会 一般演題⑧	小西勇亮	大阪府理学療法士学会	2024.7.28
2	第36回大阪府理学療法学会大会 新人症例発表①	栗山泰典	大阪府理学療法士学会	2024.7.28

研究業績：共同運営部門 臨床検査センター ・ 輸血・細胞治療センター

(1) 英文原著・総説・著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Overdiagnosis of thyroid cancer in Fukushima.	S Midorikawa, <u>T Takano</u> , et al.	Akebishobo	2024
2	New multilocus sequence typing scheme for Enterococcus faecium reveals sequential outbreaks of vancomycin-resistant E.faecium ST1162 and ST610 in a Japanese tertiary medical center.	M Karino, <u>M Sugo</u> , <u>H Hanada</u> , <u>T Takano</u> , <u>M Yamato</u> , et al.	Microbiol Spectr	13:e0213124, 2025

整理 番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
3	Ethical issues in collecting data used in epidemiological studies.	S Midorikawa, T Takano, et al.	eClinical Medicine	80:103058, 2025

(2) 和文原著、総説、著書

整理 番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	いちからわかる芽細胞発がん	高野徹	Lab Clin Pract	42:62-8,2024
2	高野徹さんと考える福島の甲状腺検査	関口裕士	北海道新聞	2024年9月15日朝刊
3	遺伝子検査におけるPOCTの現状	福岡京子	The Medical&Test Journal	2024年10月21日発刊 第1672号
4	「昼寝うさぎ」が引き起こした福島甲状腺検査の過剰診断問題。専門家が語る「甲状腺がんの自然史」 甲状腺専門医・高野徹さんのインタビュー記事(上)	相本啓太	ハフポスト日本語版	2024.12.25
5	「白い巨塔」を地で行くような困難が待ち受けていた。福島甲状腺検、「アリバイ作り」のようだった有識者会議 甲状腺専門医・高野徹さんのインタビュー記事(下)	相本啓太	ハフポスト日本語版	2024.12.26
6	法令改正により新たに認められた臨床検査技師の業務を励みとして ～目指せ！ 病棟検査技師	花田浩之	病院安全教育	11(6):16-20,2024
7	脂質異常症	山下静也, 花田浩之(執筆協力)	今日の診断指針 第9版	123-128,2025
8	どう活かす?!中規模病院の経験値	福岡京子	日本臨床検査医学会誌	73(3): 212-215,2025

(3) 国際学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Poster presentation, evaluation of remnant lipoprotein accumulation by measuring non-HDL-cholesterol minus direct LDL cholesterol level (non-HDL-c-dLDL-c) instead of measuring remnant cholesterol levels.	D Masuda, H Hanada, S Yamashita	EAS(European Atherosclerosis Society) 92nd Congress (Lyon, France)	Poster	2024.5.26-29
2	Overdiagnosis of juvenile thyroid cancer in Japan.	Toru Takano	International Conference in Public Health	Oral	2024.6.27
3	Poster presentation “Screening Type III Hyperlipidemia Using Non-HDL-C, Direct LDL-C and ApolipoproteinB-48/TG”,	D Masuda, H Hanada, S Yamashita	20th International Symposium on Atherosclerosis 2024 (ISA2024), (Muscat, Oman)	Poster	2024.12.3-6

(4) 国内学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	花粉飛散数計測情報提供についての取り組み	宮下亜子,夏原稜典,井上早紀,米本隆浩,小島義忠,花田浩之,野村直孝,宝上竜也,中原啓,碓田猛真	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
2	ファントムを用いた超音波装置の内部精度管理	味岡美貴,藤田千加,玉野志麻,藤原理恵,大重友紀,中村雅美,花田浩之,高野徹	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
3	コロナウイルス・インフルエンザウイルスの同時測定キットによる患者および医療従事者の負担軽減	平松柚有,松谷梨央,高本千尋,岩橋孝祐,鎌谷真紗子,花田浩之,高野徹	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪) 投函	口演	2024.5.11
4	当院のCAR-T細胞療法におけるシステム構築について	宮本志保,宮下亜子,井上早紀,米本隆浩,小島義忠,花田浩之,高野徹,釜江剛,烏野隆博,他	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
5	当院における組織固定用ホルマリンの管理体制について	中井信子,伊藤歌奈己,岩橋孝祐,宮内雅哉,砂田恵利,花田浩之,伊東良太,今北正美,	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
6	当院におけるパニック値の解析	鎌谷真紗子,小島義忠,井上早紀,福岡京子,花田浩之,高野徹	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
7	当院におけるタスクシフト業務の導入～人間ドックでの静脈路確保～	藤本ひかる,今濱麻美,前田亮祐,松谷梨央,田川次郎,鎌谷真紗子,花田浩之,増田大作,南谷かおり,高野徹	第73回日本医学検査学会(金沢)	口演	2024.5.11-12
8	両側硬膜下血腫を合併し治療に難渋した原発不明癌に伴う線溶亢進型DIC	井上早紀,釜江剛,國井繭子,烏野隆博,他	血栓止血学会	ポスター	2024.6.13-15
9	特別講演,芽細胞発がん説:甲状腺癌のエビデンスが示すがんと病気の真の姿	高野徹	日本臨床検査専門医会第3回年次大会	口演	2024.6.29

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
10	多職種で考える症例検討会:メディカルスタッフカンファレンス(MSC) 「狭心症発作を繰り返す高TG血症の一例、～動脈硬化を始めとする各専門医とともに歩んだ治療経過～」	森健太,増田大作,花田浩之,他	第56回日本動脈硬化学会	パネリスト	2024.7.7-8
11	JSLH-Diff法における高精度単球算出ゲートの検討	夏原稜典,花田浩之,他	第25回日本検査血液学会学術集会	口演	2024.7.20-21
12	りんくう総合医療センター栄養管理室における業務改善の取り組みについて	遠藤隆之,花田浩之,増田大作,山下静也	第46回日本臨床栄養学会総会(両国)	口演	2024.10.5-6
13	新たな新興感染症ワーキンググループの立ち上げと取り組み	福岡京子,藤本ひかる,花田浩之	日本医療検査科学会	口演	2024.10.6
14	シンポジウムテーマ:病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき,臨床検査技師の立場から,「病院内の未病探索」	花田浩之	第31回日本未病学会学術総会(金沢)	口演	2024.11.2-3
15	当院で経験した卵形マラリアの一症例	夏原稜典,宮下亜子,井上早紀,米本隆浩,小島義忠,花田浩之	第63回日臨技近畿支部会(大阪)	口演	2024.11.3-4
16	心臓カテーテルアブレーション治療前に偶発的に発見された左房内乳頭状線維弾性腫の一例	長井輝幸,山崎功次,井伊稚佳子,吉田梓,岡本優奈,柴川智子	第63回日臨技近畿支部会(大阪)	口演	2024.11.3-4
17	どう活かす?!中規模病院の経験値	福岡京子	第71回日本臨床検査医学会学術集会,第94回POCセミナー	口演	2024.11.29
18	当院における優良選択メニューの取り組みについて	石坂順平,遠藤隆之,花田浩之,古川陽菜,他	JMDS2024,in,TOKYO,(東京医科大学病院)	ポスター	2024.12.14-15
19	低Na血症、食思不振を特徴とした免疫チェックポイント阻害薬使用患者の報告	遠藤隆之,花田浩之,古川陽菜	JMDS2024,in,TOKYO,(東京医科大学病院)	ポスター	2024.12.14-15
20	<i>Enterococcus,faecium</i> ,に対するMLSTの新規スキームはPFGEの代替法としてアウトブレイク解析に有用である	狩野真樹,花田浩之,高野徹,倭正也,他	第36回日本臨床微生物学会総会	口演	2025.1.24-26

(5) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	新規MLSTによるバンコマイシン耐性 <i>Enterococcus,faecium</i> ,のアウトブレイク解析	狩野真樹,花田浩之,高野徹,倭正也,他	第54回レンサ球菌研究会	2024.6.7-8
2	血球形態標準化,鏡検	米本隆浩	大阪臨床検査技師会,血液形態セミナー・ジュニアコース	2024.6.7
3	顆粒球(幼若顆粒球含む)・リンパ球・単球	米本隆浩	大阪臨床検査技師会,血液形態セミナー・ジュニアコース	2024.6.9
4	赤血球の分類	米本隆浩	大阪臨床検査技師会,血液形態セミナー・ジュニアコース	2024.6.9
5	異型リンパ球の見方	米本隆浩	大阪臨床検査技師会,血液形態セミナー・ジュニアコース	2024.6.21
6	その時、どうする?～生理検査編～	山崎功次	大阪府臨床検査技師会,臨床検査業務スタートセミナー	2024.6.22
7	腫瘍性リンパ球の見方	米本隆浩	大阪臨床検査技師会,血液形態セミナー・ジュニアコース	2024.6.23
8	慢性骨髄性白血病(CML)	米本隆浩	大阪臨床検査技師会,血液形態セミナー・ジュニアコース	2024.6.23
9	多数のAuer小体と核異型を認めたAML-M2	井上早紀	大阪臨床検査技師会,血液形態セミナー・ジュニアコース	2024.9.5
10	ハンズオンセミナー講師(下肢静脈)	山崎功次	福井県臨床検査技師会,超音波ハンズオンセミナー	2024.10.27
11	ハンズオンセミナー講師(心臓)	山崎功次	ECHO,AWA,JI,CV,IMAGING,2025	2024.11.29-30

(6) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	未病対策による健康管理ー未病から健康へのプロローグー	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校長柄校	2024.3.13
2	臨床病態 I	花田浩之	関西医療大学	2024.4.11
3	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.4.12
4	臨床病態 I	花田浩之	関西医療大学	2024.4.18
5	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.4.19
6	臨床病態 I	花田浩之	関西医療大学	2024.4.25
7	臨床病態 I	花田浩之	関西医療大学	2024.5.9
8	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.5.10
9	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.5.17
10	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.5.24
11	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.6.7
12	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.6.14
13	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.6.21
14	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.6.28
15	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.7.5

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
16	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.7.12
17	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.7.19
18	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.7.26
19	臨床化学	山崎功次	ベガサス大阪南看護学校	2024.7.29
20	臨床検査技師としてのキャリア形成	花田浩之	関西医療大学	2024.9.7
21	医療安全管理学	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校長柄校	2024.9.12
22	医療安全管理学	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校長柄校	2024.9.19
23	医療安全管理学	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校長柄校	2024.9.26
24	医療安全管理学	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校長柄校	2024.10.7
25	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.18
26	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.25
27	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.28
28	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.8
29	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.11
30	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.15
31	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.18
32	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.22
33	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.25
34	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.29
35	甲状腺中毒症	高野徹	大阪大学医学部講義	2025.2.7
36	甲状腺腫瘍	高野徹	大阪大学医学部講義	2025.2.7

(7) 院内研究活動

整理番号	演 題	発表者	研究活動名称	年月日
1	検査の「いろ・は・」	花田浩之	生活習慣病予防教室	2024.5.9
2	各種検査値の評価方法①	大北梨央	NST専門療法士研修,前期	2024.6.20
3	各種検査値の評価方法②	田川次郎	NST専門療法士研修,前期	2024.6.26
4	各種検査値の評価方法①	花田浩之	NST専門療法士研修,後期	2024.11.15
5	各種検査値の評価方法②	田川次郎	NST専門療法士研修,後期	2024.11.22
6	腸内細菌目細菌の耐性菌	外山愛	院内感染対策WG	2025.1.6

(8) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	Incretin, revisited, ～今改めて考えるGLP-1受容体作動薬の意義～	高野徹	第9回内分泌代謝疾患塾	2024.10.5
2	ミクロとマクロの視点から展開する副腎疾患の臨床研究, ～1細胞解析から大規模コホート解析まで～	高野徹	第9回内分泌代謝疾患塾	2024.10.5
3	一般演題, 内分泌・代謝2	村上正巳, 高野徹	第71回日本臨床検査医学会学術集会	2024.11.30

研究業績：共同運営部門 甲状腺センター

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	Overdiagnosis of thyroid cancer in Fukushima.	S Midorikawa, <u>T Takano</u> , et al.	Akebishobo	2024
2	New multilocus sequence typing scheme for Enterococcus faecium reveals sequential outbreaks of vancomycin-resistant E.faecium ST1162 and ST610 in a Japanese tertiary medical center.	M Karino, <u>M Sugo</u> , <u>H Hanada</u> , <u>T Takano</u> , <u>M Yamato</u> , et al.	Microbiol Spectr	13:e0213124, 2025
3	Ethical issues in collecting data used in epidemiological studies.	S Midorikawa, <u>T Takano</u> , et al.	eClinical Medicine	80:103058, 2025

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	いちからわかる芽細胞発がん	高野徹	Lab Clin Pract	42:62-8, 2024
2	高野徹さんと考える福島の甲状腺検査	関口裕士	北海道新聞	2024.9.15 朝刊
3	「昼寝うさぎ」が引き起こした福島甲状腺検査の過剰診断問題。専門家が語る「甲状腺がんの自然史」 甲状腺専門医・高野徹さんのインタビュー記事(上)	相本啓太郎	ハフポスト日本語版	2024.12.25
4	「白い巨塔」を地で行くような困難が待ち受けていた。福島甲状腺検、「アリバイ作り」のようだった有識者会議 甲状腺専門医・高野徹さんのインタビュー記事(下)	相本啓太郎	ハフポスト日本語版	2024.12.26

(3) 国際学会報告

整理番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Overdiagnosis of juvenile thyroid cancer in Japan.	Toru Takano	International Conference in Public Health	Oral	2024.6.27

(4) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	特別講演 芽細胞発がん説:甲状腺癌のエビデンスが示すがんという病気の真の姿	高野徹	日本臨床検査専門医会第3回年次大会	口演	2024.6.29

(5) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	甲状腺中毒症	高野徹	大阪大学医学部講義	2025.2.7
2	甲状腺腫瘍	高野徹	大阪大学医学部講義	2025.2.7

(6) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	Incretin revisited ～今改めて考えるGLP-1受容体作動薬の意義～	高野徹	第9回内分泌代謝疾患塾	2024.10.5
2	ミクロとマクロの視点から展開する副腎疾患の臨床研究～1細胞解析から大規模コホート解析まで～	高野徹	第9回内分泌代謝疾患塾	2024.10.5
3	一般演題 内分泌・代謝2	村上正巳,高野徹	第71回日本臨床検査医学会学術集会	2024.11.30

研究業績：共同運営部門 <周産期センター>産科医療センター

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	Preventive Effect of Hydrocolloid Dressings on Hypertrophic Scarring of Post-Cesarean Section Wounds: A Randomized Pilot Study	H Tsubouchi, S Yamashita, K Furuya, Y Chang, K Shikado, K Ogita, et al.	Adv Skin Wound Care	37(7):360-367,2024
2	Efficacy and potency of sphenopalatine ganglion block for the management of postdural puncture headaches in post-cesarean section: A case report and literature review	MS Hara, K Furuya, K Kishida, S Yamashita, S Kobayashi, K Ogita	J Obstet Gynaecol Res	50(12):2357-2361,2024

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	重症化したCOVID-19妊婦に対する集学的救命事例からみた多診療科間の連携工夫	古谷毅一郎,角真徳,山下紗弥,張良実,鹿戸佳代子,坪内弘明,荻田和秀,他	日本臨床救急医学会雑誌	27(5):669-77,2024
2	単一施設におけるプロスタグランジンE2腔用剤使用妊婦の分娩アウトカムに関する後方視的検討	廣瀬陸人,古谷毅一郎,角真徳,山下紗弥,張良実,鹿戸佳代子,坪内弘明,荻田和秀,他	産婦人科の進歩	77(1):8-15,2024
3	特集救急コースガイド～PC3～	荻田和秀	救急医学	49:129,2025
4	陣痛の発来・形成のメカニズムはどこまでわかっているか	古谷毅一郎	周産期医学「周産期医療のための病態生理」	53巻増刊号:91-96,2024
5	<トピックス>高年妊娠におけるHDP発症機序	古谷毅一郎	周産期医学「妊娠高血圧症候群2024」	54(10):1354-1357, 2024年10月号

(3) 国際学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Efficacy and Potency of Sphenopalatine Ganglion Block for Management of Postdural Puncture Headaches in Post-Cesarean Section: A Case Series Report	MS Hara, K Furuya, M Sumi, K Hayashi, A Kuruma, S Yamashita, Y Chang, K Shikado, H Tsubouchi, K Ogita	The 23rd Congress of the Federation of Asia & Oceania Perinatal Societies (FAOPS) 2023 in Seoul	Oral	2024.9.4-6

(4) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	《経験に学ぶ急性腹症のエウレカ》:急性腹症に潜む意外な妊娠症例	古谷毅一郎	第60回腹部救急医学会総会	シンポジウム	2024.3.20-22
2	帝王切開術後に発生した腹腔内膿瘍ドレナージ術中に敗血症性ショックから遅発性弛緩出血をきたし救命を要した一例	林晃輝,古谷毅一郎,松谷和奈,角真徳,山下紗弥,張良実,鹿戸佳代子,坪内弘明,荻田和秀	第60回腹部救急医学会総会	口演	2024.3.20-22
3	妊娠37週に発症し,ウイルス感染症や他の皮膚疾患との鑑別に苦慮した妊娠性掻痒性蕁麻疹様丘疹(PUPPP)の一例	淡路拓也,坪内弘明,原マイケルシャノン,林晃輝,松谷和奈,山下紗弥,古谷毅一郎,張良実,鹿戸佳代子,横井猛,荻田和秀	第76回日本産科婦人科学会学術講演会	ポスター	2024.4.19-21

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
4	帝王切開後、経膣分娩後の感染症で検査科との連携によってMycoplasma hominisが同定され治療し得た2例	松谷和奈,角真徳,原マイケルシヤノン,淡路拓也,林晃輝,山下紗弥,古谷毅一郎,張良実,坪内弘明,鹿戸佳代子,横井猛,荻田和秀	第76回日本産科婦人科学会学術講演会	ポスター	2024.4.19-21
5	会陰裂傷縫合の基礎と教育《実践で差がつく明日からのTips》	林晃輝	第46回OSVD Basic	コメンテーター	2024.5.24
6	MTX全身投与療法後に子宮内容除去術を実施し子宮温存が可能であった頸管妊娠の1例	中前亜季子,角真徳,松谷和奈,山下紗弥,古谷毅一郎,張良実,坪内弘明,鹿戸佳代子,横井猛,荻田和秀	第150回近畿産科婦人科学会学術集会	口演	24.6.15-6.16
7	The Effects of COVID-19 on Progression of Labour: Based on Our Three Years' Experiences	K Furuya, MS Hara, A Nakamae, M Seki, M Yamato, K Ogita	第98回日本感染症学会学術講演会 第72回日本化学療法学会総会 合同学会	口演	2024.6.27-29
8	Management of Urgent Cesarean Section in COVID-19: A Case Report	MS Hara, K Furuya, A Nakamae, M Seki, M Yamato, K Ogita	第98回日本感染症学会学術講演会 第72回日本化学療法学会総会 合同学会	口演	2024.6.27-29
9	Evaluating perinatal outcomes before and after COVID-19 pandemic: a single-institutional retrospective cohort study	A Nakamae, K Furuya, MS Hara, M Seki, M Yamato, K Ogita	第98回日本感染症学会学術講演会 第72回日本化学療法学会総会 合同学会	口演	2024.6.27-29
10	産褥10日目に大動脈解離を発症した,ロイスディーツ症候群(Loeys-Dietz Syndrome)合併症妊娠の1例	淡路拓也,坪内弘明,福元裕貴,角真徳,山下紗弥,古谷毅一郎,張良実,鹿戸佳代子,荻田和秀	第60回日本周産期・新生児医学会学術集会	ポスター	2024.7.13-15
11	胎盤用手剥離術後の子宮穿孔を契機に発見された高度陥入胎盤の一例	新田勇人,福元裕貴,古谷毅一郎	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	口演	2024.7.18-20
12	産科大量出血に対し母体救命目的で実施したOpen abdomen managementの2例	福元裕貴,新田勇人,古谷毅一郎	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	口演	2024.7.18-20
13	帝王切開術後症例における術後早期理学療法介入と二次障害発生率の関連性の検討	藤原志帆,田中涼,森野佐芳梨,坪内弘明,古谷毅一郎,泉川良子,高山絵莉香,石田恭子,荻田和秀	第10回ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会	表彰候補演題	2024.10.19-20
14	B-Lynch縫合からHayman縫合に変更を余儀なくされた帝切症例	古谷毅一郎	第6回南大阪産婦人科手術手技検討会	コメンテーター	2024.11.1
15	当院における4年間のブローペス使用経験とその実際	古谷毅一郎	Fuji Perinatal Webinar in Osaka	招請講演	2024.11.8
16	AMAモデルマウスにブラバスタチンを投与することによる妊娠高血圧症候群の長期予後改善の検討	根本一成,古谷毅一郎,他	第39回日本生殖免疫学会総会・学術総会	口演	2024.12.13-14
17	妊産婦急変時の対応～その時どうする？～	荻田和秀	第65回日本母性衛生学会・学術総会	口演	2024.10.18-19
18	当院における経膣分娩を成功させるための試み～多職種間チームで経膣分娩を成功させる～	荻田和秀	第18回日本ソフロジー法研究会学術集会	口演	2024.11.17

(5) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	COVID-19感染が経膣分娩に与える影響に関する検証:感染妊婦の安全なお産に必要なエビデンス集積を目指して	古谷毅一郎,中前亜季子,小松直人,田中良知,廣瀬陸人,山下紗弥,張良実,鹿戸佳代子,坪内弘明,荻田和秀	大阪府医師会医学研究	2024

(6) 表彰

整理番号	賞名	受賞者	受賞年月日
1	産科医療功労者厚生労働大臣表彰	荻田和秀	2024.9.9

研究業績：共同運営部門 血液浄化センター

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	透析患者の便秘に克つ！腸の重要性	重松隆	透析ケア	10(4):978-983,2024

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
2	10cmを超える狭窄病変に二期的にステントグラフトを了知した症例	笠屋拓也,和田龍也,他	大阪透析研究会会誌	41:89-90,2024
3	緊急透析療法導入の実際	大道竜也,岡本幸大,和田龍也,村津淳,重松隆	透析フロンティア	35(2):8-12,2025

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	透析患者の便秘に克つ！腸の大事さ	重松隆	第69回日本透析医学会学術集会 LS39	口演	2024.6.9
2	便秘に克つ:腸の大事さ	重松隆	第27回日本腎不全看護学会学術集会・総会 特別講演	口演	2024.11.9
3	CKD-MBD ガイドライン改定の方角性と血液透析療法の貢献	重松隆	第26回日本在宅血液透析学会 LS	口演	2024.11.10
4	CKD-MBDの変遷から最新診療ガイドラインへ	重松隆	第49回奈良透析学術総会	口演	2025.2.2
5	腋窩領域のPTAはPCBがいい？	土田健司,和田龍也,他	第30回透析バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会学術集会・総会	口演	2025.3.1

(3) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	CKD-MBDは血液浄化法の進歩と深く関係している	重松隆	第63回SK腎セミナー	2024.11.20

研究業績：共同運営部門 栄養管理センター

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	【第3章 経腸(経管)栄養】Q35 経腸栄養法の適応とは？ Q36 経腸栄養法の開始基準は？	遠藤隆之	ニュートリションケア	2024年冬季増刊: 112-116
2	癌の代謝栄養における化学放射線治療と栄養アクセス	遠藤隆之,他	栄養アクセス選択・併用のベストプラクティス	2025年2月25日発行: 225-237, 2025

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	当院における妊産婦祝い膳リニューアルの取り組みについて	廣瀬芽衣,石坂順平,松村理恵子,林美幸,前田有紀,西村和世,内原真理,宇野妙子,遠藤隆之,高島真由美	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
2	外来化学療法室における管理栄養士の介入	林美幸,松村理恵子,宇野妙子	第16回医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
3	りんくう総合医療センター栄養管理室における業務改善の取り組みについて	遠藤隆之,花田浩之,増田大作,山下静也	第46回日本臨床栄養学会総会 第45回日本臨床栄養協会総会 第22回大連合大会	口演	2024.10.5
4	消化器内科・消化器外科病棟でのリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算取得に向けた取り組み	林美幸,遠藤隆之,廣瀬芽衣,宇野妙子,内原真理,西村和世,古川陽菜	第40回日本栄養治療学会学術集会	ポスター	2025.2.14

(3) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	りんくう総合医療センター栄養管理室における業務改善の取り組みについて	遠藤隆之,古川陽菜	第32回泉州地区NST研究会	2024.11.9
2	低Na血症、食思不振を特徴とした免疫チェックポイント阻害薬使用患者の報告	遠藤隆之,花田浩之,古川陽菜	JMDS2024 in TOKYO	2024.11.9
3	当院における有料選択メニューの取り組みについて	石坂順平,遠藤隆之,花田浩之,古川陽菜,他	JMDS2024 in TOKYO	2024.11.9

(4) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	「栄養と健康」看護と栄養、栄養素と種類とはたらき	遠藤隆之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.2
2	「栄養と健康」ライフステージと栄養/林美幸	遠藤隆之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.3
3	「栄養と健康」食物消化の吸収・代謝	遠藤隆之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.7
4	「栄養と健康」疾患と食事療法①	遠藤隆之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.8
5	「栄養と健康」栄養ケアマネジメント	遠藤隆之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.22
6	「栄養と健康」エネルギー代謝、食事と食品	遠藤隆之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.29
7	「栄養と健康」疾患と食事療法②、栄養補助食品	遠藤隆之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.11

(5) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	栄養アセスメント	遠藤隆之	NST専門療法士研修(前期)	2024.6.3
2	経腸栄養剤と補助食品	廣瀬芽衣	NST専門療法士研修(前期)	2024.6.6
3	経腸・静脈栄養	遠藤隆之	NST専門療法士研修(前期)	2024.6.7
4	糖尿病の食事療法	廣瀬芽衣	糖尿病ケアコース	2024.8.19
5	食事から脳梗塞を予防しよう！	廣瀬芽衣	生活習慣病予防教室	2024.9.12
6	褥瘡患者の栄養管理について	遠藤隆之	エキスパートナーズコース(褥瘡)	2024.9.25
7	がんの栄養管理について	松村理恵子	エキスパートナーズコース(がん)	2024.10.2
8	経腸栄養剤と補助食品	廣瀬芽衣	NST専門療法士研修(後期)	2024.11.7
9	経腸・静脈栄養	遠藤隆之	NST専門療法士研修(後期)	2024.11.8
10	栄養アセスメント	遠藤隆之	NST専門療法士研修(後期)	2024.11.8
11	食事から血管を元気にしよう！～The Japan Dietを知ろう～	廣瀬芽衣	第8回世界糖尿病デー りんくう健康フェスタ	2024.11.16
12	NSTの意義と今後の展望	遠藤隆之	多職種カンファレンス	2024.11.21
13	IAD(失禁関連皮膚炎)と経腸栄養	廣瀬芽衣	多職種カンファレンス	2025.1.30
14	8海病棟におけるリハビリ口腔栄養加算の導入とその効果	林美幸	多職種カンファレンス	2025.3.13

(6) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	一般演題45(栄養アセスメント③)	遠藤隆之	第28回日本病態栄養学会年次学術集会	2025.1.9

研究業績：共同運営部門 相談支援室・がん相談支援センター

(1) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	相談支援室/がん相談支援センターの役割について	飛野悦子	外来看護師 部署会	2024.12.20
2	がん相談体制強化 がん相談支援センターについて	下村恭子	多職種カンファレンス	2025.2.20

研究業績：共同運営部門 ドクターサポートセンター

(1) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	組織的な医師事務作業補助業務の確立を目指した医師直轄のドクターサポートセンターの設立	増田大作,三浦薫,高山昌代	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
2	医師事務作業補助業務のマニュアル作成と複数科対応可能の達成	三浦薫,高山昌代,増田大作	第16回医療マネジメント学会学術集会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
3	COVID-19禍における突然のマンパワー減少に対する医師事務作業補助者の迅速対応	三浦薫,高山昌代,増田大作	第16回医療マネジメント学会学術集会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
4	医師事務作業補助者の業務内容の合理化と時間外労働の撲滅	増田大作,高山昌代,三浦薫	第16回医療マネジメント学会学術集会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
5	ドクターサポートセンターの主体的介入による診断書作成依頼内容の明瞭化とトラブルシューティング	延野夏季,三浦薫,増田大作	第16回医療マネジメント学会学術集会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
6	医師事務作業補助部門の組織化と業務内容のマニュアル化による業務適正化と労働環境の改善	三浦薫,高山昌代,増田大作	医師事務作業補助者研究会第13回全国学術集会	口演	2024.10.20
7	病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき 医師の立場から	増田大作	「シンポジウム5」病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき、第31回日本未病学会学術総会(金沢)	口演	2024.11.3
8	医師事務作業補助者の立場から、「未病」への気づきができるか？	三浦薫	「シンポジウム5」病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき、第31回日本未病学会学術総会(金沢)	口演	2024.11.3
9	医師事務作業補助者における組織化と効率化による、業務適正化とコンプライアンスの向上	三浦薫,高山昌代,増田大作,他	第19回医療の質・安全学会学術集会	口演	2024.11.30
10	多忙極める医師の事務作業の軽減に配置された医師事務作業補助者の医療安全への寄与はどうか	三浦薫,高山昌代,増田大作	第19回医療の質・安全学会学術集会	口演	2024.11.30

研究業績：共同運営部門 認知症ケアセンター

(1) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	パンフレットを活用した家族へのせん妄の周知と教育	松藤香織	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11

研究業績：共同運営部門 先進医療開発センター

(1) 英文原著、総説、著書

整理 番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	JCS 2023 Guideline on the Primary Prevention of Coronary Artery Disease.	A Fujiyoshi, <u>D Masuda</u> , et al.; Japanese Circulation Society Joint Working Group.	Circ J.	88(5):763-842. PMID: 38479862, 2024 Apr 25
2	β -blockers may be detrimental in frail patients with heart failure with preserved ejection fraction.	S Hikoso, <u>D Masuda</u> , <u>S Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators.	Clin Res Cardiol.	113(6):842-855. PMID: 38019285, 2024 Jun
3	Japan Atherosclerosis Society (JAS) Guidelines for Prevention of Atherosclerotic Cardiovascular Diseases 2022.	T Okamura, <u>D Masuda</u> , et al.	J Atheroscler Thromb.	31(6):641-853. PMID: 38123343, 2024 Jun 1
4	Relationship of interleukin-16 with different phenogroups in acute heart failure with preserved ejection fraction.	S Tamaki, <u>Y Nagai</u> , <u>R Shutta</u> , <u>D Masuda</u> , <u>N Makino</u> , <u>S Yamashita</u> , et al; OCVC-Heart Failure Investigators.	ESC Heart Fail.	11(4):2354-2365. PMID: 38686566, 2024 Aug
5	Association of BMI, lipid-lowering medication, and age with prevalence of type 2 diabetes in adults with heterozygous familial hypercholesterolaemia: a worldwide cross-sectional study.	European Atherosclerosis Society Familial Hypercholesterolaemia Studies Collaboration (EAS FHSC). (<u>D Masuda</u> , <u>S Yamashita</u>)	Lancet Diabetes Endocrinol.	12(11):811-823. PMID: 39374602, 2024 Nov
6	Post-discharge changes in nutritional status predict prognosis in patients with acute decompensated HFpEF from the PURSUIT-HFpEF Registry.	T Kitao, <u>D Masuda</u> , <u>S Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators.	Heart Vessels.	Online ahead of print. PMID: 39656282, 2024 Dec 10
7	Plozasiran for Managing Persistent Chylomicronemia and Pancreatitis Risk.	GF Watts, <u>D Masuda</u> , et al.; PALISADE Study Group.	N Engl J Med.	392(2):127-137. PMID: 39225259, 2025 Jan 9
8	Role and prognostic value of growth differentiation factor 15 in patient of heart failure with preserved ejection fraction: insights from the PURSUIT-HFpEF registry.	D Sakamoto, <u>D Masuda</u> , <u>S Yamashita</u> , et al.; OCVC-Heart Failure Investigators.	Open Heart.	12(1):e003008. PMID: 39832941, 2025 Jan 19
9	Proteomic Analysis of Human Chylomicron Remnants Isolated by Apolipoprotein B-48 Immunoprecipitation.	D Masuda, Yamashita S, et al.	J Atheroscler Thromb.	32(2):226-238. PMID: 39085140, 2025 Feb 1
10	Temporal Effects of Plozasiran on Lipids and Lipoproteins in Persistent Chylomicronemia.	GF Watts, <u>D Masuda</u> , et al.; PALISADE Study Group.	Circulation.	151(10):733-736. PMID: 39549263, 2025 Mar 11
11	New multilocus sequence typing scheme for Enterococcus faecium reveals sequential outbreaks of vancomycin-resistant E.faecium ST1162 and ST610 in a Japanese tertiary medical center.	M Karino, <u>M Sugo</u> , <u>H Hanada</u> , <u>T Takano</u> , <u>M Yamato</u> , et al.	Microbiol Spectr	13:e0213124, 2025.

(2) 和文原著、総説、著書

整理 番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ, 年
1	non-HDLコレステロール (non-HDL-C), トリグリセリド (TG), HDL-Cを鑑みた動脈硬化性疾患の予防戦略—脂質異常症治療薬の使い分け	増田大作	medicina	61(8), 2024 7
2	脂質異常 (高コレステロール・高中性脂肪) を特定健診で見つけて脳心血管疾患を予防しよう!	増田大作	広報いずみさの	2024年11月1日発行
3	法令改正により新たに認められた臨床検査技師の業務を励みとして ～目指せ! 病棟検査技師	花田浩之	病院安全教育	11(6):16-20, 2024
4	脂質異常症—高LDL-C血症	増田大作	今日の治療指針	2025年1月
5	脂質異常症	山下静也, 花田浩之(執筆協力)	今日の診断指針 第9版	123-128, 2025

(3) 国際学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Poster presentation, evaluation of remnant lipoprotein accumulation by measuring non-HDL-cholesterol minus direct LDL cholesterol level (non-HDL-c-dLDL-c) instead of measuring remnant cholesterol levels.	D Masuda, H Hanada, S Yamashita	EAS(European Atherosclerosis Society) 92nd Congress (Lyon, France)	Poster	2024.5.26-29
2	Poster presentation “Screening Type III Hyperlipidemia Using Non-HDL-C, Direct LDL-C and ApolipoproteinB-48/TG”,	D Masuda, H Hanada, and S Yamashita.	20th International Symposium on Atherosclerosis 2024 (ISA2024), (Muscat, Oman)	Poster	2024.12.3-6

(4) 国内学会報告

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	日本人における魚の摂取量と動脈硬化の関係医療関係者こそ魚を食べよう!	増田大作	スイーツセミナー2 第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
2	組織的な医師事務作業補助業務の確立を目指した医師直轄のドクターサポートセンターの設立	増田大作,三浦薫, 高山昌代	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
3	医師事務作業補助者の業務内容の合理化と時 間外労働の撲滅	増田大作,三浦薫, 高山昌代	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
4	医師事務作業補助業務のマニュアル作成と複数 科対応可能の達成	三浦薫,高山昌代, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
5	COVID-19禍における突然のマンパワー減少に 対する医師事務作業補助者の迅速対応	三浦薫,高山昌代, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
6	ドクターサポートセンターの主体的介入による診 断書作成依頼内容の明瞭化とトラブルシューティ ング	延野夏季,三浦薫, 増田大作	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
7	パンフレットを活用した家族へのせん妄の周知と 教育	松藤香織	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
8	花粉飛散数計測情報提供についての取り組み	宮下亜子,夏原稜 典,井上早紀,米本 隆浩,小島義忠,花 田浩之,野村直孝, 宝上竜也,中原啓, 碓田猛真	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
9	ファントムを用いた超音波装置の内部精度管理	味岡美貴,藤田千 加,玉野志麻,藤原 理恵,大重友紀,中 村雅美,花田浩之, 高野徹	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
10	コロナウイルス・インフルエンザウイルスの同時測 定キットによる患者および医療従事者の負担軽減	平松柚有,松谷梨 央,高本千尋,岩橋 孝祐,鎌谷真紗子, 花田浩之,高野徹	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
11	当院のCAR-T細胞療法におけるシステム構築に ついて	宮本志保,宮下亜 子,井上早紀,米本 隆浩,小島義忠,花 田浩之,高野徹,釜 江剛,鳥野隆博,他	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
12	当院における組織固定用ホルマリンの管理体制 について	中井信子,伊藤歌 奈己,岩橋孝祐,宮内 雅哉,砂田恵利,花 田浩之,伊東良太, 今北正美	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
13	当院におけるパニック値の解析	鎌谷真紗子,小島義 忠,井上早紀,福岡 京子,花田浩之,高 野徹	第16回日本医療マネジメント学 会大阪支部学術集会(大阪)	口演	2024.5.11
14	当院におけるタスクシフト業務の導入 ～人間ドックでの静脈路確保～	藤本ひかる,今濱麻 美,前田亮祐,松谷 梨央,田川次郎,鎌 谷真紗子,花田浩 之,増田大作,南谷 かおり,高野徹	第73回日本医学検査学会(金 沢)	口演	2024.5.11-12
15	狭心症発作を繰り返す高TG 血症の一例～動脈 硬化を始めとする各専門職とともに歩んだ治療経 過～	増田大作	メディカルスタッフカンファレン ス、第56回日本動脈硬化学会 総会・学術集会(神戸国際会議 場)	口演	2024.7.7
16	多職種で考える症例検討会:メディカルスタッフカ ンファレンス(MSC) 「狭心症発作を繰り返す高TG血症の一例 ～動 脈硬化を始めとする各専門医とともに歩んだ治療 経過～」	森健太,増田大作, 花田浩之,他	第56回日本動脈硬化学会	パネリスト	2024.7.7-8
17	The Japan Dietの家族性高コレステロール血症 (FH)を含めた脂質異常症に対する有効性の検討	増田大作	第46回日本臨床栄養学会総会 連合大会(東京)	口演	2024.10.5
18	りんくう総合医療センター栄養管理室における業 務改善の取り組みについて	遠藤隆之,花田浩 之,増田大作,山下 静也	第46回日本臨床栄養学会総会 (両国)	口演	2024.10.5-6

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
19	野菜・果物の健康に関する最近のエビデンス	増田大作	日本動脈硬化学会共催企画 The Japan Diet、第46回日本臨 床栄養学会総会連合大会(東京)	口演	2024.10.6
20	新たな新興感染症ワーキンググループの立ち上げと取り組み	福岡京子,藤本ひかる,花田浩之	日本医療検査科学会	口演	2024.10.6
21	医師事務作業補助部門の組織化と業務内容のマニュアル化による業務の適正化と労働環境の改善	三浦薫,高山昌代,増田大作	日本医師事務作業補助者協会 第13回全国学術集会(東京)	口演	2024.10.20
22	シンポジウムテーマ:病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき 臨床検査技師の立場から「病院内の未病探索」	花田浩之	第31回日本未病学会学術総会 (金沢)	口演	2024.11.2-3
23	当院で経験した卵形マラリアの一症例	夏原稜典,宮下亜子,井上早紀,米本隆浩,小島義忠,花田浩之	第63回日臨技近畿支部会(大阪)	口演	2024.11.3-4
24	病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき 医師の立場から	増田大作	「シンポジウム5」病院内の多職種連携で進める「未病」への気づき、第31回日本未病学会学術総会(金沢)	口演	2024.11.3
25	医師事務作業補助者における組織化と効率化による、業務適正化とコンプライアンスの向上	三浦薫,高山昌代,増田大作,他	シンポジウム「再考！タスクシフトと医療安全」第19回医療の質・安全学会(東京)	口演	2024.11.30
26	多忙極める医師の事務作業の軽減に配置された医師事務作業補助者の医療安全への寄与はどうあるべきか	三浦薫,高山昌代,増田大作	第19回医療の質・安全学会学術集会	口演	2024.11.30
27	当院における優良選択メニューの取り組みについて	石坂順平,遠藤隆之,花田浩之,古川陽菜,他	JMDS2024 in TOKYO (東京医科大学病院)	ポスター	2024.12.14-15
28	低Na血症、食思不振を特徴とした免疫チェックポイント阻害薬使用患者の報告	遠藤隆之,花田浩之,古川陽菜	JMDS2024 in TOKYO (東京医科大学病院)	ポスター	2024.12.14-15
29	Enterococcus faecium に対するMLSTの新規スキームはPFGEの代替法としてアウトブレイク解析に有用である	狩野真樹,花田浩之,高野徹,倭正也,他	第36回日本臨床微生物学会総会	口演	2025.1.24-26
30	Non-HDL-コレステロール値から直接法LDLコレステロール値を引いたnon-HDL-C-dLDL-C値によるレムナントコレステロールの推定	張岩,安澤智美,増田大作,馬場谷美知子,南谷かおり	日本総合健診医学会第53回大会(千葉)	口演	2025.1.31
31	動脈硬化性疾患一次予防の専門医から見た食事摂取と健康診断・リスク評価治療の未来予想図	増田大作	『日本人の食事摂取基準』を健診・予防医療現場に活かす！！日本総合健診医学会第53回大会(千葉)	口演	2025.1.31
32	動脈硬化性疾患一次予防の専門医から見た食事摂取と健康診断・リスク評価治療の未来予想図	増田大作	家族性高コレステロール血症を人間ドック健診で見つける！！日本総合健診医学会第53回大会(千葉)	口演	2025.2.1
33	トリグリセリドが高いとき、なにを考え、なにを話すか？	増田大作	ランチョンセミナー、日本動脈硬化学会第25回動脈硬化教育フォーラム(仙台)	口演	2025.2.9
34	【症例:40歳男性】	増田大作	管理栄養士セミナー、日本動脈硬化学会第25回動脈硬化教育フォーラム(仙台)	口演	2025.2.9
35	生活習慣病管理における適切な療養指導	増田大作	教育講演6、日本動脈硬化学会第25回動脈硬化教育フォーラム(仙台)	口演	2025.2.9

(5) 研究会・講演会

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	『地域でみつける・みまもる・管理するACS一次・二次予防』	増田大作	ACS/CCSのリスク管理を考える会	2024.6.1
2	新規MLSTによるバンコマイシン耐性Enterococcus faeciumのアウトブレイク解析	狩野真樹,花田浩之,高野徹,倭正也,他	第54回レンサ球菌研究会	2024.6.7-8
3	トリグリセリドが高いとき、なにを考え、なにを話す？	増田大作	Kowa Web Conference(web)	2024.6.18
4	トリグリセリドが高いとき、なにを考え、なにを話す？	増田大作	Kowa Web Conference(web)	2024.7.29
5	糖尿病・脂質異常を含めた包括的リスク評価と治療戦略	増田大作	糖尿病治療のRoadmap2024	2024.9.13
6	脂質異常症を見たときは	増田大作	ドクターズプライム(web公開)	2024.10.1

整理番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
7	ACSと実臨床におけるFH診療の課題	増田大作	ACSにおけるFH治療Up to Date	2024.11.20
8	肥満＝メタボリックシンドローム？ 体重を落とすことだけが目標じゃない	増田大作	鳳工業株式会社講演会	2025.2.4
9	働く人世代の動脈硬化予防 高齢化しても健康快適にすごすために	増田大作	日本予防医学協会セミナー	2025.3.21

(6) 学術講演・講義

整理番号	演 題	発表者	学術講演会名	年月日
1	臨床病態 I	花田浩之	関西医療大学	2024.4.11
2	臨床病態 I	花田浩之	関西医療大学	2024.4.18
3	臨床病態 I	花田浩之	関西医療大学	2024.4.25
4	臨床病態 I	花田浩之	関西医療大学	2024.5.9
5	脂質異常を見た際の適切な診断と治療	増田大作	ファルメディコ社内勉強会(web)	2024.6.22
6	Atherosclerotic Cardiovascular Disease in Japan, Epidemiology, Prevention and Treatment	Daisaku Masuda	フィリピン人医師団へのレクチャー(りんくう)	2024.6.26
7	社会・家族機能と生活基盤の変化	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.9.6
8	社会の中の集団・社会保障制度と社会保険制度の基本	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.9.6
9	臨床検査技師としてのキャリア形成	花田浩之	関西医療大学	2024.9.7
10	医療安全管理学	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校校長柄校	2024.9.12
11	医療安全管理学	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校校長柄校	2024.9.19
12	医療安全管理学	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校校長柄校	2024.9.26
13	社会保険制度の基本2・社会福祉の基本	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.1
14	社会福祉の基本(児童福祉・高齢者福祉)・健康と公衆衛生	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.1
15	健康指標と感染症・生活環境	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.7
16	保健活動の基礎と制度	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.7
17	医療安全管理学	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校校長柄校	2024.10.7
18	生活者の健康増進・健康を支える職種等に関する法や施策	増田大作	泉佐野泉南医師会看護専門学校公衆衛生学講義	2024.10.17
19	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.18
20	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.25
21	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.28
22	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2024.11.5
23	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.8
24	面接技術(ロールプレイング)	増田大作	日本動脈硬化学会主催循環器病予防療養指導士単位認定セミナー	2024.11.9
25	健康診断を受けっぱなしにしない！心臓病・脳卒中に関わる病気の評価と予防	増田大作	大阪府診療放射線技師会第34回学術大会府民公開講座(大阪)	2024.11.10
26	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.11
27	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.15
28	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.18
29	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.22
30	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.25
31	脂質異常は本当に生活習慣のせいなの！？ ～保健指導・リスク管理のために必要なことは～	増田大作	関西産研産業保健看護職セミナー(web)	2024.11.28
32	臨床検査学	花田浩之	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.11.29
33	脂質異常症(高脂血症)をいわれたら～ガイドライン作成者が語る理想と現実～	増田大作	第12回医療講演会(関西愛光医歯会)(大阪)	2024.12.7
34	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2024.12.14
35	保健指導演習	増田大作	令和6年度特定保健指導実施者育成研修会(大阪府主催、大阪)	2025.2.4
36	日本人なら高血圧とうまくつきあおう	増田大作	忠岡町講演会	2025.2.16
37	特定健康診断・特定保健指導における高トリグリセライド血症の考え方と介入	増田大作	令和6年度特定健康診査・特定保健指導研修会及び講演会(堺)	2025.2.20
38	脂質異常症-生活習慣病療養計画書の記載に関連して-	増田大作	地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会(web)	2025.2.28以降
39	未病対策による健康管理ー未病から健康へのプロローグー	花田浩之	大阪行岡医療技術専門学校校長柄校	2025.3.13

(7) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	検査の「いろいろは・」	花田浩之	生活習慣病予防教室	2024.5.9
2	各種検査値の評価方法①	花田浩之	NST専門療法士研修 後期	2024.11.15

(8) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	一般演題(ポスター1)P9:脂質・リポ蛋白2	増田大作	第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会(神戸国際会議場)	2024.7.6
2	脂質異常症診療ガイド2023を読み解く	増田大作	メディカルスタッフ・若手育成部会 若手医師向け企画、第56回日本動脈硬化学会総会・学術集会(神戸)	2024.7.7
3	FHの心血管疾患二次予防について	増田大作	FH Awareness Day(大阪)	2024.10.19
4	連携で進める「未病」への気づき、	増田大作	第31回日本未病学会学術総会(金沢)	2024.11.2
5	一般口演07「内分泌代謝」	増田大作	日本総合健診医学会第53回大会(千葉)	2025.1.31

研究業績：看護局

(1) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	地域包括ケアにおけるりんくう総合医療センターの外来看護の機能と実践	井出由起子,萩原文子,高島麻由美,吉田恵子,河野純子,他	看護管理	34(3):185-191,2024
2	特輯「あっこれ使える初療ERでお役立ち救急の指標スケール35」 2章 しっかりと病態把握しよう！ 3 敗血症に関する指標 ①「q-SOFA」②「SOFA」③敗血症/敗血症性ショックの定義と診断基準	二藤真理子	Emer-Log	37(5):63-74,2024
3	救急看護スタンダード 第4章・触診量における救急看護スキル 心電図(モニター心電図・十二誘導心電図)	二藤真理子	救急看護スタンダード	75-82,2024
4	特定行為研修修了看護師として行うインスリン投与量調整と在宅療養支援へのかかわり	西村直美	医療安全の専門誌「病院安全教育」	11(6):9-15,2024
5	特集「解く！書き込む！ふせん貼る！使い倒して定着★脳神経疾患と看護ケアワークBOOK 患者さんの診断直後から急性期・回復期・生活期まで総まとめ」 「第1章 脳血管障害 2 ラクナ梗塞」	村野晃子	ブレインナーシング	41(2)
6	看護学テキストNice国際看護改訂第2版 第IX章1節D-2病院における看護の実践	土井智恵子	(株)南江堂	改訂第2版 第IX章1節D-2
7	気になる医療のコト・コトバ インバウンド対応 今後増加が予想される在留・訪日外国人の患者さんに出会ったらどうする？	新垣智子	エキスパートナース	40(7):102-109
8	文化アセスメントに役立つツール 病院における外国人の看護	新垣智子	ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践④ 国際化と看護	27-30 138-148 168,2024

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	心臓CTでのコアベータ投与のタスクシフトに向けた看護師に対する教育	吉田恵子	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
2	心臓カテーテル検査時の個別の看護実践の取り組みによる自立した看護師の育成	吉田恵子	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
3	乳がん治療中に1型糖尿病を発症した患者家族の意思決定支援～分野の異なる認定看護師協働の1例～	西村直美	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
4	認知症・せん妄ケア委員会で リンクナースが運営した事例検討の成果と課題	小城千絵	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
5	A地域における高齢心不全患者の地域連携支援システムの構築	壽慶奈津子	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
6	救命集中治療室に入室した本人の意思不明の治療/回復に難渋する患者の家族の意思決定を支える多職種カンファレンスでのCNSの役割	佐野加緒里	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
7	災害発生時の確実な実践を目指した看護管理者向け学習会	高橋敏枝	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
8	CCST活動におけるシームレスな連携～状態悪化から意思決定支援まで～	山田友子	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
9	パンフレットを活用した家族へのせん妄の周知と教育	松藤香織	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
10	高度急性期病院における特定行為看護師の支援体制の構築	上野智美	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
11	フレイル進行により呼吸器離脱に難渋する高齢患者へのRSTの取り組み～モビライゼーションで自発呼吸が安定した一事例～	西山陽子	第46回日本呼吸療法医学会学術集会	口演	2024.6.28
12	病院の入口出口で役割発揮する専門的思考を備えた外来看護師の育成	吉田恵子	第28回日本看護管理学会学術集会	口演	2024.8.24
13	新型コロナウイルス感染症 5類感染症移行後の面会対応に関する看護管理者の対応および意思決定を考える	井出由起子	第28回日本看護管理学会学術集会	口演	2024.8.24
14	経験学習サイクルを基軸にした看護管理者の内省と支援に関する定性的研究	井出由起子	第27回経営行動科学学会	口演	2024.11.10
15	外国で終末期を迎えた患者家族の意思決定支援	西山陽子	第9回国際臨床医学会学術集会	口演	2024.11.23

(3) 講師・ファシリテーター

整理 番号	講義内容	講師 ファシリテーター	研修・セミナー	講演場所	年月日
1	生活習慣病予防②～心臓病と高血圧～	壽慶奈津子	健康のススメ 20	泉佐野市行政情報番組「さのテレ！」	2024.4.19
2	フィジカルアセスメント講義	山田友子	関西メディカルサポート訪問看護ステーション	関西メディカルサポート訪問看護ステーション	2024.4.24
3	患者及び家族の心理・社会的アセスメント	二藤真理子	大阪府看護協会クリティカルケア認定看護師教育課程	大阪府看護協会	2024.5.13
4	生活習慣病予防③～脳卒中～	小城千絵	健康のススメ 21	泉佐野市行政情報番組「さのテレ！」	2024.5.17
5	病院間でのリンクナース相互ラウンドによる感染対策の効用	大野博美	第159回中材業務及び感染対策研究会	ドーンセンター 大阪府立男女協働参画青少年センター	2024.6.8
6	クリティカル場面における家族支援	二藤真理子	大阪府看護協会クリティカルケア認定看護師教育課程	大阪府看護協会	2024.6.11
7	人生会議～自分らしく生きるための意思決定支援～	二藤真理子	健康のススメ 22	泉佐野市行政情報番組「さのテレ！」	2024.6.17
8	災害時「医療機関維持のため自院で備えること」	真鍋和子	大阪府看護協会泉南支部研修会	岸和田徳洲会	2024.6.28
9	周産期救命処置	山田友子	第39回PCキューブ	りんくう総合医療センター研修棟	2024.6.30
10	周産期救命処置	西山陽子	PCキューブ協議会	りんくう総合医療センター	2024.6.30 2024.8.12
11	あなたの常識？非常識？～私たちの改善策と工夫～標準予防策	大野博美	”小津”感染管理担当実務者連携協議会	テクスピア大阪	2024.7.19
12	認知症予防	松藤香織	健康のススメ 23	泉佐野市行政情報番組「さのテレ！」	2024.7.19
13	周産期救命処置	山田友子	第40回PCキューブ	りんくう総合医療センター研修棟	2024.8.12
14	救急外来	吉田恵子	健康のススメ 24	泉佐野市行政情報番組「さのテレ！」	2024.8.19
15	部門別感染対策予防策	大野博美	日本看護協会	日本看護協会神戸研修センター	2024.8.22
16	ストーマケア、創傷管理、失禁などの基礎知識について	古賀亜由美	関西STOMA研究会ならびに関西ストーマケア講習会	森ノ宮医療大学	2024.8.31 2024.9.1
17	令和6年度災害支援ナース養成研修 災害時の活動の実際 机上シミュレーション	竹下圭介	大阪府看護協会	ナーシングアート大阪	2024.9.12 2024.11.5 2025.1.28
18	嚥下力維持	石井陽祐	健康のススメ 25	泉佐野市行政情報番組「さのテレ！」	2024.9.17
19	心不全患者の症状マネジメント	壽慶奈津子	認定看護師教育課程 心不全看護分野	川崎医療福祉大学看護実践・キャリアサポートセンター	2024.9.24
20	フレイル予防	松本一希	健康のススメ 26	泉佐野市行政情報番組「さのテレ！」	2024.10.18
21	フットケア	高橋 敏枝	南大阪皮膚排泄ケア研究会	堺市産業振興センター	2024.10.26
22	フットケア	古賀亜由美	南大阪皮膚排泄ケア研究会	堺市産業振興センター	2024.10.26
23	重症心不全患者をどのように支援していくか	壽慶奈津子	泉州多職種地域連携プロジェクト	スターゲイトホテル	2024.11.9
24	泉州子育てマップ	西村静代	第10回放送分 泉州子育てマップ	インターネット放送局 ICORA公式チャンネル	2024.11.12

整理 番号	講義内容	講師 ファシリテーター	研修・セミナー	講演場所	年月日
25	救急救命士	樫元允良 東明日香	健康のススメ 27	泉佐野市行政情報番組 「さのテレ！」	2024.11.18
26	地域支援病院としての役割発揮	上野智美	泉州看護マネジメントセミナー	岸和田市立浪切ホール	2024.11.20
27	高齢者等が住み慣れた環境で生活を続けるために、外来・入院早期から退院後の在宅療養生活を見据え、院内外が多職種チームと連携・協働した入退院支援・入退院調整ができる人材を育成する	杉野幸恵	2024年度研修 大阪府補助金事業No307「入退院支援強化研修①」の講義	大阪府看護協会ナース ングアート大阪	2024.11.22
28	その人らしいエンド・オブ・ライフ～スピリチュアルケアを中心に考える看護～	西山陽子	第10回国際臨床医学会学術集会 日本国際シンポジウム	大阪大学中之島センタ ー	2024.11.23
29	心不全患者の転院を受けるための環境整備、薬剤管理・機材準備について	壽慶奈津子	心不全看護指導	医療法人泉南玉井会 玉井病院	2024.12.5
30	集団災害	山田友子	第194回近畿MCLS標準コース	りんくう総合医療センタ ー研修棟	2024.12.7
31	心臓にやさしい動作や管理方法を学ぼう	壽慶奈津子	泉佐野保健所	泉佐野保健所	2024.12.10
32	How to leverage Heart Insight	壽慶奈津子	Biotoronikコメディカルセミナー	ハービスENT	2024.12.14
33	まちの保健室	井出由起子 上野智美	健康のススメ 28	泉佐野市行政情報番組 「さのテレ！」	2024.12.16
34	ストーマケア	高橋敏枝	南大阪皮膚排泄ケア研究会	村中医療器	2024.12.21
35	ストーマケア	古賀亜由美	南大阪皮膚排泄ケア研究会	村中医療器	2024.12.21
36	救急救命士の生涯教育(病院実習要領含む)	山田友子	大阪市における救急教育事業	大阪市消防局高度専門 教育訓練センター	2025.1.7
37	救急救命士養成課程穿刺実習	山田友子 東郷正弘 木村舞子 奈良垣佳栄 汐田晃郎	大阪市における救急教育事業	大阪市消防局高度専門 教育訓練センター	2025.1.7
38	看護師と看護助手のタスクシフト/シェアに関する講演	森田允	県北血液診療セミナー	りんくう総合医療センタ ー(zoom)	2025.1.23
39	入退院支援・在宅療養支援の実践	杉野幸恵	入退院支援強化研修②	ナースングアート大阪	2025.1.24
40	褥瘡ケアの専門知識についての講義と演習	高橋敏枝	褥瘡ケアセミナー	テクスピア大阪	2025.1.25
41	褥瘡ケア	古賀亜由美	南大阪皮膚排泄ケア研究会	テクスピア大阪	2025.1.25
42	それ、ちゃんと洗浄・消毒・滅菌できてる？	大野博美	”小津”感染管理担当実務者 連携協議会	テクスピア大阪	2025.1.31
43	看護管理実践報告	川島孝太	セカンド・サードレベルフォロー アップ研修	大阪府看護協会	2025.2.6
44	ICLS	西山陽子	第70回泉州2次救命処置コース	りんくう総合医療センタ ー研修棟	2025.2.8
45	DMAT研修受講生に対する実技指導など	西村直子	令和6年度(第17回)「大阪 DMAT研修」	大阪急性期・総合医療 センター	2025.2.15-16
46	大阪公立大学二次救命処置コース	秦野安珠	ICLS研修会	大阪公立大学医学部	2025.2.18
47	周産期救命処置	山田友子	第43回PCキューブ	りんくう総合医療センタ ー研修棟	2024.2.22
48	地域における外国人妊産婦への支援について	土井智恵子	養育支援訪問事業支援者研 修会	岸和田市立保健センタ ー	2025.2.26
49	イスラム教徒の日常生活とケアにおける留意点	新垣智子 土井智恵子	大手前大学国際看護セミナー	大手前大学大阪キャン パス	2025.3.3
50	脳卒中看護3	小城千絵	STROKE2025	大阪国際会議場	2025.3.7

(4) 看護学校講師

整理 番号	講義内容	講 師	所属部署	学 校	講義回数
1	看護の安全	八木邦子	医療安全管理室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
2	活動休息と看護	村野晃子	7階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回
3	栄養代謝障害と看護	西村直美	8階山側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
4	栄養代謝障害と看護	杉本奈央	5階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
5	消化排泄障害と看護	向井由紀子	6階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
6	消化排泄障害と看護	坂本千尋	8階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
7	安楽を支える看護	樋口紀美子	8階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回
8	安楽を支える看護	宮崎佳代子	7階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
9	生体防御機能障害と看護	大野博美	手術室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	3回
10	生体防御機能障害と看護	佐野加緒里	6階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
11	災害看護と救急医療	西村直子	初療/OP	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6回
12	ホメオスタシスを整える看護： 輸液療法と看護	松嶋寿和	救命EICU	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回

整理番号	講義内容	講師	所属部署	学 校	講義回数
13	五感と看護	松藤香織	7階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回
14	五感と看護	小城千絵	5階山側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回
15	五感と看護	西村直美	8階山側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回
16	がん看護	岡部真弓	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回
17	がん看護	杉野幸恵CN	患者サポートセンター	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
18	循環機能障害	原田真琴	7階山側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4回
19	循環機能障害	片山菜見子	7階山側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
20	手術療法と看護	神谷優太	手術室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
21	手術療法と看護	井手薫	患者サポートセンター	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回
22	卒業前技術演習	甲斐由圭里	8階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
23	卒業前技術演習	田村美羽	7階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
24	栄養・代謝障害と看護	石井陽祐	5階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	1回
25	消化・排泄障害と看護	古賀亜由美	8階海側病棟	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2回
26	看護管理(国際看護)	土井智恵子	6階山側病棟	大阪労災看護専門学校	1回
27	災害看護・国際看護	土井智恵子	6階山側病棟	京都医療センター附属京都看護助産学校	4回

(5) 大学講師

整理番号	講演・講座名	講 師	主 催	講義回数
1	重症病態を持つ患者の看護講義(敗血症患者)	二藤真理子	札幌医科大学大学院 急性重症患者看護専門看護師コース	1回
2	助産業務管理学特論	土井智恵子	鹿児島大学大学院	2回
3	助産学概論	土井智恵子	大阪大学大学院	2回
4	在日外国人受け入れのための様々な活動について	土井智恵子	姫路大学	1回
5	国際看護論 I	新垣智子	大阪公立大学	5回
6	国際母子保健活動論	土井智恵子	東京医療保健大学	2回
7	国際看護論 I	新垣智子	奈良県立医科大学	1回
8	クリティカルケア看護学演習 I	二藤真理子	札幌市立大学大学院	1回
9	医療通訳コーディネーター入門	新垣智子	神戸市外国語大学	1回

(6) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	一般演題B7 人材育成・職員教育(4)	井出由起子	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
2	ポスター4群「新人看護職の思い」	井出由起子	第55回(2024年度)日本看護学会学術集会	2024.9.27
3	心不全管理に関して	西出あや子	泉州心不全多職種地域連携プロジェクト	2024.11.9
4	医療安全	二藤真理子	第26回日本救急看護学会	2024.11.17
5	交流集会ラウンドテーブルディスカッション 救急看護の混沌を抜ける 救急看護のアイデンティティ・救急看護として高める専門性を考えてみよう	二藤真理子	第26回日本救急看護学会	2024.11.18
6	イキイキと働き続けられる職場づくり	井出由起子	泉州看護マネジメントセミナー	2024.11.20
7	その人らしいエンド・オブ・ライフ～スピリチュアルケアを中心に考える看護～	井出由起子	第9回国際臨床医学会学術集会日本国際シンポジウム	2024.11.23
8	その人らしいエンド・オブ・ライフ～スピリチュアルケアを中心に考える看護～	新垣智子	第10回国際臨床医学会学術集会日本国際シンポジウム	2024.11.23
9	欧米の感染対策、滅菌供給におけるトピックス	大野博美	第160回中材業務及び感染対策研究会	2024.11.30
10	脳卒中看護	小城千絵	STROKE2025	2025.3.7

研究業績：各業務 院内感染対策室

(1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題 名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	Efficacy and Safety of Ensitrelvir for Asymptomatic or Mild COVID-19: An Exploratory Analysis of a Multicenter, Randomized, Phase 2b/3 Clinical Trial	Norio Ohmagari, Masaya Yamato, et al.	Influenza and Other Respiratory Viruses	e13338,2024,June
2	Prevention of Post COVID-19 Condition by Early Treatment with Ensitrelvir in the Phase 3 SCORPIO-SR Trial	Hiroshi Yotsuyanagi, Masaya Yamato, et al.	Antiviral Research	Available online, 105958, 6 July 2024
3	Travel-associated sexually transmitted infections in Japan: An observational study using imported infectious disease registry data	Keiji Konishi, Masaya Yamato, et al.	Glob Health Med (National Center for Global Health and Medicine.)	6(4):264-267, 2024 Aug 31
4	Tocilizumab in combination with standard of care in patients with severe COVID-19 pneumonia: efficacy and safety from a phase 3 clinical trial in Japan	Nobuyoshi Mori, Masaya Yamato, et al.	Journal of Infection and Chemotherapy	31(1):102524, 2024 Sep 24

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
5	New multilocus sequence typing scheme for Enterococcus faecium reveals sequential outbreaks of vancomycin-resistant E. faecium ST1162 and ST610 in a Japanese tertiary medical center	Masaki Karino, Masaya Yamato, et al.	Microbiology Spectrum	13(1):e0213124, 2025 Jan 7
6	Effect of Studying Abroad on Catch-Up Vaccination in Young Adults: A Study Using the Japan Pretravel Consultation Registry	Nobumasa Okumura, Masaya Yamato, et al.	Journal of Infection and Chemotherapy	31(2):102547, 2025 Feb
7	Hospital Preparedness for Conducting Clinical Research During a Pandemic: A Nationwide Survey Among Designated Medical Institutions for Infectious Diseases in Japan	Kazuaki Jindai, Masaya Yamato, et al.	Health Security	23(2):82-93, 2025 Mar-Apr

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	めざせ健康長寿りんくう総合医療センター 肺炎球菌ワクチン接種	倭正也	長生会だより	151, 2024
2	COVID-19診療の現状～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	東入間医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)(抄録)	2024.5.10
3	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き	倭正也	MSD株式会社 解説資料作成にあたっての指導・助言	2024.7月
4	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)診療の手引き2024年版	倭正也	令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	2024年8月2日発行
5	国内多施設レジストリにおける狂犬病暴露前予防の実施状況	山元佳, 倭正也, 他	日本渡航医学会誌	18(1), 2024
6	COVID19の薬物療法up-to-date:何をどう使うか	倭正也	科学評論社 月刊呼吸器内科 特集/ポストコロナにおける感染症をとりまく話題	47(3):2025.3
7	COVID19up-to-date	倭正也	大阪透析研究会会誌	42(1), 2025.3
8	自宅療養又は宿泊療養した日本のCOVID-19患者における急性期及び療養解除後の症状:ウェブによるアンケート調査	倭正也, 他	日本環境感染学会誌	39(6)

(3) 国際学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Analysis of the ensitrelvir treatment-emergent amino acid substitutions observed in the SCORPIO-SR phase 3 trial.	Yuko Tsuge, Masaya Yamato, et al.	OPTIONS XII TEAASs draft_0912	口頭	2024.9.29 -10.2
2	P-2044: Analysis of Post COVID-19 Condition After Ensitrelvir Treatment in Asymptomatic or Mild-Symptoms Only Patients in the SCORPIO Phase 2b/3 Study	Takumi Imamura, Masaya Yamato, et al.	ID week2024	ポスター	2024.10.16-19
3	Development of machine learning models to diagnose influenza among international travelers based on symptoms and epidemiological information	Yusuke Asai, Masaya Yamato, et al.	33rd International Congress of Antimicrobial Chemotherapy	ポスター	2024.11.3-6

(4) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	次なる新興感染症危機にいかに対応するか～平時の医療との両立を目指す医療マネジメント～	倭正也	第16回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
2	わが国の感染症危機管理体制構築のための一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ研修会	山内真澄	第16回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	口演	2024.5.11
3	“エビデンスに基づくラゲブリオ®の適正使用～COVID-19診療の手引きも踏まえて～”	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会合同学会	口演	2024.6.27
4	最新情報から読み解くCOVID-19の入院対象患者像-患者視点から軽症・中等症 I および難治例(腎障害/肝障害/免疫不全)の治療を考える-	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会合同学会	口演	2024.6.28
5	SARS-CoV-2 従来株とアルファ株のスパイクタンパク質における多様性解析	関雅之, 倭正也, 他	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会	口演	2024.6.28
6	The Effect of COVID-19 on Progression of Labour: Based on Our Three Years' Experience	Kiichiro Furuya, Masaya Yamato, et al.	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会	口演	2024.6.28
7	Management of Urgent Cesarean Section in COVID-19-A Case Report	Michael Shannon Hara, Masaya Yamato, et al.	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会	口演	2024.6.28

整理 番号	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
8	渡航感染症hot topics	倭正也	第28回日本渡航医学会学術集会	口演	2024.7.27
9	海外渡航発熱疾患の疫学と病原体未確定例に対するメタゲノム解析	山元佳,倭正也,他	第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会	口演	2025.1.26
10	Significance of acute blood purification therapy using AN69ST membrane in critical cases of emerging infectious diseases such as SFTS	倭正也	タイJoint Scientific Congress 「Emerging critical tropical infection “SFTS”」 (第52回日本集中治療医学会学術集会第5日目)	口演	2025.3.15

(5) 研究会・講演会

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
1	COVID-19治療薬の投薬意義～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	これからのCOVID-19診療を考える会 in Shibuya	2024.4.12
2	COVID-19治療薬の投薬意義～最近の環境変化を踏まえて～	倭正也	病院におけるCOVID-19診療を考える会in広島(ハイブリッド方式開催)	2024.4.17
3	COVID-19・インフルエンザ治療薬の投薬意義～最新のエビデンスを踏まえて～	倭正也	第177回摂丹支部生涯学習研修会(ハイブリッド方式開催)	2024.4.18
4	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	感染症Forum in Saitama(Web開催)	2024.4.23
5	診療の手引きに基づいたCOVID-19治療の実際－入院患者への早期治療の重要性	倭正也	G-STATION Plus Gilead One Web Seminar	2024.4.25
6	COVID-19に関する最新情報サマリー:感染状況・変異株・医療負担および国内外のガイドライン	倭正也	MegaWeb講演会「スッキリ解決! COVID-19治療の注意点-軽症/中等症 I から難治例(肝障害・腎障害・免疫不全など)の治療管理まで-	2024.5.9
7	COVID-19診療の現状～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	COVID-19 luncheon seminar(Web開催)	2024.5.9
8	COVID-19診療の現状～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	東入間医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.5.10
9	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 luncheon seminar(Web開催)	2024.5.10
10	COVID-20診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	愛知県COVID-19 セミナー(Web開催))	2024.5.13
11	感染症専門医からみた高齢者におけるRSV予防の重要性	倭正也	アレックスビー発売記念講演会 in 南大阪(Web開催)	2024.5.14
12	COVID-19診療のUpdate～病棟で遭遇するコロナ陽性患者に対するゾコーバ錠の評価とは～	倭正也	入院患者におけるCOVID-19 診療を考える会(Web開催)	2024.5.16
13	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	愛知県感染症セミナー(ハイブリッド方式開催)	2024.5.18
14	ウィズコロナ時代、抗ウイルス薬で治療すべき患者とは－最新の厚生労働省COVID-19診療の手引きを踏まえて－	倭正也	パキロビッドインターネットシンポジウム(インターネット配信)	2024.5.21
15	COVID-19 治療薬の投薬意義～後遺症や重症化に関する話題を踏まえて～	倭正也	明石市医師会学術講演会(ハイブリッド方式開催)	2024.5.23
16	COVID-19 治療薬の投薬意義－病院診療で遭遇するコロナ陽性患者に対するエンシトレルビルの評価とは－	倭正也	京都感染症 Export Seminar(Web開催)	2024.5.28
17	COVID-19診療のUpdate～コロナ陽性患者に対するゾコーバ錠の評価とは～	倭正也	Infection Seminar in 浜北－診療の手引き編集委員に学ぶ! これからのCOVID-19診療－(Web開催)	2024.5.29
18	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	血液疾患における感染症Forum(Web開催)	2024.5.30
19	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	東京 昼ランチョン講演会	2024.5.31
20	COVID-19診療の現状－重症化リスクの高い患者における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	透析患者のCOVID-19診療を考える会～りんくうに学ぶ～(Web開催)	2024.5.31
21	COVID-18診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar in Nagoya(ハイブリッド方式開催)	2024.6.3
22	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	尾張北部感染症Forum(Web開催)	2024.6.4
23	COVID-19治療薬の投薬意義－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	横浜COVID-19診療フォーラム in 2024(ハイブリッド方式開催)	2024.6.6
24	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	東京 昼ランチョン講演会	2024.6.7
25	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三重県病院薬剤師会 令和6年度第1回感染制御部会研修会(Web開催)	2024.6.7
26	COVID-19診療の現状～重症化リスクの高い患者に対する治療経験～	倭正也	有床病院でのコロナ治療を考える会in 三河(Web開催)	2024.6.10

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
27	4月以降のCOVID-19 治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	沖縄県南部医療圏におけるCOVID-19 抗ウイルス薬セミナー	2024.6.11
28	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	尾西COVID-19 Forum（ハイブリッド方式開催）	2024.6.12
29	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者施設におけるCOVID-19クラスター対策講演会（Web開催）	2024.6.14
30	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者施設のCOVID-19クラスター対策講演会（Web開催）	2024.6.15
31	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 ミーティング ～ハイリスク患者の治療を再考する～（ハイブリッド方式開催）	2024.6.20
32	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	多摩COVID-19 Web カンファレンス（Web開催）	2024.6.21
33	COVID-19診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	京都府薬剤師会第1回学術講演会（Web開催）	2024.6.25
34	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 セミナー～ハイリスク患者に対する診療を考える～（ハイブリッド方式開催）	2024.6.26
35	COVID-19診療のUpdate～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験をふまえて～	倭正也	血液内科医のためのCOVID-19セミナー－病棟で遭遇するコロナ陽性患者への対応を再考する－	2024.7.5
36	COVID-19診療の現状－重症化リスクの高い患者における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	枚方・交野 感染症セミナー（ハイブリッド方式開催）	2024.7.6
37	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar（ハイブリッド方式開催）	2024.7.6
38	COVID-19第11波に備えて～外来・入院で遭遇するコロナ陽性患者に対するゾコーバ錠の評価とは～	倭正也	石川県COVID-19ランチョンwebセミナー（Web開催）	2024.7.9
39	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	ぐんま感染症フォーラム（Web開催）	2024.7.10
40	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	免疫不全状態のCOVID-19診療を学ぶ会（Web開催）	2024.7.11
41	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三重県病院薬剤師会 令和6年度第1回感染制御部会研修会（Web開催）	2024.7.12
42	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	山科医師会学術講演会（ハイブリッド方式開催）	2024.7.13
43	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	病院でのCOVID-19診療を考える会in播磨	2024.7.16
44	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	病院・老健施設におけるCOVID-19診療を考える会（Web開催）	2024.7.17
45	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	いわき感染症フォーラム（Web開催）	2024.7.18
46	COVID-19治療薬の投薬意義－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Update セミナー in 富山（ハイブリッド方式開催）	2024.7.19
47	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	透析患者のCOVID-19診療を考える会（Web開催）	2024.7.22
48	COVID-20診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	救急医のためのCOVID-19セミナーin 浜松（ハイブリッド方式開催）	2024.7.23
49	COVID-19 診療の現状・これから～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	COVID-19 病院感染対策地域連携セミナー	2024.7.24
50	COVID-19 治療の最前線～抗ウイルス薬の選択基準を考える～	倭正也	COVID-19 Conference in はびきの（ハイブリッド方式開催）	2024.7.25
51	エビデンスに基づくラゲブリオの適正使用～COVID-19診療の手引き10.1版も踏まえて～	倭正也	病院連携研修会	2024.7.25
52	COVID-19診療について再考する～実臨床から見えた3CL pro inhibitorの真価とは～	倭正也	静岡県東部 COVID-19 Seminar（ハイブリッド方式開催）	2024.7.26
53	COVID-19診療の現状－入院患者における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	これからのCOVID-19診療を考える会～入院症例を中心に～（ハイブリッド方式開催）	2024.7.30
54	COVID-20診療の現状	倭正也	七尾市医師会COVID-19学術講演会（ハイブリッド方式開催）	2024.7.31
55	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19診療 up to date -診療の手引き編集委員に学ぶ！これからのCOVID-19診療-（ハイブリッド方式開催）	2024.8.1
56	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	埼玉県東部エリア 病院におけるこれからのCOVID-19診療を考える会（Web開催）	2024.8.2
57	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Conference in 堺・泉州	2024.8.3

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
58	エビデンスに基づくゲラブリオの適正使用～COVID-19診療の手引き第10.1版も踏まえて～	倭正也	岡山薬剤師感染症セミナーISOP	2024.8.5
59	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	病院におけるCOVID-19診療を考える会 (Web開催)	2024.8.6
60	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	感染症対策セミナー－COVID-19の対策を考える－(Web開催)	2024.8.6
61	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	秦野市感染症セミナー～COVID-19診療を考える～(ハイブリッド方式開催)	2024.8.9
62	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Forum in Hanshin	2024.8.10
63	新型コロナウイルス感染症の最新の知見とワクチン接種の有用性について	倭正也	アルフレッサ堺第二支店MSクロスワイズセミナー (Web開催)	2024.8.20
64	COVID-19診療の現状－入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	入院患者でのCOVID-19治療を考える会 (Web開催)	2024.8.21
65	個人防護具の選び方～標準予防策と感染経路別予防策に基づいて～	山内真澄	令和6年度 感染管理地域ネットワーク支部交流会	2024.8.21
66	COVID-19診療の手引き編集委員から学ぶ高齢者における治療戦略	倭正也	羽島メディカルカンファレンス(ハイブリッド方式開催)	2024.8.22
67	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	岩手感染症フォーラム (Web開催)	2024.8.23
68	COVID-19診療の現状～耳鼻科領域における抗ウイルス薬治療を考える～	倭正也	愛知県耳鼻咽喉科医会名古屋地区研修会第46回名耳会臨床医のつどい(ハイブリッド方式開催)	2024.8.24
69	COVID-19治療薬の投薬意義～腎機能障害患者での抗ウイルス薬の使用経験を含めて～	倭正也	腎臓を診る医療者のためのCOVID-19セミナー (ハイブリッド方式開催)	2024.8.27
70	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	感染症治療 Up To Date 県南Webセミナー (Web開催)	2024.8.28
71	COVID-19治療薬の投薬意義～外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	COVID-19診療セミナー～病院における診療を中心に～(ハイブリッド方式開催)	2024.8.30
72	COVID-19治療薬の投薬意義－罹患後症状抑制の可能性－	倭正也	宝塚市医師会定例学術講演会 (Web開催)	2024.8.31
73	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	旭川感染症Webセミナー (Web開催)	2024.9.2
74	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Seminar in 北摂	2024.9.5
75	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	香取市郡医師会学術講演会 (ハイブリッド方式開催)	2024.9.6
76	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三河感染症 Forum in 豊田 (Web開催)	2024.9.9
77	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19治療を考える会 in 福島 (Web開催)	2024.9.10
78	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	第8回山口県病院薬剤師会学術講演会 (Web開催)	2024.9.11
79	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 web カンファレンス in MITO (ハイブリッド方式開催)	2024.9.12
80	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	第101回大阪透析研究会企業共催セミナー	2024.9.15
81	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	垂水区学術講演会 (Web開催)	2024.9.19
82	ウィズコロナ時代～新型コロナウイルス対処法	倭正也	大阪府保険医協会9月度内科研究会/医療安全管理対策講習会	2024.9.21
83	人生100年時代、高齢者におけるCOVID-19診療のポイント	倭正也	これからの高齢者医療を考える会	2024.9.25
84	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	備北地区医師会学術講演会～COVID-19～ハイブリッド方式開催 (Web開催)	2024.9.26
85	COVID-19診療 up-to-date～次期パンデミックに備えて～	倭正也	COVID-19 セミナー in 仙台～次期パンデミックに備えて～	2024.10.3
86	外来でのCOVID-19治療薬の使用意義	倭正也	ゾコーバ全国講演会 in FUKUOKA	2024.10.5
87	COVID-19診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	第475回倉敷医師会学術講演会 (ハイブリッド方式開催)	2024.10.8
88	COVID-19治療薬の投薬意義～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	西那須野塩原地区医師会学術講演会 (ハイブリッド方式開催)	2024.10.10
89	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	泉佐野薬剤師会 第263回研修会 (ハイブリッド方式開催)	2024.10.17

整理 番号	演 題	発表者	研究会名	年月日
90	ハイリスク患者におけるエンシトレルビルの意義について ～外来・入院での使用経験より～	倭正也	ハイリスク患者のCOVID-19診療を考える会 (Web講演)	2024.10.18
91	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	三島医療圏 透析患者のCOVID-19診療を考える会 (ハイブリッド方式開催)	2024.10.19
92	五類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	第2回但馬薬剤師会生涯教育研修会・第64回 兵庫県病院薬剤師会但馬支部研修会 (Web開催)	2024.10.23
93	五類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	COVID-19診療セミナー (ハイブリッド方式開催)	2024.10.24
94	COVID-19 診療の現状－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	桜井地区医師会学術講演会 (Web開催)	2024.10.26
95	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	茨城県央・県北感染症セミナー (ハイブリッド方式開催)	2024.10.30
96	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	高齢者地域での感染症対策連携の会 (ハイブリッド方式開催)	2024.10.31
97	かかりつけ医におけるCOVID-19治療薬の投薬意義～後遺症・重症化の疫学を踏まえて～	倭正也	大阪府内科医会 第34回医学会 (ハイブリッド方式開催)	2024.11.9
98	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオ®の有用性～	倭正也	プライマリーケア医のための COVID-19全国シンポジウム	2024.11.10
99	COVID-19 の治療と施設内感染防止策－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	栃木地域感染制御コンソーシアム 共催講演会 新型コロナウイルス感染症への対応～病院と老健施設における感染防止策を考える～ (Web開催)	2024.11.13
100	COVID-19 診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	神奈川県感染症セミナー ～”コロナ”の未来 (これから)を考える～ (Web開催)	2024.11.14
101	COVID-19治療の最前線～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	大阪狭山市医師会学術講演会 (Web開催)	2024.11.15
102	COVID-19治療の最前線～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	第7回 堺近陵医会 学術講演会	2024.11.16
103	泉州エリアの健康を守る～ワクチンの重要性和最新情報～	倭正也	泉州感染症Webセミナー (Web開催)	2024.11.19
104	COVID-19 診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	Consider the COVID-19 in Tokyo (Web開催)	2024.11.26
105	COVID-19 診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19セミナー～新型コロナウイルスを改めて考える～ (ハイブリッド方式開催)	2024.11.27
106	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	かかりつけ医のためのCOVID-19講演会 (Web開催)	2024.11.28
107	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	明石市耳鼻科医会講演会 (Web開催)	2024.11.30
108	COVID-19 診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	COVID-19 Expert Seminar in 福岡	2024.12.5
109	高齢者施設等における感染対策～血液や体液を介する感染症から利用者・支援者を守る～	山内真澄	高齢者施設職員向けHIV感染症研修 (泉佐野保健所主催)	2024.12.6
110	コロナワクチンについて	倭正也	Afterコロナにおける予防戦略Up To Date in南大阪 (ハイブリッド方式開催)	2024.12.11
111	洗浄・消毒・滅菌について	山内真澄	令和6年度大阪府泉佐野保健所管内感染症病院連絡会	2024.12.12
112	外来でのCOVID-19治療薬の使用意義	倭正也	一般社団法人大阪府耳鼻科医会学術講演会	2024.12.21
113	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオ®の有用性～	倭正也	COVID-19 オンラインセミナー (12/25) (Web開催)	2024.12.25
114	最新情報から読み解くCOVID-19の入院対象患者像－患者視点から軽症・中等症 I および難治例 (腎障害/肝障害/免疫不全) の治療を考える－	倭正也	北海道新型コロナウイルス感染症WEBセミナー～”今”求められるCOVID-19マネジメント～	2024.12.26
115	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるラゲブリオの有用性～	倭正也	第33回地域医療研修会学術講演会	2025.1.18
116	COVID-19 診療の現状～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験～	倭正也	沖縄透析医会学術講演会 (Web開催)	2025.2.4
117	COVID-19 診療の現状－外来・入院における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	北河内学術講演会 (ハイブリッド方式開催)	2025.2.8
118	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	Covid-19 WEBセミナー 2025 (Web開催)	2025.2.20
119	Implications For Using Covid-19 Treatment Drugs	倭正也	Covid-19 Forum ～New Choice For Treatment Covid-19～ (Web開催)	2025.2.23
120	五類感染症移行後のCOVID-19診療～実臨床下での経験を踏まえて～	倭正也	府中市医師会学術講演会 (Web開催)	2025.2.26

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
121	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	これからのCOVID-19対応を考える会（ハイブリッド方式開催）	2025.3.1
122	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	第658回岡崎薬剤師会研修会講演会（ハイブリッド方式開催）	2025.3.12
123	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	江東区COVID-19 Seminar（ハイブリッド方式開催）	2025.3.18
124	日常診療におけるCOVID-19治療について～感染予防から患者ケアまで～	倭正也	大阪府COVID-19感染症セミナー（Web開催）	2025.3.19
125	全員で診る新型コロナウイルス感染症～日常診療におけるモルヌピラビルの有用性～	倭正也	南大阪感染症セミナー（ハイブリッド方式開催）	2025.3.27
126	COVID-19治療薬の投薬意義－実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験－	倭正也	血液内科医のための感染症診療アップデートセミナー（ハイブリッド方式開催）	2025.3.31

（6）学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	当院感染症センターにおける新興感染症対応について	倭正也	大阪医科薬科大学 公衆衛生学 実習	2024.6.17
2	医療関連感染予防・管理概論 新興・再興感染症、輸入感染症の理解	倭正也	公益社団法人日本看護協会神戸研修センター 2024年度感染管理認定看護師教育課程 医療関連感染予防・管理概論講義	2024.8.9
3	ウィズコロナ時代～新型コロナウイルス対処法	倭正也	大阪府保険医協会 9月度内科研究会 医療安全管理対策講習会	2024.9.21
4	当院感染症センターにおける新興感染症対応について	倭正也	奈良県立医科大学公衆衛生学講義 実習	2024.10.1
5	麻しんの診断、治療及び医療機関における感染拡大防止対策について	倭正也	令和6年度感染症対策従事者研修会（大津市医師会例会時学術講演会）	2024.11.28
6	感染症とアンチエイジング（コロナ、インフルエンザ、ワクチンなど）	倭正也	脳心血管抗加齢研究会第20回学術大会	2024.12.14
7	新興感染症1・2	倭正也	大阪医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室 講義	2025.2.3

（7）院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	当センターの特徴 感染症センター	倭正也	新規採用者研修	2024.4.1
2	感染防止対策	山内真澄	新規採用者研修	2024.4.2
3	ラダーⅠ感染対策	山内真澄	2024年度新入職員研修	2024.4.3
4	・バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）アウトブレイク対応 ・VRE発生させないためのバンコマイシン（VCM）の適正使用の推進	山内真澄, 泉原里絵	2024年度 第1回院内感染対策研修会・抗菌薬適正使用支援研修会（集合研修、E-learning）	2024.5.22 2024.6.3 ～12.1
5	抗菌薬の使い方	山本雄大	クリニカルレベルアップセミナー（第233回臨床集談会）	2024.5.23
6	・今だからこそ『標準予防策』について見直してみよう！！～个人防护具を中心に～ ・ビーフリード®投与下でのBacillus cereus感染症について	山内真澄, 泉原里絵	2024年度 第2回院内感染対策研修会・抗菌薬適正使用支援研修会（E-learning）	2024.12.2～
7	海外から帰国後に発熱を認め、抗菌薬、解熱剤内服後に発疹を認めた一例	倭正也	第237回りんくうカンファレンス	2025.1.16
8	次なる新興感染症のパンデミックは何か～大阪・関西万博開催の大阪における備え～	倭正也	第237回りんくうカンファレンス	2025.1.16
9	輸入感染症を、いかに見逃さないか！	倭正也	クリニカルレベルアップセミナー（第235回臨床集談会）	2025.1.23

（8）座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	栄養・感染症	倭正也	第16回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2024.5.11
2	トラベルワクチン総論	倭正也	第22回日本旅行医学会大会（Web開催）	2024.5.18
3	抗酸菌症1	倭正也	第98回日本感染症学会学術講演会/第72回日本化学療法学会総会合同学会（ハイブリッド方式開催）	2024.6.28
4	蚊媒介感染症	倭正也	第28回日本渡航医学会学術集会	2024.7.27

研究業績：その他の業務 危機管理室

（1）和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	能登半島地震におけるDMATとしての活動	成田麻衣子	月刊「救急医学」	2024年12月号: 1392-1398,2024
2	MCLS大量殺傷型テロ対応病院コース	成田麻衣子	月刊「救急医学」	2025年1月号: 64-65,2024

(2) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	第1回事態対処救護試行コース開催の報告	成田麻衣子	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2024.7.19
2	海難事故による多数傷病者発生事案に対する海保、消防、病院の医療連携	松村嘉大,成田麻衣子,中尾彰太,松岡哲也,他	第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会	口演	2024.7.19
3	救急医のマネジメントスキルを活かした危機管理室長としてのキャリア	成田麻衣子,中尾彰太,松岡哲也	第52回日本救急医学会総会・学術集会	ポスター	2024.10.15
4	海上保安庁のヘリコプター実機を用いた洋上救急訓練の取り組み	山尾幸平,成田麻衣子,他	第31回日本航空医療学会総会	パネルディスカッション	2024.11.15
5	1.5次避難所「一時待機ステーション」における転倒予防を目的とした多職種連携	住吉山健太,西村直子,成田麻衣子,他(リハビリテーション部門)	第30回日本災害医学会総会・学術集会	ポスター	2025.3.6
6	MCLS大量殺傷型テロ対応病院コースの紹介	成田麻衣子,他	第30回日本災害医学会総会・学術集会	パネルディスカッション	2025.3.7

(3) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	地域で考える「大規模災害発生時の保健医療福祉連携」の重要性 ～能登半島地震の教訓と南海トラフへの備え～	成田麻衣子	泉佐野泉南医師会学術講演会	2024.4.13
2	災害時の社会福祉施設に対する医療支援	成田麻衣子	第6回介護保険施設情報交換会	2024.7.16
3	目指せ、応急救護ができる機動隊！/災害時対応の原則	成田麻衣子	近畿管区警察学校	2024.9.20
4	災害医療とトリアージ	成田麻衣子	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2024.10.16
5	大規模災害発生時の病院対応	成田麻衣子	市立貝塚病院講演会	2024.10.31
6	目指せ、応急救護ができる機動隊！/災害時対応の原則	成田麻衣子	近畿管区警察学校	2024.12.2
7	災害時対応・患者急変時の対応(傷病者別応急処置)	成田麻衣子	航空保安防災職員特別研修(航空保安大学)	2024.12.3
8	CBRNE災害対応	成田麻衣子	第28回泉救会	2025.2.20

(4) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	院内災害対策本部	院内DMAT事務局	2024年第1回DMAT勉強会	2024.6.26
2	活動拠点本部	院内DMAT事務局	2024年第2回DMAT勉強会	2024.7.24
3	EMIS・衛星電話	院内DMAT隊員(ロジスティックチーム)	2024年第3回DMAT勉強会	2024.8.28
4	局地災害(クロノロ・傷病者リストの書き方について)	院内DMAT隊員(局地災害チーム)	2024年第4回DMAT勉強会	2024.9.25
5	院内災害対策本部	院内DMAT事務局	2024年第5回DMAT勉強会	2024.10.23
6	近畿ロジスティクス研修(発災後リストの作り方)	院内DMAT事務局	2024年第6回DMAT勉強会	2024.11.27
7	NBC(特殊災害)	院内DMAT隊員(特殊災害チーム)	2024年第7回DMAT勉強会	2024.12.25
8	活動拠点本部(現状分析と活動方針、EMIS概況の作成について)	院内DMAT事務局	2024年第8回DMAT勉強会	2025.1.22
9	院内広報(新規隊員獲得に向けた情報提供や支援の紹介、災害関連業務の情報提供など)	院内DMAT隊員(新規隊員支援チーム)	2024年第9回DMAT勉強会、院内DMAT活動報告会(院内全体向け)	2025.2.26
10	SCU	院内DMAT事務局	2024年第10回DMAT勉強会	2025.3.26

(5) 座長

整理番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	ポスター24「TTT」	成田麻衣子,他	第30回日本災害医学会総会・学術集会	2025.3.7